

神道寶鑑

眞言秘密 兩部神法 加持祈禱 奧傳

名前の 姓名學字典

性相學原論

通俗 周易之講義

神道 行事寶典

訓點 周易正文

通俗 五行易指南

神道 妙術秘法大全

眞言 梅花心易指南

和本箱入二百四十八頁 定價金一圓

和本箱裝四百二十頁 定價金一圓

洋裝箱入九百八十六頁 定價金五圓

和本箱入二百三十八頁 定價金一圓

和本箱入二百五十六頁 定價金一圓

和本箱入二百四十六頁 定價金一圓

和本箱入二百四十二頁 定價金一圓

布表裝箱入三百二十頁 定價金一圓

和本箱入二百四十四頁 定價金一圓

和本箱入二百四十四頁 定價金一圓

山田先生が宗教法令講義神道調度名目神道各派諸流を解説し尙ほ祭祀行事作法をも詳細にしたる良書

本書は神佛兩道の各行者が秘密とした加持祈禱に關する法式を五百二十有餘の圖解にて公開せし珍書

自稱大家の邪說妄論と違ひ姓名學の眞髓を披歴して字引を付けたれば姓名判斷學研究者には好同伴なり

科學的基礎に基き人類の腦部位説と心性機關とを確定し各人の特質性僻運命等を豫知明斷が出来る良書

高島香象柳田幾作兩光生の合著にして其講義は至つて平易に懇切なれば易道入門者の指針の良書である

神道の祭祀行事作法と其故實を詳説しなほ祝詞集を附記したれば神職神道教師神事研究者の好同伴なり

正しき易經の讀方を總振假名附となし且つ訓點を付けたれば初學者にも讀み易く體裁優美の美本である

八卦六十四卦五行分屬六親六神用原忌仇神世應卦身納甲飛伏六甲十二運等に因る五行易の教科書である

本書は神佛兩道の行者が奧傳口授せし秘法數百種を公開せし珍書にて全部平假名付にて讀み易き良書

梅花心易は筮竹算木を用ひず年月日時、物數、聲音、字劃、寸尺、人物、動物其他にて卦を起す至妙の易

身上 崇災占病秘傳

九星 八百通り變化奧傳

實地 周易活斷

孔穴 鍼灸術秘傳書

實地 家相極秘傳

周易占筮講話

九星判斷講話

新舊對照 萬年曆

九星曆術 活斷口傳書

秘訣 斷易指南鈔

和本箱入二百九十二頁 定價金一圓

和本箱入二百五十六頁 定價金一圓

和本箱入二百四十二頁 定價金一圓

和本箱入二百四十四頁 定價金一圓

和本箱入二百三十二頁 定價金一圓

和本箱入二百九十二頁 定價金一圓

和本箱入二百五十四頁 定價金一圓

和本箱入二百五十四頁 定價金一圓

和本箱入二百四十四頁 定價金一圓

和本箱入二百四十四頁 定價金一圓

本書は日常の出來事は勿論病氣は何病で祟りは神佛四ツ足方角生靈死靈何であるかを誰にも直ぐ判る

天地盤を組み其掛りて求占者の來意を知りなほ人事百般の吉凶判斷が出来る九星判斷法の極意書である

本書は程朱説を遵奉して卦爻象象を説き卦毎に占例を掲げ尙卷末には斷易の判斷法を附記したる良書

鍼灸術各派の秘録を蒐集しなほ人體解剖學と十四經を對照し施術を行ふべき局部を圖解にて示してある

自己住宅の良否新規増築の吉凶を知らんとする人の相談相手となり又家相鑑定者の參考となる良書なり

本書は易の經義を詳細に説きなほ筮法變占法象數圖説其他六十餘項目を掲げて易道の蘊蓄を盡せる良書

本書は三元九星の初段法より九段法に至る奧儀秘密の事項を網羅して何人にも了解し易く解説せる良書

弘化元年より昭和十一年に至る九十三年間の曆を集めた者なれば干支九星推命易占を爲す人の良參考書

生年月日にて一代の運勢九星天地盤組み方家相方位曆の中段下段廿四節解説姓名判斷法外數十種が分る

馬場信武先生が八宮本之世應陰陽升降交位得失納甲飛伏五六神親生尅旺退等斷易を平易に説きたる良書

東京 下谷 電話 一三七一 番 神宮館

東京 下谷 電話 一三七一 番 神宮館

東京 下谷 電話 一三七一 番 神宮館

東京 下谷 電話 一三七一 番 神宮館

親切丁寧にも解り易い
芳文堂大小學生參考書

復豫習習	復豫習習	復豫習習	復豫習習	復豫習習	優等	優等	優等	優等	優等
小學	小學	小學	小學	小學	學生	學生	學生	學生	學生
國史	地理	算術	理科	術科	になれ	になれ	になれ	になれ	になれ
重要問題	重要問題	重要問題	重要問題	重要問題	る	る	る	る	る
解答集	解答集	解答集	解答集	解答集	國史	地理	算術	理科	讀方
六年用	六年用	六年用	六年用	六年用	五・六年用	五・六年用	三・四・五・六年用	四・五・六年用	卷九・十用

定價各冊二十五錢・送各料四錢

東京市神田區 振替 東五番 芳文堂 振替 東五番 東京市神田區

戰勝の喜を得る者は來れ！ 讀め！

文藝學博士・山中久四郎監修
詳解國語漢文叢書

定價各冊三十五錢・送各料四錢

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
十八史略上	東關紀行・東海紀行	大鏡	樂訓文訓	言志四錄・慎思錄	東西遊記	續文宋八家軌範	唐草紙・摺園文集	花月草紙・摺園文集	十六夜日記・土佐日記	玉勝闕	神皇正統記	論語	近古史談	方丈記	太平記	孟平子	大學・中庸・近思錄	平家物語	增鏡	徒然草
40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	
蒙	雲萍雜志・梅園叢書	韓非子	日本政記論文	常山紀談・駿臺雜話	年々隨筆・雨月物語	折たぐ柴の記・落翰譜	日本外史下	文章軌範	十八史略下	うけらが花・藤篋冊子	鈴屋集・菅笠日記	枕の草紙	保元平治物語	十訓抄・宇治拾遺物語	琴後集・泊泊文藻	奥の細道・鶉衣	小日本外史上	日本外史上	史記列傳	
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53								
近代名家漢文選	近世名家文選	竹取物語・伊勢物語	芭蕉俳句集	百人一首	荀子	先哲叢談	孝經・禮記	紫式部日記	更級日記	源氏物語桐壺	源氏物語帶木	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語

東京市神田區 振替 東五番 芳文堂 振替 東五番 東京市神田區

昭和十年最高の好評新刊書

硯墨新語

俳句藝術論

史蹟櫻の日本

算術の歴史物語

遺傳と結婚

近世日本食物史

神社制度史の研究

軍醫總監 飯島 茂著
菊判上製 定價五圓五十錢
五八〇頁 送料廿二錢

加藤紫舟著
四六判 定價一圓五十錢
優雅美本 送料十錢

佐藤太平著
四六判 定價一圓八十錢
上製箱入 送料十錢

成蹊學園 藤原安治郎著
小學四年生 六十錢
小學五年生 七十錢
小學六年生 八十錢
各冊送料

理學博士 三宅驥一著
農學博士 今井喜孝著
四六判 定價一圓八十錢
二百頁 送料十錢

文學博士 笹川臨風著
文學士 足立 勇著
菊判上製 定價三圓五十錢
五百餘頁 送料廿二錢

男爵 平沼騏一郎著
吉井良晃著
菊判上製 定價廿四錢
五百餘頁 送料廿二錢

九四四

株式會社

東 京 市 麹 町 區 見 土 路 一 番 五
東 京 市 東 區 九 段 五 番 七
東 京 市 東 區 九 段 五 番 七
東 京 市 東 區 九 段 五 番 七

文部省認定著名大の養教女子るせ定認が省部文

樞密顧問官伯爵金子堅太郎閣下推薦
文部省認定
茗溪會推薦
村上 寛 先生著
120版
價1圓

成功の裏面に働く母

本書の一章一句は全く涙なしに讀れぬ
母性愛の崇高なるには何人も大感激。
名士教育者の激賞せる名著！

樞密顧問官伯爵金子堅太郎閣下序文
文部省認定
茗溪會推薦
村上 寛 先生著
59版
價1圓

熱と愛の結晶 まいころ

母ごころの姉妹篇として十萬讀者の推賞をかざる快著！讀者の感銘せる聲が津々浦々に響きわたり正に現代の出版界を風靡しつつある親子共に必讀の書

樞密顧問官伯爵金子堅太郎閣下題字
文部省認定
西川雪峰先生著
12版
價1圓

孝子養成の秘訣 孝の修養

家庭教育を閑却又は輕視しては眞に親に仕へる優良兒は望めない。
此の意味で本書は家庭教育に缺くべからざる活きた修養讀本である。

陸軍大將 南 次郎閣下題字
文部省認定
京都童話教育研究會著
9版
價1圓

義士かがやく忠魂 童話

兒童の讀むべき大和魂の快書！
赤穂義士の精神―忠魂を童話化して日
本精神の育成に多大の苦心と努力を以
つて初めて世に出た兒童絶好の讀物！

九四五

大 阪 市 東 區 三 丁 目 淡 路
東 京 市 東 區 九 段 五 番 七
東 京 市 東 區 九 段 五 番 七
東 京 市 東 區 九 段 五 番 七

日本大衆書局 藤平武雄著 定價一圓五十錢 送料十三錢
歴史と生の哲學
 我々は人間が何であるかは却つて歴史によつて知るのであるとデイルタイは述べてゐる。

東京高等師範 佐々木秀一共著 寺田彌吉共著
 定價一圓五十錢 送料十二錢
哲學物語
 哲學の早わかりとして何人にも讀ましめんと苦心せられたる本書は、一度讀み始めれば一氣に讀み終る程である。

東京高等師範 文部省 卷太郎譯
 定價一圓八十錢 送料十二錢
兒童精神發達の原理
 心理學も専門家の手からはなれて一般の人々のものとなつて來た。本書は心理學の入門書として我國の心理學者も推薦お加さるるものである。

東京高等師範 西山哲治著
 定價一圓七十錢 送料十二錢
子供の喧嘩
 我國及外國の心理學者の諸説をも引用して實際的に之を研究したもので、一巻の書として世界最初の子供の喧嘩研究書である。

室伏 高信著 定價一圓八十錢 送料十二錢
山莊三年
 明快な筆の冴を縦横に走らせてゐる我言論界の第一人者たる著者の三澤村生活三年の大自然記を讀まれよ。

理學士 柴山雄三郎著 定價一圓七十錢 送料十二錢
世界地名ローマンス
 世界地名發生の面白さと暗記の便利。地名の發生位面白くものはなく殊に西洋の地名の記憶が本書の一讀によつて容易である。

室伏高信著 四六判美本、定價一、五〇 送料〇、二二
青年の書
 内憂外患非常時現下の日本に於て吾々青年は國家に對し、如何なる認識をもつべきか、又自己は如何なる信念に生くべきかを、はつきりと指導してくれたのが本書のすべてであると言つてよい。讀め憂國の青年よ、立て日本青年よ。

理學士 柴山雄三郎著 四六判美本、定價一、五〇 送料〇、二二
最新科學の話
 ①飛行機 ②テレヴィジョン ③殺人光線 ④潜水艦 ⑤トキ ⑥電氣砲 ⑦グライダー ⑧光線電話 ⑨カタパルト ⑩海底トンネル ⑪輪轉機 ⑫地下空港 ⑬飛行船 ⑭空中寫眞 ⑮地下鐵道 ⑯電氣時計 ⑰チャイロス タビライザー ⑱無線電電話 ⑲電送寫眞 ⑳ラヂオ。

東京市小石川五三町早竹 電話三五五
 振替東京東三六八四 電話小石川五四四六

横濱高等工業學校教授 安川數太郎著

【新刊】 **百分順位表**

本書は各種學校の入学試験に於て多數の受験者につき各出身學校の席次順位の優劣を比較する場合に、一目にして其の優劣が判るやうに百分順位を算出するものである。例へば甲七五名中二八番、乙八八名中三番、丙四〇名中一五番トスレバ、是等三人ノ優劣ハ如何ノ場合ニ、中ハ二席次ヲ組メ、乙ノ二八番ヲ以テ優劣を表シ、丙ハ四〇名中一五番トスレバ、之では十分精密に優劣を表すことはできぬ。本書には一名から二〇〇名までの百分順位の数値が表になつてゐるから、上記のやうな問題は一々めんどうな計算をせず、(七五)・(八)・(四〇)の欄をそれぞれ見れば、七五名中ノ二八番ハ……六三・三三、八名中ノ三番ハ……六八・七五、四〇名中ノ一五番ハ……六三・七五とあるから、其の優劣の順位は乙丙甲の順序であることが即座にわかる。

大日本武徳會 弓道教士六段 德武森佐閱 大日本武徳會弓道四段 長野縣伊那高等女學校校長 春原平八郎編述

【評好る頗】 **弓道教本** (改訂版)

安價にして極めて要領を得た指導書！ 階級試験に級第せる者の殆ど全部が通讀してゐるのを見ても本書の眞價がわかる！
 初めて弓を手にして基本練習より正式に弓道を修めんとする者の指導書とし、又審査試験の受験用の基本的参考書として粹を集めて項目別に記述し、記憶の便と答案の形式とを兼ね備へ、安價にして極めて要領を得た良参考書で、中等學校・専門學校の教科書としても適當である。記述の便と答案の形式とを兼ね備へ、安價にして極めて要領を得た良参考書で、中等學校・専門學校の教科書としても適當である。記述の便と答案の形式とを兼ね備へ、安價にして極めて要領を得た良参考書で、中等學校・専門學校の教科書としても適當である。

發行所

東京市日本橋區 本町四丁目二番地 合資 六盟館 振替口座東京 一二五五〇番

禪話二十講

平常心是道
雲無生嶺上月有落波心
禪の宗風
禪とは佛心宗なり
無説無聞是真般若
禪と日常生活

總持寺貫主 伊藤道海師
東福寺派管長 家永一道師
豪徳寺住職 梶川乾堂師
可睡齋住職 高階瑞仙師
建仁寺派管長 竹田頼川師
駒澤大學教授 立花俊道師

何か頼りになるものがほしいとは、
現代人共通の要求である、こゝに
現代禪門を總動員した高僧碩學が
諸君に傳へる以心傳心の法本を座
右に備へて日常の指針とせられん
ことを！

本葉入 豪華版 三十三
定價 一圓二十錢
送料 十四錢

駒澤大學教授 山上曹源師
相國寺派管長 山崎大耕師
圓覺寺派管長 古川堯道師
方廣寺派管長 足利紫山師
妙心寺派管長 天軸接三師
天龍寺派管長 關精拙師
建長寺派管長 菅原時保師

無門關
網を透る金鱗何を以てか食となす
百丈禪師について
六祖因風颺刹旛
春有百花秋有月
二十年來會苦辛爲君
幾下蒼龍窟
禪の必要

幼學綱要
宮内省藏版
和裝和紙刷全四冊函入
定價一、八〇(特三、〇〇)送料一四

婦女鑑
宮内省藏版
和裝和紙刷全三冊函入
定價一、五〇(特二、五〇)送料一四

孝經會通
岩垂憲徳著
和裝菊判全二冊
定價八十錢 送料十四錢

孝經參釋
川崎魯齋著
和裝美濃判朱墨二度刷
定價一圓 送料十錢

九五一

振替東京東二四四番
電話東京橋一四一番
吉川弘文館
東京橋二丁目一十一番
東京本郷區森川七〇番

理論 應用 植物及動物

農業及園藝

理論 實際 機械及電氣

生物研究家
博物教育家
醫學・獸醫
畜産・養蠶
水産・林學
作物・園藝
の必讀智囊

頁十六百判々三號每
錢三料送錢十六冊一
錢十六圓三分月ヶ六
錢十七圓七分册二十

農學研究と
農村收益の
増進方法と
農村更生の
根本對策と
を包含する
最新智囊！

頁〇四二判々三號每
錢三料送錢十五冊一
共料送圓三分月ヶ六
錢十四圓六分册二十

昭和十一年五月創刊
毎月一回一日發行
四六倍判每號百六十頁
説明圖版多數挿入
一冊五十錢・送料三錢
十二冊分六圓四十錢

九五〇

發行所 振替東京東二四四番
養賢堂株式會社

全 國 教 育 者 募 集 せ し 雄 篇 全 十 二 冊

日 本 文 化 研 究 所 編

小 國 民 文 庫

注 文 殺 倒

忽 二 十 版

生 先 一 秀 木 々 佐 ・ 生 先 力 嵐 十 五 士 博 學 文
 生 先 郎 次 恭 垣 北 ・ 生 先 雄 武 村 松 士 博 學 文
 生 先 丞 之 久 沼 上 ・ 生 先 也 孝 村 中 士 博 學 文

員 查 審

第 一 篇	第 二 篇	第 三 篇	第 四 篇	第 五 篇	第 六 篇	第 七 篇	第 八 篇	第 九 篇	第 十 篇	第 十 一 篇	第 十 二 篇
美 漁 村 海 國 少 年	血 染 の 木 口 小 平	治 水 の 人 彌 兵 衛 の 一 念	忠 勇 談 小 楠 公	世 界 の 異 丹 那 ト ン ネ ル	兵 談 村 屯 田 の 小 勇 士	滿 洲 話 移 民 の 魁	遠 野 の 勤 王 五 世 物 語	海 洋 富 黒 潮 の 彼 方	愛 國 詩 人 山 陽 先 生	精 銳 日 本 刀 物 語	無 比 日 本 刀 物 語

□ 錢 十 六 金 冊 各 價 定 ・ 本 美 雅 優 裝 洋 判 六 四 □

日 本 精 神 涵 養 の 兒 童 讀 物

圖 備 必 庫 文 級 學 館 書 圖

社 會 式 株 書 圖 治 明 町 舟 入 區 橋 京 市 京 東 所 行 發
 番 三 一 五 八 一 京 東 替 振

九 五 四

發 行 部 數 三 十 萬
 每 月 一 日 一 回 發 行

モ タ ン 日 本

新 鮮 明 朗 ・ 誌 界 の 人 氣 を 獨 占 する 唯 一 の 娛 樂 雜 誌

モ タ ン 日 本



本 社 の 出 版 書 籍
 は 委 托 配 本 を 致
 し ま せ ん の で、
 書 店 々 頭 に 陳 列
 は し て あ り ま せ
 ん が、 どの 書 店
 へ だ 御 用 命 下
 さ れ ば、 迅 速 に
 お 届 け 致 し ま す

菊 池 寬 著 (昭 和 十 一 年 十 二 月 十 一 日 處 女 出 版)
 戀 愛 と 結 婚 の 書 (昭 和 十 一 年 二 月 一 日 七 十 版)

定 價 一 圓 五 十 錢
 (送 料 十 錢)

文 豪 が 語 る 日 本 一 の 戀 愛 訓 ・ 結 婚 訓 人 生 訓 何 人 の 幸 福 を も 約 束 する 決 定 版

菊 池 寬 著 (昭 和 十 一 年 三 月 發 賣 豫 定)

日 本 競 馬 讀 本

偉 大 なる 競 馬 フ ァ ン が 語 る 待 望 の 名 著 愈 々 出 づ!

菊 池 寬 著 (昭 和 十 一 年 六 月 發 賣 豫 定)

戀 愛 と 結 婚 の 書 を 小 說 化 せ る 問 題 の 名 篇 を 御 期 待!
 小 說 愛 新 道 (東 日 大 毎 連 載 小 說)

定 價 二 圓
 未 定 價

大 賣 捌

東 京 海 堂 堂
 東 隆 館
 北 東 館
 大 東 館
 上 田 屋
 栗 田 書 店



九 五 五

東 京 市 麴 區 幸 町 大 阪 ルビ
 モ タ ン 日 本 社
 振 替 東 京 七 五 一 六 二

辭書精的なる年鑑
財界の羅針盤

本書内容

株式相場—取引所—セメント、煉瓦—肥料、化學工業—製糖—麥酒、水産、製粉、製菓—製作工業—製紙、木材、皮革、護謨—鑛業、製煉—電燈、電力—瓦斯—鐵道、自動車、航空—船舶、造船、船渠、運輸—紡績、人絹、毛織、製麻、生糸—土地、建物—百貨店、キネマ—滿洲事業—雜事業—銀行—信託—保險—公、社債
 (貿易、金融、財政)一般統計(各事業に關する諸統計は夫々其項の末尾に掲載す)

▲發行部數 壹萬部限(再版せず) ▲紙數 壹千參百餘頁 ▲實價 金五圓
 ▲裝幀 菊判總クローズ上製函入(附録四六判二つ切、相場高低表) ▲送料 地方參拾參錢、市内拾貳錢

本年鑑は、幾多の特色を有し、類書中最良の書といふ御定評を頂くと共に、逐年一層内容の充實整備に努めてをります。銀行、會社は勿論、苟も實業に關心を持たれる人士の座右には、是非御備へ置かれねばならない至寶であります。

株式
大阪屋商店調查部編纂
年鑑

株式會社 大阪屋商店調查部編纂 ◇ 内容見本進呈

東京 駿河 臺中 中央 大學
 振替 東京 一八二三八番
 電話 田 二二二八番

株式會社
大 同 書 院

大阪 北區 梅田 新道
 振替 大阪 一三九七二番
 電話 北 一五六三番
 電話 北 五七五二番

吉田良三	工業會計研究	一・〇〇	八	島中福一	勘定學說研究	三・〇〇	三
東夷五郎	商業會計研究	一・〇〇	八	井上建雄	例解會計簿記精義	三・〇〇	三
長谷川安兵衛	豫算統制の研究	一・〇〇	三	沼田嘉穂	ケスターの貸借對照表論	二・〇〇	三
渡部寅二	決算報告書の監査手續	一・〇〇	八	同	合併貸借對照表論	一・〇〇	三
渡部義雄	火災保險・ロイド・會計	一・〇〇	八	西垣富治	會計學提	二・〇〇	三
高瀬莊太郎	暖簾の研究	一・〇〇	八	高瀬莊太郎	グッドウヰルの研究	四・〇〇	三
加藤和根	銀行原價計算の研究	一・〇〇	〇	宇原義豊	證憑式傳票の作り方	一・〇〇	三
太田哲三	理論會計研究	一・〇〇	八	長谷川安兵衛	豫算統制の實證的研究	一・〇〇	三
野本梯之助	會計監査研究	一・〇〇	八	野本梯之助	企業財政の比率分析	二・〇〇	三
下野直太郎	簿記會計法	一・〇〇	八	野瀨新藏	經營經濟的會計學研究	二・〇〇	三
渡部義雄	補計理士の業務と責任	一・〇〇	〇	杉本秋男	豫算統制論	二・〇〇	三
橋本良平	増訂 貸借對照表科目	一・〇〇	〇	古川榮一	經營經濟的會計學研究	二・〇〇	三
片岡政一	稅務會計	一・〇〇	三	馬場敬治	經營經濟的會計學研究	三・〇〇	三
長谷川安兵衛	標準原價の研究	一・〇〇	三	金子利八郎	簿記新論	三・〇〇	三
村瀨玄	損益計算論	一・〇〇	三	岡田直策	最新國稅徵收法精解	四・〇〇	三
渡部寅二	帳簿組織の研究	一・〇〇	三	柳義治	最新地租法要義	三・〇〇	三
有本邦造	國際銀塊取引と其原價計算	一・〇〇	八	中村繼男	臨時利得稅法精解	一・〇〇	三
門脇逸司	標準商店簿記	一・〇〇	八	船田勇	例地租便覽	一・〇〇	三
				同	現營業收益稅附加稅便覽	一・〇〇	三

發兌 東京 小 町 森山書店 電話 三三三三番
 東京 神戶 電話 三三三三番
 東京 電話 三三三三番
 東京 電話 三三三三番

威權高最の究研道書

【りあゝつし靡風を界道書代現は流鶴鳴や今】

日下部鳴鶴先生書

鳴鶴翁楷書帖

美濃大判・全一冊・定價金五十錢・送料八錢

鳴鶴翁行書帖

美濃大判・全一冊・定價金五十錢・送料八錢

鳴鶴翁草書帖

美濃大判・全一冊・定價金五十錢・送料八錢

鳴鶴翁楷書手本

美濃大判・全二冊・定價金二圓・送料十四錢

鳴鶴翁隸書手本

美濃大判・全一冊・定價金二圓・送料十錢

鳴鶴翁臨蘭亭手本

美濃大判・全一冊・定價金二圓・送料十錢

評好 辻本史邑先生書

史邑書千字文

書名	型	定價	送料
三体千字文(甲)	美濃全判	六圓	30
三体千字文(乙)	美濃全判	六圓	30
三体千字文	普及版	二圓五十錢	14
五体千字文	美濃大版	二圓五十錢	14
楷書千字文	美濃全判	二圓	14
行書千字文	美濃全判	二圓	14
草書千字文	美濃全判	二圓	14
隸書千字文	美濃半裁	二圓	10
篆書千字文	美濃半裁	二圓	10

評好 辻本史邑先生書

五體墨場必携

四六版・全一冊・定價金二圓・送料金六錢

本手字習の備必戸萬

(書讀語勸育教)

辻本史邑先生書

國民習字教範(楷書)

國民習字教範(行書)

國民習字教範(草書)

美濃長折・各冊金六十錢・送料各六錢

刊新 筆法手習教本

辻本史邑先生共書 (初歩入門より練習迄) (全解説付指導書)

美濃全判型・定價金五圓・送料金三十錢

編並 顧執 問者

泰東書道院顧問 尾上八郎先生
 東方書道會審査員 佐分利山先生
 東方書道會審査員 松本芳翠先生
 東方書道會審査員 辻本史邑先生
 關西書道會審査員 門窪與三郎先生
 關西書道會審査員 辻本九華先生

刊新 現代名家書道大鑑

書道全般にわたる一般家庭の机上寶庫
 美濃全三冊・定價六圓・送料三十錢

(本手字大の門入歩初)

辻本九華先生書

楷書軌範

行書軌範

草書軌範

美濃長折・各冊金五十錢・送料各六錢

辻本九華先生書

蘭亭帖楷書篇

蘭亭帖行書篇

蘭亭帖草書篇

美濃大判・各冊金八十錢・送料各八錢

松本芳翠先生書

楷書指針

美濃長折・定價金六十錢・送料各六錢

說解

(本手字大の究研道書)

楷書指針

九三九

店書堂々駿 所行發 九二町水清東區南市阪大 番五三〇一版大替播

九五八

店書堂々駿 所行發 九二町水清東區南市阪大 番五三〇一版大替播

一般圖書
教科書
參考書
大取次

合資
會社
柳原書店

大阪市東區北久太郎町四丁目十六番地

電話船場

(83)

長四一四番

四八五七番

振替貯金口座大阪二三一番

巴水人形畫集	額繪繪畫裸婦一枚	應養畫譜	通增安宅關	色男其所此所	兒訓影繪喻	近世名士寫真	趣味の都名所	時代裂名品集	全芥子園畫傳	西洋美術館めぐり	時代裂拾遺	アルス最新	趣味の寫眞術	實際の寫眞の第一步
川瀨巴水	桑重儀一 外十三名	森下門入	同	同	木村捨三	中川忠三郎	宮川叢平	大道弘雄	小杉放庵 公田連太郎	兒島喜久雄	橋本基	島田謹介 外三名	片岡春洋	鈴木信也
△三枚	△三枚	△二冊	○	○	○	△二枚	△	△二枚	△二枚	△六枚	△六枚	◎二冊	○	○
加藤潤二	日本額繪 株式會社	審美書院	同	同	巧藝社	近世名士 寫眞頒布會	同	芸艸堂	アトリエ社	座右寶刊行會	座右寶刊行會	アルス	廣文社	金竜堂出版部
四谷	兵庫	京橋	同	同	神田	大阪	京都	同	牛込	本郷	本郷	神田	豊島	淺草
金剛山風景畫集	鳴鶴先生臨論經書詩	森田恒友畫集	現代美人集	鐵齋先生名畫集	日本畫實習帖第五卷	花五十題の内第五輯	標準色彩圖集前篇	商業美術構成原理	おもちゃや畫譜	第十表裝美術展覽會圖錄	色名總鑑	大鎧海老洞篠塚	川瀨日本風景選集	川瀨日本風景選集
鶴清氣	日下部東作	小杉放庵	伊東深水	京都博物館	北原義雄	德力富吉郎	和田三造	濱田增治	川崎巨泉	竹之内常吉	和田三造	木村捨三	川瀨巴水	川瀨巴水
△三〇〇	△一〇〇	△一五〇	△一〇〇	△一〇〇	△一〇〇	△一〇〇	△一〇〇	◎二〇〇	◎二〇〇	◎二〇〇	◎二〇〇	◎二〇〇	◎二〇〇	△五〇枚
△折疊	△折疊	△一冊	△一冊	△一冊	△一冊	△一冊	△一冊	△一冊	△一冊	△一冊	△一冊	△一冊	△一冊	△一冊
刊本禪會書	鳴鶴堂書房	春鳥會	渡邊畫版店	便利堂	アトリエ社	芸艸堂	大日本圖書株式會社	川崎末吉	同	同	同	同	同	同
神田	大阪	小石	京橋	京橋	牛込	京都	京橋	大阪	同	同	同	同	同	同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
註文帖畫譜	鏑木清方	非	△二枚	新小説社 神田	名作挿畫全集(一)		◎		平凡社 日本
全芥子園畫傳(三)	小杉放庵 公田連太郎	一・三〇	◎一三	アトリエ社 牛込	〔七月〕				
アルス最新寫真大講座	野田松雄 外五名	二・〇〇	◎二七	アルス 神田	國寶建造物第十二輯	矢野國太郎	四・〇〇	△三枚	國寶建造物會 龜町
最新寫真科學大系	中村道太郎		◎一五	誠文堂新光社 同	古鏡聚英(下)	後藤守一	一・〇〇	△	大塚巧藝社 本郷
同	同		◎一四	同	國寶建造物寶物目錄	黒板勝美	三・八〇	〇壹	岩波書店 神田
同	同		◎一四	同	肉筆浮世繪叢	恩賜京都博物館		△	芸艸堂 京都
同	同		◎一四	同	名碑類真卿全集(五)	名碑類真卿全集(五)	一・三〇	△	興文社 日本
同	同		◎一四	同	名碑類真卿全集(一)	名碑類真卿全集(一)	一・三〇	△	同
同	同		◎一四	同	日本古樂面目録	帝室博物館	・三〇	◎	帝室博物館 下谷
同	同		◎一四	同	國寶建造物寶物目錄	黒板勝美	・三〇	◎	岩波書店 神田
同	同		◎一四	同	時代名裳鑑續	江馬務	七・五〇	△十枚	山田集美堂 同
同	同		◎一四	同	も源氏五巻	河原崎晃洞	一〇・〇〇	△折疊	内田美術書肆 京都
同	同		◎一四	同	がたり十四帖	米川正夫	一・七〇	◎一三	版畫社 京都
同	同		◎一四	同	ド・フアン	狩野秀峯	一・七〇	△五枚	田中平安堂 京都
同	同		◎一四	同	名物錦繡類纂(五)				

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
小絲源太郎畫集	美術工藝會	一・〇〇	△	美術工藝會 神田	新刀押象集(下)	加島勲	七・五〇	△	大阪刀劍會 大阪
考古圖編(第九輯)	東京帝國大學	二・三〇	◎	同	能裝束名品集(六)	金剛巖		△二枚	芸艸堂 京都
寺内萬治郎畫集第二輯	美術工藝會	一・〇〇	△	同	時代裂名品集(三)	大道弘雄	七・〇〇	△二枚	同
〔八月〕					アマチュア寫真術	寫真藝術研究會	一・三〇	〇二冊	平原社 京都
漢碑之研究	中村不折		形變	雄山閣 龜町	京都市美術洋畫彫塑展覽會圖録	芸艸堂	六・〇〇	△	芸艸堂 京都
究下碑碣法帖書論集	河原崎晃洞	一〇・〇〇	△折疊	内田美術書肆 京都	徽宗幕張萱搗練圖	青山新	三・〇〇	△壹卷	美術懇話會 下谷
も源氏五十四帖					古今浮世繪撰集	上村益郎	五・〇〇	△	古今浮世繪撰集刊行會 神田
名作挿畫全集(二)					最新寫真科學大系	中村道太郎		◎一巻	誠文堂新光社 同
寺内萬治郎畫集(二)	美術工藝會	一・〇〇	△	美術工藝會 神田	航空寫真寫真測量	橋本基		◎一巻	座右寶刊行會 本郷
アルス最新寫真代	高桑勝雄	二・〇〇	◎二七	アルス 同	時代裂拾遺(六)	同		△六枚	同
眞一講座一寫真術	外三名		◎二七	アトリエ社 牛込	時代裂拾遺(五)	同		△六枚	同
芥子園畫傳	アトリエ社	一・三〇	△變形	同	日本畫實習帖(八)	アトリエ社	一・三〇	△	アトリエ社 牛込
日本畫實習帖	同		△	同	最新寫真科學大系	中村道太郎		◎一巻	誠文堂新光社 神田
全芥子園畫傳(一〇)	小杉放庵 公田連太郎	一・三〇	△一四	同	五修整法・現像法(五)	市美術展覽會		◎一巻	同
秋院遺作集	迎田嘉亭	四・五〇	△	芸艸堂 京都	能佳雅美(五)	能佳雅美	八・〇〇	△二枚	同
畫本史撰	木村捨三	三・〇〇	△	巧藝社 神田	古今浮世繪撰集	上村益郎	五・〇〇	△	古今浮世繪撰集刊行會 神田
新刀押象集(上)	加島勲 内田疎天	七・五〇	△	大阪刀劍會 大阪					

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
日本畫實習帖(六)	北原義雄	一・五〇	△一帙入	アトリエ社 牛込
アルス最新寫真大講座(五)	長濱慶三	二・〇〇	◎二帙	アルス 神田
各種攝影法(前篇)	外五名	二・〇〇	◎二帙	アルス 神田
全芥子園畫傳(十一)	小杉放庵	一・三〇	△一帙	アトリエ社 牛込
書畫の蒐集と鑑定	公田連太郎	一・三〇	△一帙	アトリエ社 牛込
	添田達嶺	一・七〇	〇二帙	塔影社 麴町
【九月】				
名作挿畫全集(三)	下中彌三郎		◎	平凡社 橋本
支那畫大成要覽(詞解)	石川寅吉	一・五〇	△二冊	興文社 同
昭和新選碑法	田中和市		變形	寧樂書道會 奈良
大觀一ノ七	大田三藏		一冊	富嶽真景社 神田
富嶽真景	清水綠	三・五〇	△一冊	富嶽真景社 神田
支那畫大成一ノ蘭竹	同解説一	非	△二冊	興文社 橋本
能裝束名品集(七)	金剛巖	同	△十枚	芸艸堂 京都
時代裂名品集(四)	大道弘雄		△十枚	同 京都
花五十題の内第七集	龜井藤兵衛		△五枚	同 同
【十月】				
おもちゃ畫譜(一〇)	川崎巨泉		◎	川崎末吉 大阪
アルス最新寫真大講座(七)	安河内	二・〇〇	◎	アルス 神田
日本魚類圖說	岡田彌一郎	三・〇〇	◎	三省堂 同
支那畫大成(二)	支那畫大成編輯部	二・〇〇	△十枚	帝室博物館 下谷
加能畫人集成	玉川敬泉	四・〇〇	◎	金澤文化協會 石川
名作挿畫全集(五)	石川寅吉	六・五〇	△二枚	興文社 橋本
時代表名品集(五)	大道弘雄	七・〇〇	△二枚	芸艸堂 京都
名物錦繡類纂(六)	明石染人		△六枚	類纂刊行會 同
支那畫大成(一)	支那畫大成編輯部	二・〇〇	△十枚	同 同
能佳雅美(六)	能佳雅美	八・〇〇	△二枚	芸艸堂 京都
【十一月】				
美代子畫集	加藤亨	八・〇〇	△	加藤亨 大阪
竹田名蹟大圖誌	竹田素心庵	八・〇〇	△	同 京都
假名名跡集成金澤本	同	八・〇〇	△	同 同
傳藤原定信書萬葉集	同	八・〇〇	△	同 同
アルス最新寫真大講座(二)	林彰	二・〇〇	◎	アルス 神田
傳藤原佐理筆筋切上	岡内彰	二・五〇	△	興文社 橋本
最新寫真科學大系六	中村道太郎	非	◎	誠文堂新光社 神田
文鏡秘府論(地)	同	非	◎	古典保存會 同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
鈴木保徳畫集	長谷川正道	一・〇〇	△三	美術工藝會 神田
浮世繪名畫集	中山幸夫	二・五〇	△三枚	東京美術社 橋本
七十二候名花畫帖	五勢小石		◎四冊	工芸社 同
世界新興美術研究	小林謙一	一・〇〇	△	文藝閣 神田
美術社木版畫集(一)	長澤恒治	一・〇〇	△五枚	美術社 四谷
花五十題(第九集)	龜井藤兵衛		△五枚	芸艸堂 京都
咄哉州個展圖録	高島屋		△七枚	古今堂 京都
近世錦繪世相史(二)	淺井勇助	三・〇〇	△一五	平凡社 橋本
花鳥風月(一)	岡本東洋	三・〇〇	△二枚	芸艸堂 京都
東郷元帥遺墨集	筒井爲則		△	東郷元帥遺墨保存會 京都
全芥子園畫傳(四)	小杉放庵	一・三〇	△二枚	アトリエ社 牛込
續日本畫實習帖(一)	北原義雄	一・五〇	△	アトリエ社 同
アルス最新寫真大講座(一五)	吉川速男	二・〇〇	◎二六	アルス 神田
日本自第十四回展覽會圖録	由畫壇	三・五〇	△	芸艸堂 京都

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
玉溪先生周甲畫譜	水月所會	一〇〇	一冊	芸艸堂	風景寫眞の寫し方	眞繼不二夫	二六〇	四二	光社
現代名作寫眞畫集	管保男	五〇〇	一冊	寫眞新報社	西洋音樂史(上)	門馬直衛	四〇〇	七二	春秋社
日本昭和十一年版	橋本基	五〇〇	一冊	寫眞新報社	日本古樂家錄(四)	正宗敦夫	非	三〇	日本古樂會
時代裂拾遺(九)	同	同	一冊	寫眞新報社	世界音樂全集七八	門馬直衛	一〇〇	一七	春秋社
同	同	同	一冊	寫眞新報社	アリア名曲集(二)	同	同	同	同
行成卿筆本能寺切	原田悟朗	一三〇	變形	博文堂	日本上古音樂史	三條商太郎	三〇〇	四六	厚生閣
刀繪	本間順治	非	一箱	大塚巧藝社	能裝束名品集	九金剛巖	三〇〇	二七	星堂
目擊佳趣	野口駿尾	非	一箱	審美書院	和聲學	成田爲三	三三〇	二七	星館
刀劍金工名作集	小倉惣門	同	同	雄山閣	世界音樂全集二五	箕作秋吉	一〇〇	三六	春秋社
時代裂名品集(六)	大道弘雄	同	同	芸艸堂	日本新歌曲集	神田龍一	三三〇	二六	同
全芥子園畫傳(一二)	小杉放庵	一三〇	變形	アトリエ社	近代音樂の概観	梅津勝夫	二五〇	四〇	音樂世界社
傳小野道風(繼色紙)	武田基一	二二〇	變形	武田墨彩堂	ジャズ音樂編曲法	ポール・ウ	四〇〇	一七	第一樂社
奈良帝國博物館	奈良帝國博物館	一〇〇	五枚	博物館	生活と精神の音樂の科學叢書・七心理學	南滋譯	二〇〇	二九	東苑書房
すばらしく上手に寫れる初步の攝影讀本	清水久	一八〇	三〇	康業社出版部	松の吹き寄せ	今井慶松	一八〇	三九	岡倉書房
牧野虎雄畫集	後藤眞太郎	一八〇	三〇	岩田同和會	世界名曲文庫(二三)	神田龍一	一五〇	二〇	同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
世界音樂講座(二三)	神田龍一	非	二冊	春秋社	現代洋畫大會集(二)	上村益郎	一五〇	二枚	アトリエ社
學校劇雀のお醫者	梁田貞	五〇	一冊	共益商社書店	江戸版畫名作	飯田始晃	三〇〇	二枚	丹綠畫堂
兒童オーケストラの組織の指導法	濱口正二	一五〇	一冊	同	百人一首圖考	中村道太郎	三〇〇	二冊	誠文堂新光社
コルニエーブンゲン(第三卷)	安藤照	二〇〇	一冊	同	最新寫眞科學大系七	光悅遺芳	一五〇	一冊	美術工藝會
支那畫大成(四)	非	非	一冊	同	中村研一作品集(一)	恩賜京都博物館	一五〇	一冊	同
ローライ寫眞術	北野邦雄	二〇〇	一冊	興文社	正倉院御物圖錄(八)	帝室博物館	二五〇	一冊	同
名作挿畫全集(六)	同	同	同	同	古大津繪集(二)	五月庵	一五〇	一冊	同
現代洋畫大會集(一)	同	同	同	同	アルス最新寫眞大講座(一一)	久米福衛	二〇〇	一冊	同
近世繪錦世相史(三)	淺井勇助	一五〇	一冊	同	豫樂院遺墨	恩賜京都博物館	六〇〇	一冊	同
能裝束名品集(一〇)	金剛巖	三〇〇	一冊	同	續日本畫實習帖(三)	柴崎高陽	二〇〇	一冊	同
裸女(一輯ノ内未)	石川寅治	一〇〇	一冊	同	スキ一寫眞術	新見森之助	一八〇	一冊	同
十種(完成ノ分三種)	龜井藤兵衛	一〇〇	一冊	同	二宮尊徳先生遺品	同	一〇〇	一冊	同
花五十題第一〇集	武田基一	二〇〇	一冊	同	遺蹟寫眞選集	同	一〇〇	一冊	同
傳紀貫之高野切	同	同	同	同	呂后本紀(第九)	同	一〇〇	一冊	同
翠雲爐邊畫談	小室翠雲	一八〇	一冊	同	支那畫大成(一六)	同	一〇〇	一冊	同

幕末 帝國軍艦寫眞 以降と史實	著譯者 海軍有終會	定價 五・〇〇	頁形體 △ 三三 丸	發行所 善 種日本
--------------------	--------------	------------	------------------	-----------------

記憶和歌

昔の人は憶えにくい文字や間違ひやすい文字は、和歌や俳句にして憶えやすくしたものがその中に次のやうなのがあつて、なかなかうまく出来てゐる。

○巳巳巳
巳は上に巳は下につきにけり巳に巳、巳中ほどにつく。

○誰誰推推誰
言ふは誰 金は誰なり、手にて推す、木は誰なるぞ 禾は誰し、

○末未賣買
すゑは上、いまだは下の長きなり、有るは賣るなり 無きは買ふなり。

○裁裁戴戴
木はうるゑる、衣たつなり 異なるはいたゞくなれば 車載すなり。

(二六) 音楽・歌舞

書名	著譯者	定價	頁形體	發行所
續日本民謡童謡曲集	廣島高等師範學校 附屬小學部 音樂研究部 編	五・〇〇	◎ 三三	目黒書店 神田
能樂年鑑(昭和十年版)	編 野上豊一郎 編輯部	二・〇〇	◎ 三三	岩波書店 同
能の再生	野上豊一郎	二・〇〇	◎ 三三	岩波書店 同
初學用地拍子入 喜多流稽古本一	喜多六平太	二・〇〇	◎ 二九	喜多流稽古本會 日本橋
デンタ以來	堀内敬三	二・〇〇	◎ 二九	アオイ書房 中野
梅若流謠本(二〇)	梅若六郎	二・〇〇	◎ 箱入	梅若流會 神田
昭和喜多流標 新訂準謠本(七)	喜多六平太	二・〇〇	◎ 箱入	喜多流會 日本橋
世界名曲文庫	門馬直衛	非	△ 三册	松柏館書店 同
レコード名曲を 音楽尋ねて	神保環一郎	三・三〇	〇 八七	創元社 芝
觀世宗家正本昭和版 寶生流地拍子附正本(十四)	觀世左近 寶生重英	一・八〇	◎ 箱入	觀世左近 寶生重英 東京音樂書院 芝
カルカツ シギター教則本	大國舒光	一・八〇	△ 一五	東京音樂書院 芝
マツクニール モダンギター奏法	杉井幸一	一・五〇	△ 八	同 同
聽音新曲自修の要訣	小川一朗	一・八〇	◎ 二四	共益商社書店 同
梅若流 前・中・後 入門謠本	梅若六郎	各 三	◎ 各	梅若流會 神田
寶生流 地拍子六十番集卷一	寶生重英	一・〇〇	◎ 九	わんや書店 京橋
詳解 樂曲 讚美歌の彈奏法	鳥崎赤太郎 高田愛子	一・〇〇 各 三	◎ 九 △ 三	共益商社書店 芝 文教館出版部 京橋
寶生流 寶生流地拍子 (風の卷)	寶生重英	一・〇〇	◎ 一三	わんや書店 京橋
寶生流 寶生流地拍子 (序之卷)	寶生重英	一・〇〇	◎ 一三	わんや書店 京橋
純正調追分節研究	吉田魯洋	一・五〇	◎ 一三	同 同
文化譜による 三味線獨り稽古上卷	吉田今玲 杵家彌七	非 各 三	◎ 各 △ 一五	今玲會 四重 三味線會 芝

書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所
昭和改訂版 女郎花・籠太鼓・ 高野物狂	寶生新	・五〇	◎三冊	下掛寶生流 日本佛教會
佛教童謡曲集(1)	日本佛教會 諸協會	◎一〇〇	◎一〇〇	童謡協會 牛込
寶生流地拍子六十番 集(第五回)	寶生重英	◎	◎	われや書店 京橋
寶生流地拍子附正本 (十五)	同	◎	◎	同
昭和喜多流標 新訂準讀本(八)	喜多六平太	◎	◎	喜多流 日本
音樂讀本	山田耕筰	一・五〇	◎一元	日本評論社 京橋
家庭音樂全集一 ピアノ曲集(一)	神田龍一 グレイズ 阿部謙太郎譯	三・五〇	△三四	松柏館書店 日本
西洋音樂解說	阿部謙太郎譯	一・五〇	◎七二	平原社 京橋
能裝束名品集(三)	金剛巖	七・〇〇	△〇枚	芸艸堂 京都
増訂レコード音樂讀本	野村光二	一・八〇	◎七九	中央公論社 麹町
未完成交響樂	山本和夫	一・二〇	◎三四	耕進社 本郷
心理學的に 觀たる音樂	恩賀壽一	二・〇〇	〇一三五	日本音樂協會 中野
パツハ音楽菜 高學年音樂 生活の指導	村田武雄	一・五〇	〇二六	名曲堂 神田
家庭音樂全集	北村久雄	三・三〇	◎四六	厚生 開
世界音樂最新ピアノ 曲集	神田龍一	三・五〇	△三八	松柏館書店 日本
世界音樂講座	門馬直衛	非	△一八	同
世界名曲文庫	同	同	◎箱入 二冊	同
世界名曲文庫	同	同	△箱入 三冊	同
レヴユウ百科	中村新一	一・五〇	〇二六	音樂世界社 神田
フルート教則本	森敏信	二・〇〇	△〇	共益商社書店 芝
樂聖思ひ出の メロデー	萩原英一 小松耕輔	一・三〇	〇二七	同
世界音樂現代ピアノ 名曲集	門馬直衛	二・〇〇	△二七	松柏館書店 日本
同ピアノ聯彈曲集	同	二・〇〇	△二八	同
レコード音樂夜話	久禮傳三	一・三〇	〇一六	内田老鶴圃 同
岩波 文庫 樂曲選集	野上豊一郎	・六〇	×與一	岩波書店 神田

書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所
島原半島民話集	敬吾	一・八〇	〇二九	建設社 牛込
耕筰樂話	山田耕筰	一・五〇	〇三六	清和書店 神田
家庭音樂全集	門馬直衛	三・五〇	△二九	松柏館書店 日本
機械音樂の 理論と構造	小松耕輔 秋山峰三郎	二・五〇	◎三〇	共益商社書店 芝
解說曲全集	野上豊一郎	二・〇〇	〇四七	中央公論社 麹町
世界音樂講座	門馬直衛	非	◎箱入 二冊	同
世界音樂名品集	同	二・〇〇	△一七	松柏館書店 日本
世界名曲文庫	同	非	△	同
能裝束名品集	金剛巖	非	△〇枚	芸艸堂 京都
音樂心理學	高野劉	四・五〇	◎四八	東宛書房 麹町
喜多流論七 吹奏樂編曲法	喜多六平太	一・五〇	◎	喜多流 日本
和聲學	山口常光	三・五〇	△	共益商社書店 芝
ピアノニストは無用か	高橋均	二・八〇	◎二七	同
世界音樂學校合唱曲集	門馬直衛	一・〇〇	△二九	春秋社 日本
和聲學	下總皖一	二・八〇	◎二六	共益商社書店 芝
音樂と生活	兼常清佐	一・七〇	〇三五	岩波書店 神田
世界音樂ピアノ曲集	門馬直衛	三・五〇	△二九	松柏館書店 日本
世界名曲文庫	同	非	△箱入 三冊	同
音樂原論	國邊尙雄	一・八〇	◎一五	同
家庭音樂全集	門馬直衛	二・〇〇	△一三	松柏館書店 同
世界音樂講座	同	非	◎箱入 二冊	同
註釋曲全集(二)	野上豊一郎	二・〇〇	〇五〇	中央公論社 麹町
能樂腰帶集	金剛巖	非	△	芸艸堂 京都
世界名曲文庫(一九)	門馬直衛	非	△箱入 四冊	春秋社 日本
世界音樂少年ヴァイ オリン曲集	門馬直衛	二・〇〇	△一九	春秋社 日本
世界音樂少年ヴァイ オリン曲集	門馬直衛	二・〇〇	△一九	春秋社 日本
獨習和聲學	原田彦四郎 守安省	二・〇〇	◎三三	共益商社書店 芝

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
解詠曲全集(三)	野上豊一郎	二〇〇〇	〇 五〇	中央公論社 麹町
家庭音樂全集(三)	神田龍一	一三〇〇	△ 三九	秋 社 日本橋
世界音樂少年ピア全集(五)	門馬直衛	一五〇〇	△ 三五	松柏館書店 同
家庭音樂全集(九)	神田龍一	一三〇〇	△ 三五	秋 社 同
世界音樂アリア名全集(七)	門馬直衛	二〇〇〇	△ 一四	同
少女行進曲	二宮伊平	一三〇〇	〇 三六	進 社 本郷
作曲法概説	門馬直衛	二〇〇〇	〇 三三	秋 社 日本橋
音樂教育概論	青柳善吾	二〇〇〇	〇 三三	東洋圖書株式會社 同
世界音樂西洋音樂史	門馬直衛	非	〇 三五	式合資會社 同
世界名曲文庫(二〇)	同	同	△ 三册	同
大日本文庫 狂言選	春陽堂	同	〇 六六	陽 堂 同
世界大思想 音樂家(中)	シユウマン	一〇〇〇	〇 二七	松柏館書店 同
世界音樂全集(八)	之進	二〇〇〇	△ 一七	秋 社 同
初等ウアイオリン曲集	門馬直衛	二〇〇〇	△ 一七	秋 社 同
音樂教授の實際的指導	北村久雄	一五〇〇	〇 一四	春 社 日本橋
ベートーヴェン全集(四)	ヴァンサン	一八〇〇	〇 三〇	共益商社書店 芝
世界音樂序曲集	小松耕輔	一〇〇〇	△ 二〇	松 館 日本橋
日本音樂理論(一)	高野 潤	二五〇〇	〇 一四	東宛書房 麹町
世界音樂室內樂全集(八)	門馬直衛	一八〇〇	△ 一八	秋 社 日本橋
家庭音樂ウアイオリン全集(六)	神田龍一	三〇〇〇	△ 二九	同
音樂鑑賞圖譜(上)	エンデルフ	非	〇 三三	全國ピアノ技術者協會 芝
附作曲者別作品番號表	中谷孝男	四〇〇〇	△ 二册	共益商社書店 同
レヴューをり	阪田英一	非	〇 一七	沙羅書店 澁谷
歐米映畫論	内田岐三雄	一五〇〇	〇 三八	天 洞 澁谷
世界名曲文庫	神田龍一	一五〇〇	△ 三册	秋 社 日本橋
世界音樂ウクレレ全集別卷 名曲集	山本芳樹	一八〇〇	△ 一六	同
音樂理論講義學生版	門馬直衛	一八〇〇	〇 二七	音樂世界社 神田

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
世界音樂全集(四)	門馬直衛	一五〇〇	〇 一八	秋 社 日本橋
最新ピアノ曲集	アリス	一〇〇〇	〇 二二	敬文館出版部 東京
幼兒の音樂	高森富士子 共編	一〇〇〇	〇 二二	鬼貫堂書店 神田
青春交響樂	神田龍一	一三〇〇	△ 二七	秋 社 日本橋
家庭音樂全集(二)	神田龍一	一三〇〇	△ 二七	秋 社 日本橋
能裝束名品集(八)	金剛 巖	△ 二枚	芸 堂 京都	
現代音樂の奔流	小松耕輔	一六〇〇	〇 二六	秋 社 日本橋
音樂鑑賞圖譜	小川一朗	四〇〇〇	△ 一六	共益商社書店 芝
世界音樂全集(八)	門馬直衛	一八〇〇	△ 二七	秋 社 日本橋
交響曲集(四)	北原鐵雄	二二〇〇	〇 四七	アル 社 神田
アルス音樂大講	小林靜雄	二〇〇〇	〇 四七	アル 社 神田
室町熊樂記	神田龍一	一八〇〇	〇 二六	秋 社 日本橋
世界音樂講座(三)	同	同	同	同
西洋音樂史	同	同	同	同
【十二月】	同	同	同	同
初等音樂 音樂史	音樂世界社	一八〇〇	〇 一七	音樂世界社 神田
アルス音樂大講座(三)	同	同	同	同
能樂史 豐高日記	坂元雪鳥	一五〇〇	〇 一七	わんや書店 京橋
世界音樂全集別卷 アッコイデオノ	山本芳樹	二〇〇〇	〇 一六	秋 社 日本橋
西洋音樂史	乙骨三郎	四〇〇〇	〇 四一	文 社 神田
レコード音樂第一課	神保環一郎	二〇〇〇	〇 三五	創 元 社 芝
世界音樂全集(四)	弘田龍太郎	一〇〇〇	△ 二五	秋 社 日本橋
狂言舞詠集	野々村戒三	一八〇〇	〇 一四	詠曲界出版部 神田
世界名曲文庫(二)	神田龍一	一五〇〇	△ 二〇	秋 社 日本橋
家庭音樂全集(七)	同	同	同	同
現代舞踊評話	蘆原英了	一八〇〇	〇 一四	西東書林 同
解詠曲全集(五)	野上豊一郎	二〇〇〇	〇 一八	中央公論社 麹町
註 解詠曲全集(五)	井上武士	一七〇〇	〇 二二	共益商社書店 芝
オングクノクニ物語	上田壽四郎	一七〇〇	〇 二二	同

簡易な福音書

バイブルは萬國語に譯されて世界
 到る所で讀まれてゐるが、いづくも
 同じで、その用語は難解に過ぎ、教
 育程度の低い人々には取付きにくい
 そこでこの程イギリスでは、その缺
 点を補つた大衆版ともいふべき簡易
 福音書を出版した。普通英語の福音
 書は六千の異なる單語から出來てゐる
 が、簡易版は僅に八百五十語しか用
 ひられてゐない。然らば、その文章

はどんな工合に改正されたかと思
 と、例へば、今までのマルコ傳の種
 播きの譬では「聽け、種播くもの、播
 かんとして出づ、播くとき、路の傍ら
 に落ちし種あり。鳥きたりて啄む。
 土うすき礫地に落ちし種あり、土深
 からぬによりて速かに萌え出でたれ
 ど……」云々とあるを「百姓が種を
 持つて畑に出た。播いた時(播くと
 いふ動詞の代りにそれ等を土に置い
 たと書いてある)或る種は路に落ち、
 鳥が來て食べて了つた。又或る種は
 小石の上に落ちた。其處には餘り土

が無かつた。そして、種には十分土
 がかぶさらなかつたので、直ぐ芽を
 出した……」云々といつた風に易し
 くなつた。併し、簡易化の精神とそ
 の努力には敬意を表するが、これ
 は折角のキリストの譬も悪文の手
 本の様だとして、一般から甚だ不評で
 ある。そんな譯で、やつとマルコ傳
 が完成出版されたのだが、今後引
 き續いて他の章が簡易化されるかど
 うかは疑問とされてゐる。

(二七) 運動

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
【一月】 第十回 全日本スキー選手権大會 東スキー山岳部年報(3) 鐵劍武術圖解教範 アーノルスキー術 ドラン 解説 標準野球規則解説 陸上競技の補助運動 空手研究(第一輯) 劍道の話	吉岡龍太郎 戸田考懿 多田正義 阿部謙太郎 横井春野 高田通 空手研究社 小林佐兵衛	七〇 非 二〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇	〇 一五 三〇 二六 三九 三三 三三	青森縣聯盟會 東鐵山岳部 大阪會社 株式會社 平原社 白揚社 三省堂 興武館 信濃會社
【三月】 寫真講道館 圖解 柔道修練法 昭和柔道	金丸英吉 松岡辰三郎	二〇〇 一〇〇	〇 〇	精文堂書店 博文館
【四月】 最體操指導の動きと 近 教授批判原理 排球競技指導法	齊藤謙治郎 中島太郎	一〇〇 二〇〇	〇 〇	大潮社 黒書店
【五月】 排球競技體験に 據る實際と理論 劍道神髓と詳説 新しいゴルフ術 新六遊技と 球技の指導	原六郎 谷田左一 近藤彌一 守屋矢三郎	一〇〇 一〇〇 一〇〇 二〇〇	〇 〇 〇 〇	運動社 秋文堂書店 三省堂 文社
【三月】 拳闘秘話 オール・スポーツ 武士道教本	川島 潔 春日俊吉 丸岡秀夫	一〇〇 一〇〇 非	〇 〇 〇	大誠堂 朋文堂 宇和島支店

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
空手道教範	富名越義珍	二・五〇	◎三三	大倉廣文堂 京橋
〔六月〕 ゴルフ規則の註釋と判例	大谷光明	三・八〇	◎六一	目黒書店 神田
〔八月〕 體育とスポーツの諸問題	大谷武一	二・八〇	〇三三	目黒書店 神田
生命體操の實際	三橋喜久雄 三橋茂雄	四・五〇	〇九八	三橋體育研究所 東京
理論、體操、最新、新、技、舞踊、運動會、香料大全(上)	齋藤薰雄 石井水浪	二・三〇	◎三八	弘學社 赤坂
同 (中)	同	二・三〇	◎三八	同
同 (下)	同	二・七〇	◎二四	同
師範大學 體育(三)	建文館	同	同	同 牛込
運動競技場設計	出口林次郎	二・〇〇	△六六	體育運動協會 同
ゴルフ 圖解(一) フォト本	草場丘人	一・五〇	〇二七	日本ゴルフ社 麹町
〔九月〕 伯林オリムピックの爲に	白山源三郎	二・五〇	△三三	日本技術水陸聯盟 麹町
〔十月〕 訂改 體育の諸問題	大谷武一	一・八〇	〇三三	目黒書店 神田
〔十一月〕 日本のスキー術	高橋次郎	一・五〇	〇三三	弘明堂書店 神田

(二八) 娛樂・趣味・遊戲

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
〔一月〕 線路旅行 信越線	鈴木重正	三・三〇	×	線路旅行會 中野
相撲 往來	藤島秀光 外	一・五〇	〇二八	大光館書店 神田
誰れにも分る 寫眞術解説	三井秀光	一・五〇	〇二四	平原社 京橋
日本寫眞年鑑	星野辰男	二・〇〇	△二三	東京朝日新聞社 麹町
布石と定石の統合	木谷實	二・〇〇	〇一八	誠文堂 神田
趣味の淡水生物と其利用法	目黒廣記	二・八〇	〇三九	杉山書店 同
撮影十二ヶ月	吉川速男	二・五〇	〇三五	玄光社 豊島
解説と獨逸シエバ寫眞(一) 犬(一)	フアンニツテ 有坂光威	一・五〇	◎三元	帝國軍用會社 京橋
新スキー教本	町野久作	一・五〇	〇一五	北海出版社 麹町
茶禪つれつれ草	赤路宗貞	二・三〇	〇二二	澗松庵 大阪
スキー温泉地	時任爲文	一・三〇	〇二四	三友堂書店 牛込
盆栽藝術	澤田牛麿 外三名	二・三〇	◎三八	成美堂書店 日本橋
山岳スキーの旅	竹節作太	一・五〇	〇二五	博文館 同
増わかり易い スキー術	鈴木勇	一・〇〇	×	朋文堂 麻布
訂 スキー	長田進	一・〇〇	×一七	隆章閣 神田
コーチャー・ブック	同	一・三〇	×三三	同
全日本スキー地案内	同	一・三〇	×三三	同
東洋蘭の簡易栽培	中村幹治	一・〇〇	〇四	京華堂 日本橋
〔二月〕 野澤精局集(上)	野澤さい	二・五〇	〇二六	斯文館 京橋
茶經	大内白月	三・〇〇	◎一六	三笠書房 神田
先手優勢布石法	吳清源	一・五〇	〇二〇	誠文館 同
新將棋戰略	金子金五郎 菅谷北斗星	一・五〇	〇四四	千倉書房 京橋

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
詰碁の新研究	喜多文子		△三二	誠文堂 神田
茶道	高橋龍雄	四・五〇	◎四〇	大岡山書店 麻布
釣一	年大道弘雄	一・〇〇	〇三〇	朝日新聞社 大阪
鐵中茶話	佐々木三味	三・五〇	〇三〇	茶道月報社 京都
玩具叢書 日本玩具圖篇	西澤笛畝		△三〇	雄山閣 麹町
役者藝風記	三島霜川	二・三〇	〇四〇	中央公論社 麹町
はめて大成(上卷)	瀨越憲作		△三四	誠文堂 神田
圍碁手ほどきから 獨習 初段まで	東京圍碁 研究会	一・五〇	〇四八	泰文館 同
華道水盤之卷	角谷綠三	二・〇〇	◎三八	非凡閣 小石川
趣味ぶくろ	高橋義雄	二・五〇	〇四六	秋豐園出版部 神田
大東京う食べある記 まいもの昭和十年版	安井信二	二・〇〇	×五九	丸之内出版社 京都
煎茶清約法	阜月鶴年		〇四	清風明月社 京都
茶道全集	九矢部良策		〇八三	創元社 大阪
三味線情趣	平山蘆江	一・〇〇	〇六二	岡倉書房 神田
趣味大觀	鶴橋泰二	五・〇〇	△三六	誠文堂新光社 神田
女々碁經新定本	橋本宇太郎		△三六	誠文堂新光社 神田

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
研究と 實際 趣味の釣魚	高橋鬼川	一・八〇	〇三三	坂東三弘社 神田
註謡曲全集(四)	野上豊一郎	二・〇〇	〇五四	中央公論社 麹町
新撰盆景三百種	森永達男	二・五〇	△	金竜堂 淺草
茶道 隨筆 松	木下桂風	二・五〇	〇二七	人文書院 京都
ラムゼイ夫妻の 社交ダンス	加藤敬雄	二・五〇	〇一六	大阪屋號書店 日本橋
華道全集 基本之卷	角谷綠三	二・〇〇	◎三六	非凡閣 小石川
陶器講座	長坂金雄		◎	雄山閣 麹町
華道全集基本之卷 下(三)	角谷綠三	二・〇〇	◎三七	非凡閣 小石川
將棋此の一手	石山賢吉	一・五〇	〇四七	千倉書房 京都
素人 將棋 戰術 問答	大崎熊雄	一・五〇	〇三六	同 同
はめて大成(下)	瀨越憲作		△三六	誠文堂新光社 神田
明圖 圍碁大辭典三 解式 互先篇下	鈴木爲次郎	四・五〇	△六三	誠文堂新光社 同
定石進化の経路	加藤信		△二六	誠文堂新光社 同

教育塔に御下賜金

天皇陛下には帝國教育會が昭和九年の關西風水害に遭難した學童教職員慰靈のため、大阪城公園内廣場に教育塔建設の計畫あるを聽召され、思召をもつて御内帑金下賜の御沙汰あり、同會會長は宮内省に出頭、松平宮相から拜受した、尙教育塔は既に定礎式を終り、明年七月我が國に開催される世界教育大會までには完成の豫定で、風水害の犠牲者の外、

明治五年學制發布以來の教育關係殉職者をも併せ祀るとの事である。

振替貯金

郵便振替貯金の制度が布かれて本年三月は三十周年に當る——創業第一年に取引された金額は四十三萬口三千萬圓だったが、昭和十年には六千四百萬口四十七億圓になつてゐる地代、家賃の支拂ひから納税まで利用は千差萬別である。貯金局のお役

人が、ひまつぶしに此の四十七億圓を十圓紙幣で積上げて、計算をしてみると三萬五千六百メートル、富士山の約九倍になる高さでこれを一圓紙幣で勘定すると一分間に二百枚宛數へても一萬六千三百十九日、休みなく計算してざつと四十四年八ヶ月かゝるといふのである。
なれどもいゝ氣持になつてはいけない、ドイツは我國より三年も遅れてはじめ、昭和九年で一千六百二十四億圓、日本の三十五倍ださうだ。

(二九) 家政婦人讀物

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
子供の遊ばせ方	坂内ミツ	一・〇〇	〇三三	厚生閣書店 麹町
婦人子供服精義(四)	牛込ちえ	二・〇〇	〇	渡邊女學校 本郷
お臺所の重寶	龜井まき子	三・五〇	〇三三	龜井割烹部 神田
女性への危険信號	松波治郎	一・五〇	〇二六	野崎書房 中野
家庭浄土の建設	宮澤英心	一・八〇	〇四九	博文館 日本橋
日本婚禮式	小平久馬	一・六〇	〇三六	泰文館 神田
新生兒より青年期へ	青木誠四郎	・六〇	〇三九	子供の教養社 杉並
最新西洋料理精義(上)	手塚かね子	三・〇〇	〇六八	弘文館 神田
最新西洋料理精義(下)	手塚かね子	三・〇〇	〇六八	弘文館 神田
最新和服裁縫と着附	今村品子	二・〇〇	〇三三	盛林堂書店 日本橋
家政婦人讀物				
新女性手紙讀本	伊藤貫一	一・五〇	〇四三	南光社 神田
旭之	岩井智海	一・八〇	〇三四	立命館出版部 京都
花嫁學校講義錄(四)	河野正義	非	〇四四	通信花嫁學校 神田
我が子をまもる	島田牛稚	・三〇	〇一三	大阪府 教授聯盟 大阪
教へ得ぬ悩み第三版	保仙和夫	一・五〇	〇三七	小島文開堂 同
婦女鑑抄(一・二)	吉川弘文館	各	〇四〇	吉川弘文館 京都
子供服裁縫裁縫全書	吉岡陽芳	五・〇〇	〇三六	メインハウス 出版部 大阪
通俗圖解家相一覽表	木村安男	・六〇	〇二〇	大龍堂書房 京都
懷石料理十二ヶ月	栗山善四郎	一・三〇	〇二〇	秋豐園 神田
ペン字入實用書翰教典	佐山順吉	二・八〇	〇九六	好文閣 小石川
四季の新日本料理	宇多紫野	一・五〇	〇三三	婦女界社 麹町
衣服手入の手引	吉川壽治郎	・六〇	〇一六	大成社 大阪
ソフト、ドリンクス(ブラジル珈琲)	佐藤紅霞	一・八〇	〇一四	國際飲料研究所 豊島
家事の臺所讀本	谷孫六	・三〇	〇一三	家事研究所 日本橋

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
子供を中心とした趣味の家庭こよみ	加藤 繁	・五〇	〇二五	仙臺金港堂 宮城	新作 法書	伊藤カズ	一・五〇	〇三五	誠堂 日本
華道 眞跡	瓜生不二子	一・八〇	〇二六	經國新聞社 目黒	家庭經濟讀本	河津 暹	一・三〇	〇二七	明善社 本郷
わが子の歴史	大阪こども研究会	三・〇〇	△八	大阪三越 大阪	花嫁學校講義録(五) 生活と趣味篇	河野正義	非	〇三六	通信花嫁學校 神田
〔二月〕					婦 女 鑑	宮内省藏版	一・五〇	〇三六	箱入 三冊 吉川弘文館 京橋
手紙文實習講話	金子彦二郎	二・三〇	〇五〇	三元堂書店 神田	家計の妙味	杉田瀨平	三・八〇	〇四九	杉田會計事務所 日本
正しき名 撰名講話	茨田龍堂	二・二〇	〇四二	文教社 麹町	現代女子職業讀本	市川源三	五・〇〇	〇六五	經濟知識社 麹町
男女貞操讀本	菊池 寛 外二名	五・〇〇	×二九	女界社 同	入學、青春期、結婚、優生學母の再教育、女性文化講話	山田清作	非	〇六五	明治圖書株式會社 京橋
我が子の育て方全書	大伴 茂	〇三六	平	凡社 日本	女用訓蒙圖彙(一)	遠藤政次郎	四・五〇	〇九〇	文化裁縫學校 澁谷
我が子の養(二)					洋裁全書(子供服篇)	矢島俯仰	二・三〇	〇二五	鳩巢房 同
子供の生活心理	波多野完治	一・〇〇	〇二〇	刀江書院 神田	墓より見た墓の建て方	丹野積子	一・三〇	〇五二	叢文閣 麹町
現代婦人の生活	塚本はま子	〇八〇	〇三三	同 文館 同	子供の日常問題	エー・ソム	〇五二	〇五二	日本圖書會 同
我國體と日本女子道	山田虎太郎	五・〇〇	〇一八	神州擁護會 本郷	職業婦人讀書 傾向調査	日本圖書會	〇一五	〇一五	同 同
農村婦人教本	滋賀縣農會	一・〇〇	〇三三	滋賀縣農會 滋賀					
家庭の主婦さん達へ	龜井川紀夫	二・五〇	〇七二	消費經濟協會 下谷					
子供の取扱讀本	尾高豊作	〇六〇	〇四一	刀江書院 神田					

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
釋尊と家庭	蘆谷 蘆村	・二五	〇五	社會教育協會 小石川	性愛生活夫婦讀本	竹田津六二	五・〇〇	〇二六	保健社出版部 豊島
日本女性鑑	大日本 聯婦人會 女子青年團	一・三〇	〇四四	大日本聯合會 麹町	我が子の育て方全書	大伴 茂	〇四三	〇四三	平凡社 日本
〔五月〕					茶 料 理	魚谷常吉	二・〇〇	〇二五	河原書店 京橋
婦人と兒童の問題	岩崎 盈子	〇八〇	〇三六	ナニハ書房 大阪	今日の處世一家言	高橋是清	二・〇〇	〇六〇	今日の問題社 芝
婦人界三十五年	福島四郎	七・〇〇	〇三三	婦女新聞社 澁橋	家庭讀本	石井 滿	一・五〇	〇四九	關谷書店 府下
家事育兒法提要	井上秀子	二・七〇	〇三六	文光社 四谷	家庭讀本	中山龍次	一・〇〇	×三五	日本放送會社 麹町
性 結婚の知識と 初夜の心得	高砂老人	一・〇〇	×二五	博榮堂書店 大阪	〔七月〕				
深契 男女娛樂の夢	柳 正夫	五・〇〇	×一四	同	正しき生活百飲食 衣食住科大觀篇	雨森兼次郎	一・五〇	〇七一	生活百科大觀編纂會 澁谷
花嫁學校講義録	河野正義	非	〇二五	通信花嫁學校 神田	細君 百癖	堀内新泉	一・二〇	×三三	文新社 神田
女性美の創造	山野千枝子	二・〇〇	〇四九	生命の藝術社 澁谷	良 人 百癖	同	一・二〇	×三三	同
素晴らしい趣味の 室内裝飾	伊藤義次	二・三〇	〇二二	教育圖書社 大阪	〔八月〕				
結婚初夜の 心得と其知識	玉兔山人	一・〇〇	×二六	香蘭社書店 下谷	日本婦道講座(一)	松信弘毅	一・〇〇	〇四五	婦女界社 麹町
結婚初夜の 性典	末廣義一	一・五〇	〇三六	昭興堂書店 同	我が子の育て方全書(五)の誘惑	大伴 茂	〇三〇	〇三〇	平凡社 日本
文化洋裁講座第一卷	遠藤政次郎	〇二五	〇二五	文化裁縫學校 澁谷	文化洋裁講座(二)	遠藤政次郎	〇四七	〇四七	文化裁縫女學校通信教育部 澁谷

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
我が子の育て方全書 我が子の學校八 選擇と職業指導 英米の婦人氣質	大伴茂 社會協會	〇・五〇	〇四三	平凡社 日本
日本婦道講座(二)	松信弘毅	一・〇〇	〇五九	婦女界社 麹町
文化洋裁講座(三)	遠藤政次郎	〇・四〇	〇四〇	文化洋裁 通信部 澁谷
學童を持つ 母親に贈る	岡田道一	一・六〇	〇三三	協和書院 神田
家庭に中學生の父母 於ける	金子近次	一・五〇	〇五五	精文館 同
日本婦道講座(三)	松信弘毅	一・〇〇	〇五九	婦女界社 麹町
趣味 母姉の修養	八波則吉	一・五〇	〇三九	同文社 神田
結婚 讀本	永井 潜	一・五〇	〇三三	春秋社 日本橋
婦人洋服裁縫 子供 新型全集(一)	羽仁吉一	一・八〇	〇三三	婦人之友社 豊島
結婚前後の知識	井島譽雄	二・五〇	〇七一	大京堂書店 神田
現代語 婦女鑑讀本	古口正雄	一・八〇	〇二六	皇道顯揚會 川野
日本婦道講座(四)	松信弘毅	一・〇〇	〇五九	婦女界社 麹町
家庭管理	徳山敬子	一・五〇	〇三六	成美堂書店 日本橋
光明の生活法	谷口雅春	一・〇〇	〇三四	光明思想 會 赤坂
智慧乃言葉	同	二・〇〇	〇四三	同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
日本婦道講座(四)	松信弘毅	一・〇〇	〇五九	婦女界社 麹町
女用訓蒙圖彙(三)	羽仁吉一	一・八〇	〇二九	婦人之友社 豊島
文化洋裁講座(四)	遠藤政次郎	〇・四〇	〇四三	文化洋裁 通信部 澁谷
一日人生日記	加藤 岬堂	三・五〇	〇七四	國民圖書 協會出版部 芝
子供と母の領分	鷹野つぎ	一・八〇	〇三三	古今書院 同
夫婦に於ける嫌悪性	平野 馨	二・五〇	〇四七	平野書房 本郷
支那家庭論語	後藤朝太郎	一・三〇	〇三〇	現代文化社 京橋
精神分析 社會圓滿生活法	大槻憲二	二・〇〇	〇三三	人生創造社 千葉
婦人洋服裁縫 子供 新型全集(三)	羽仁吉一	一・八〇	〇三三	婦人之友社 豊島
生命の實相(二)	谷口雅春	一・三〇	〇四五	光明思想 會 赤坂
玩具と縁起	佐藤 潔	三・八〇	〇四六	人文書院 京都

新案讀書療法

◇…マドリッド市(スペイン)のラツソ・デ・ラ・ウエガ氏は、近頃「讀書療法」といふものを提唱して嘖嘖たる好評を得てゐる。

◇…これはつまり讀書による精神療法で、病人が長い間天井と睨めつこをしてイラ／＼するのを防ぐと同時に、闘病精神と朗かな神経とを養ふのが目的である。

◇…患者は入院すると職業、年齢及び病狀に應じて適當な圖書目錄を渡され、選んだ書物は看護婦が美しい聲で讀んで呉れる。

マドリッドの各病院における讀書療法の結果は、單に生理學的な點から頗る有効だと解つた。

アイヌ語辭典

アイヌ教化で世界的に有名な英人神學博士勳三等ジョン・パチエラー翁が明治十年秋から手をそめた『アイヌ語英譯和譯辭典』が星霜實に六十年、翁畢生の事業として片言隻句生活のまにまに、覚え込んだアイヌ語のメモを丹念に綴り合せて八十四歳の今日漸く完成した、この間における翁の努力たるや全く想像にあまりあるもので、耳は聾し目はかすんだこと、兩三年、なほ最後の奉公として老軀に鞭ち、タイプライターとメモを相手に闘つた超人的努力こそ信仰ある者にして始めて可能な業である

翁が始めて北海道に渡つたのは明治十年、二十代の若き信仰の使徒は日本人すら顧みないアイヌ部落に入込み、屈辱と苦難の冠をかぶつていさぎよく戦つた、わけても苦勞したのはその言葉であつた。アイヌ教化に神よりの使命を感じた青年パチエラーは何よりも先づ言語の障壁を取除かねばならぬと決心し、一つ／＼覚え込むアイヌ語を後生大事に記録した、二十代、三十代、四十代、五十代——も過ぎて何時しか八十代に足を踏み込んだ時、翁のメモには無慮一萬のアイヌ語が感激に満ちて躍つてゐた。こゝ兩三年最後の補填や整理に寢食も忘れて書齋に閉ぢこもりつひにこの程草稿が完成したものである。手をそめて以來六十年間、實

に血で綴られた苦難と努力と犠牲の歴史を凝視して、さすが老の眼に白いものを光らせて『もうこれが最後のものでせう、何とか出版したいものです』と暗然と語つた、翁のアイヌ語辭典は日本語英語の二つで實に正確そのものである。現在少數の専門以外には知られずほろびゆく民族と共にやがて全く影を消してしまふであらうアイヌ語が翁の辭書によつて將來永く傳へられ、學界の珍品として尊重される時が来るであらう。翁のアイヌに關する出版物は明治十五年から實に三十五冊、いよ／＼最後の大物として完成したアイヌ語辭典が三十六冊目のリストに加へられるのは何時の日であらうか。

(三〇) 叢書・講座

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
日本精神講座(九)	佐藤義亮	一・三〇	三〇	新潮社 牛込
綜合理科教育講座(三)	上條 勇	〇・五〇	三〇	地人書館 神田
婦人子供服專門講座(五)	宮原小治郎	一・〇〇	二四	家事及裁縫社 牛込
木下産科 産婦人科叢書(一〇)	小笠原 清	一・七〇	二五	南山堂書店 本郷
同 子官腔部 藥爛(一一)	東 恭則	〇・八〇	六	同
岩波講座(二六)	岩波茂雄	〇・五〇	〇	岩波書店 神田
增補京都市誌(下京之部)	井出時秀	非	〇	叢書刊行會 京都
哲學 ハイデッガーの存在學	鬼頭英一	二・五〇	三〇	東洋出版社 京橋
岩波講座(一六) 日本歴史	黑板勝美	〇・五〇	〇	岩波書店 神田
基督敎文獻叢書 スエデンボルグ傳及基督論	金井爲一郎	一・五〇	〇	新生堂 同
新修輓近高等數力學 學講座(三五) 通論	渥美 正	非	〇	共立社書店 同
アルス機械工學大講 座(一六)	池原鐵雄	非	△	アールス 同
同	同	非	△	二七 同
母のた學習指導講座 母のた(完結篇)	城戸甚次郎	一・〇〇	〇	刊行の講座 神田
實用機械工學講座九 尾三郷土史料叢書八 尾張徇行記(中)	南條初五郎	非	〇	共立社 同
岩波 東洋思潮(七) 講座	山村敏行	非	〇	愛知縣教育會 愛知
鐵道常識 叢書(一) 鐵道一般	岩波茂雄	〇・五〇	〇	岩波書店 神田
日蓮主義新講座(12) 大衆法律講座(二) 物權法	山岡儀助	一・〇〇	〇	鐵道研究社 中野
	田中顯一	一・三〇	〇	師子王文庫 江戸
	長野 潔	一・三〇	〇	三三 非 凡 閣 川小石

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
實用經濟講座(三)	芳野國雄 外二名	一・三〇	〇四三	非凡閣	佛敎聖典を語觀無量 の叢書(四)壽經	佐藤春夫	一・三〇	〇三三	大東出版社
日本文學特 殊講座(一五) 研究篇	山本三生	〇四〇	改	造社	師範敎理科教育(二)	宮邊富次郎	非	〇	建文館
國文學 大講座 國文學史	藤井乙男	二・五〇	〇三〇	日本文學社	師範大學國語教育(八)	同	非	〇	同
同 謡曲講義	能勢朝治	二・三〇	〇三五	同	增補京都叢書 十六 (上京之部) 坤	井出時秀	非	〇六〇	增補京都叢書
同 言語學概論	新村出	二・八〇	〇三〇	同	佛敎大學講座(十二)	熊崎閑田	非	〇	佛敎年鑑社
同 國語學史	吉澤義則	二・八〇	〇四〇	同	世界音樂講座(十五)	門馬直衛	非	〇	松柏館書店
同 文法及口語法	木枝増一	四・〇〇	〇六五	同	日本宗敎講座(十二)	三井晶史	非	〇	東方書院
同 古事記選釋	阪倉篤太郎	二・八〇	〇六六	同	實用金屬材料講座(四)	南條初五郎	非	〇	共立社
同 枕草子選釋	島田退藏	二・八〇	〇四八	同	滿洲及中國の要人を 語る叢書(一)	姫野徳一	一・三〇	〇三三	日支問題 研究会
同 萬葉集選釋	澤瀉久孝	二・五〇	〇二八	同	趙欣伯氏を語る 人叢書(三) 宗城	兵頭賢一	二・〇〇	〇三七	愛媛縣敎育會
同 源氏物語講義	岩城準太郎	二・八〇	〇四一	同	日本刀講座(九)	長坂金雄	一・三〇	〇	雄山閣
同 有職故實	江馬務	二・八〇	〇三五	同	日本文學 講座(七) 室町時代	佐藤義亮	一・三〇	〇	新潮社
地理講座 南ア メ 外編(九) リカ	山本三生	〇三二	改	造社	近高等數學講座(三)	西内貞吉	非	〇二七	共立社書店
アルス最新 寫眞大講座(三)	佐和九郎	〇二五	ア ル ス	神田	輿論	永井瓢齊	一・五〇	〇三六	大雄閣

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
自習女 學叢書 作文科	勸學園	〇三三	〇	勸學園	禪敎 書六俗 人 禪	永井瓢齊	一・五〇	〇三六	大雄閣
手紙講座(一)	下中彌三郎	〇二〇	△	平凡社	つはもの籠城物語	陸軍省つは もの編輯部	〇二〇	×二三	つはもの 發行所
研究社現代英文學叢 書(第四)	岡田美津 中野好夫	〇	〇	研究社	初等英語叢書 やさしい英語の日記	吉田幾次郎	一・三〇	〇二九	研究社
警察講習講座 第二卷 第一號	佐々木實榮	〇	〇	警察講習學會	北信郷土叢書(卷六)	同上刊行會	非	〇	北信郷土 叢書刊行會
朝日産業叢書一 農村工業化の話	木村東	二・〇〇	〇	朝日新聞社	研究社小英文學叢書 アメリカン エッセイズ	高垣松雄	一・三〇	×六	研究社
玩具叢書(世界玩 具史篇)	有坂與太郎	二・〇〇	△二二	雄閣山	同 コンゴルド グループ	同	一・三〇	×七	同
紀行叢書 戦時經濟 第二十篇 と金融	中村至道	非	〇	東京會 所	同 アーヴィンゲ スケッチブック	青木常雄	一・三〇	×八	同
農村問題解説叢書五 副業中心農村工業 に觀たる 化の話	大島辰次郎	〇四〇	×一五	協 調 會	同 リツプ・ヴァン ウインクル他一篇	同	一・三〇	×九	同
佛敎聖典を語立正 る叢書 一五 安國論	室伏高信	一・五〇	〇三三	大東出版社	同 ラスキン・セサミ ブ・クインズ・ガ ブ・クインズ・ガ ブ・クインズ	同	一・三〇	×六	同
農村更 生叢書 品種改良法	宗正雄	×二二	×二二	日本評論社	同 ラスキン・セサミ ブ・クインズ・ガ ブ・クインズ	同	一・三〇	×六	同
增補京都叢書一四 京都坊目誌 (上京之部) 乾	井出時秀	非	〇三三	增補京都叢書 刊行會	研究社小英文學叢書 ラスキン・セサミ ブ・クインズ・ガ ブ・クインズ	篠田錦策	一・三〇	×六	研究社
現代基督キリスト論 叢書二の根本問題	熊野義孝	〇二四	〇	叢書刊行會	同	同	一・三〇	×六	研究社
思想叢書 新日本女性訓	島田牛稚	〇二五	〇	問題研究會	同	同	一・三〇	×六	研究社

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
研究社英文註叢書 ウエセックス初代の 伯爵夫人	平田喜一	・五〇	× 一三三	研究社 麹町	母のための 學習指導講座(九) 同 學習篇(九)	城戸甚次郎	一・〇〇	◎ 二冊	母の講 行會 麹町
同 一幕もの	佐伯有三	・五〇	× 一七七	同	實用金屬材料講座(2)	南條初五郎	非	◎ 四冊	共立社 同
物理學 ベクトルと テソル	山田光雄	三・五〇	◎ 二四一	内田老鶴圃 日本橋	綜合理科教育講座(2)	上條 勇	◎ 六冊	◎ 六冊	地人書館 同
貿易經濟新市場ラテ 叢書五〇ンアメリカ	大阪市役所 産業部調査課	三・五〇	◎ 九〇五	大阪	輓近高等數學講座(12)	南條初五郎	非	◎ 二冊	共立社書店 同
甲斐叢書九	後藤孝平	三・五〇	◎ 五〇四	甲斐叢書會 山梨	岩波 日本歴史(一五)	黑板勝美	◎ 五冊	◎ 五冊	岩波書店 同
武相 考古集録一	石野 瑛	非	◎ 二二三	武相考古會 神奈川	實験工學講座(一七)	南條初五郎	非	◎ 四冊	共立社 同
研究社現代英文學叢 書25ウオルボウル デュレミイとハム レット	寺西武夫	× 三三三	× 三三三	研究社 麹町	岩波 數學(二五)	岩波茂雄	◎ 四冊	◎ 五冊	共立社 同
同 16 ロレンス息子達 と戀人達下	土居光知	× 約 三五〇	× 約 三五〇	同	アトリエ美術大講座 圖案科5 裝飾美術史	北原義雄	◎ 一五	◎ 一五	アトリエ社 牛込
研究社英文75コン ラツド	澤村寅二郎	非	× 一五	同	同 デッサン科5	同	◎ 七	◎ 七	同
同 42 デ クインシー	菊池武一	非	× 一八二	同	同 水彩畫科5	同	◎ 三枚	◎ 三枚	同
同 83 W・H デイヴィス	北詰榮太郎	非	× 一三三	同	實用製造化學講座(五)	南條初五郎	非	◎ 四冊	共立社 神田

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所	書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
アルス機械 工學大講座(7) 綜合童話大講座 第二期 第十二輯	北原鐵雄	非	△ 三三五	アルス 神田	國語國文學講座一二	長坂金雄	◎	◎	雄山閣 麹町
師範大學國語教育(七)	宮邊富次郎	◎	◎ 三冊	建文館 牛込	實際經濟問題講座六 最新日本工業通論	倉橋藤治郎	◎	◎ 三冊	平凡社 日本橋
日蓮主義新講座(二)	田中顯一	一・〇〇	◎ 三冊	師子王文庫 川戸	世界音樂講座(一四)	門馬直衛	非	◎ 三冊	松柏館書店 同
實用機械工學講座八	南條初五郎	非	◎ 三冊	共立社 神田	獨講講座國語 教育科學 2 指導論	垣内松三	◎	◎ 三冊	文學社 神田
音樂講 電氣音樂理論	谷村 功	◎	◎ 二七	學藝社 京都	Current Thought	木合幾三郎	非	◎ 三冊	政界往來社 芝
地理講座 朝鮮關東州 日本篇六	山本三生	◎	◎ 三〇	改造社 芝	大藏經講座二四 秘藏寶鑰講義	三井晶史	◎	◎ 二冊	東方書院 神田
師範大學數學教育(九)	宮邊富次郎	非	◎ 四冊	建文館 牛込	喜多流論ひ方講座六	喜多六平太	◎	◎ 七冊	喜多流論本 會 日本
師範教育理科教育(一)	同	非	◎ 五冊	同	國語科學講座(十一)	三樹退三	◎	◎ 四冊	明治書院 神田
日本文學和歌文(下) 講座七 學篇(下)	山本三生	◎	◎ 四六	改造社 芝	實用金屬材料講座(三)	南條初五郎	◎	◎ 二冊	共立社 同
同 明治時代(中) 一二 民法總則 大衆法(一)	佐藤義亮	◎	◎ 四〇	新潮社 牛込	速記者養成講座三	森 卓明	◎	◎ 二冊	京都速記 所 同
實用經濟講座(二)	野澤秀信	◎	◎ 四〇	同	五ヶ月終了 どもり矯正講座 第二卷 第三卷	伊澤勝磨	◎	◎ 二冊	樂石社 川小石
日本宗教講座(一一)	三井晶史	◎	◎ 五冊	東方書院 神田	警察講習講座第三號	佐々木實榮	◎	◎	警察講習學會 神田
					北信郷土叢書(卷七)	大平喜間多	◎	◎	大平喜間多 長野
					研究社英文27 ンゾリ	齋藤 勇	◎	◎	叢書刊行會 同

書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所	書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所
大藏經講座(十六) 選擇集講義(上)	石井攷道	二・〇〇	〇二五三	東方書院 神田	大眾法律 刑法總論 講座(五)	下村三郎	一・三〇	〇三三三	凡閣 小石
實用金屬材料講座五	南條初五郎	非	〇	共立社 同	實用經濟講座(五)	松田元三郎 外二名	一・三〇	〇三九七	同
朝日産業叢書(二) 軍需農産物語	木村 東	・二〇	〇七	東京朝日新聞發行所 神田	師範大國語教育(十) 學講座	宮邊富次郎	非	〇三三三	文館 牛込
日本精神講座(一〇)	佐藤義亮	一・三〇	〇三六	新潮社 牛込	綜合理科教育 育講座(五)	上條 勇	非	〇四〇	地人書館 神田
婦人書道講座(五)	柳田伊秀	〇	〇	誠文堂 神田	新修最近高等 算學講座16等 算數論及近代數學 大講座(四)	末綱怒一	非	〇四〇	共立社書店 同
教育科學叢書(七) 日本教育行政法論	尼子 止	一・八〇	〇二六四	モナス 小石	改訂版短 歌講座二 概論作法篇	永田二龍	二・〇〇	〇二五三	アルス 同
佛敎聖典を語 る叢書(三) 華嚴經	宮島蓬洲	一・五〇	〇二六	大東出版社 芝	師範教 育講座理科教育(四)	山本三生	非	〇四九	改社 芝
P・Cシリーズ第二 郊外生活者の朝 編	豊岡佐一郎	一・三〇	〇一五九	P、C、會 大阪	現代詩創作講座(四)	宮邊富次郎	非	〇四冊入	建文館 牛込
日本國體新講座(二) 婦人子供服	中田顯一	・五〇	〇一五	師子王文庫 川江	師範大數學教育(十) 學講座	宮邊富次郎	非	〇五冊入	金星堂 神田
國語國文學講座十四	宮原小治郎	一・〇〇	〇三三	家事及裁縫社 牛込	世界音樂講座(十七)	門馬直衛	同	〇三冊入	松柏館書店 神田
アルス機械工 學大講座(五)	沖 外二名	非	△三八	アルス 神田	日本宗教講座一四回	三井晶史	同	〇七冊入	東方書院 神田
アルス電氣工 學大講座(一八)	木村彌藏	同	△三三	同	日本文學講座(三) 古代及奈良時代	佐藤義亮	一・五〇	〇四〇	新潮社 牛込

書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所	書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所
國語科學講座 (第十二輯)	三樹退三	〇二〇	〇一冊	明治書院 神田	日本精神講座	佐藤義亮	一・三〇	〇三六	新潮社 牛込
實用金屬材料講座六	南條初五郎	非	〇三冊	共立社 同	鐵道常識叢書(十二) 社會科學の建設者 オーギニスト・コ ント人と學說叢書	伊能繁次郎	一・三〇	〇三四	鐵道研究社 中野
獨逸語大講座 第一卷ヨリ六卷	關口存男	各 一・三〇	〇六冊	外國研究社 神田	拜經堂叢書(上) (下)	伊津野直	一・〇〇	〇五冊	東方文化學院 京都
自治行政 商工行政	高嶺明達	非	〇約	常磐書房 小石	國も更 世界の 生叢書 大勢と日本	永井松三	・二〇	〇三	中央教化 同
大神宮大神宮儀式解 叢書 外宮儀式解	神宮司應	〇五〇〇	〇一冊	株式會社 岐阜	普及社赤軍とスター リンの兵術	並木清哉	・二〇	〇四	團體聯合會 同
農村更 更生農村	今井善兵衛	×一六	〇一冊	日本評論社 京都	岩波 東洋思潮	田中顯一	・五〇	〇一冊	岩波書店 同
遠操會 招魂帖	福井正滿	非	〇〇	三鹽嘉平 山口	日本國體新講座	中顯一	・五〇	〇一冊	師子王文庫 川江
支那學 青銅器	郭 沫若	・六〇	〇一冊	文求堂書店 木郷	ことばの講座	東京中央 放送局	一・三〇	〇一冊	日本放送協會 神田
譯叢書一 研究要纂	郭 沫若	・六〇	〇一冊	文求堂書店 木郷	師範大體 育	東京中央 放送局	一・三〇	〇一冊	日本放送協會 神田
産青聯 島根の産青聯	岩本正吉	・三〇	〇一冊	産青聯組合 島根	甲斐 甲陽道費・甲 府殿分限帳他十五篇	須藤孝平	三・五〇	〇五冊	甲斐叢書 山梨
鐵道常識叢書	菅野義丸	一・三〇	〇三冊	鐵道研究社 中野	須藤孝平	三・五〇	〇五冊	甲斐叢書 山梨	
岩波(9) 數 學	岩波茂雄	〇箱入	〇	岩波書店 神田	須藤孝平	三・五〇	〇五冊	甲斐叢書 山梨	
アルス最新 寫真大講座	榊原青葉 外四名	二・〇〇	〇二六四	アルス 同	須藤孝平	三・五〇	〇五冊	甲斐叢書 山梨	
鐵道精神講座	多賀義仁	一・〇〇	〇二六	鐵道々友會 京都	須藤孝平	三・五〇	〇五冊	甲斐叢書 山梨	

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
〔十二月〕 續日本儒林叢書解説部		非	◎	東洋圖書會社 下谷
師範大學講座 育(八)		◎	◎	建文館 牛込
日本婦道講座(六)	松信弘毅	一・〇〇	◎	婦女界社 麹町
陶器講座(七)		◎	◎	雄山閣 同
日本刀講座(一九)		◎	◎	同 同
日本刀講座(二八)		◎	◎	同 同

日本最古の地圖

日本最古の地圖が三枚ドイツのゲッチンゲン大學にあることが、本年三月十六日午後神戸に入港した照國丸で歐米視察の旅から歸つた専門家の土産話ではじめてわかつた。天明年間伊勢の幸太郎といふ者が難船して露領へ漂着しレニングラードに滞在してゐる間に製作した日本地圖がめぐりめぐつてこの大學に寄贈されたもので専門家も「なか／＼立派なものだ」と折紙をつけてゐる。いま、で日本最古の日本地圖とされてゐた伊能忠敬の實測地圖は寛政十二年に測量に着手し十八年かゝつて完成したものだ、それより廿餘年前すでにこの地圖が製作されてゐたわけである。

全集・文庫

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
〔一月〕 日本近世大悲劇名作全集七 婦系圖	泉鏡花	一・〇〇	◎	中央公論社 麹町
偉人傳全集(二四) 偉人論及偉人研究	松本亦太郎	五〇	◎	改造社 芝
弘法大師眞三十帖策蹟全集(五)子(二)	下中彌三郎		△	平凡社 日本橋
象山全集(三)	清水曉昇	三〇	◎	信濃毎日社 長野
眞言宗全書	高岡隆心	非	◎	新言宗令書會社 和歌山
世界音樂全集(七二) ピアノ協奏曲集(五)	門馬直衛	二・〇〇	△	刊行會社 日本橋
大谷光瑞全集(三) 經典(篇)	大谷光瑞	一・五〇	◎	新經濟全集(二) 車田千春
現代日本工業全集(二七) ガス	大島義清		◎	基礎經濟學全集(二) 不破葉一郎
芥川龍之介全集(六)	芥川龍之介		◎	世界教育文庫(四) 入澤宗壽
			◎	改造文庫(部一五) 人類文化史物語(下)
			◎	有朋堂西鶴文集(下) 塚本哲三
			◎	弘法大師傳全集(八) 長谷實秀
			◎	ドストイェフスキ全集(五) 米川正夫
			◎	古今夷曲集・萬載狂歌集・徳和歌後萬載集 同
			◎	古事記・祝詞風土記 同
			◎	骨董集・燕石雜志・用拾節 同
			◎	繪本大閣記(下) 同
			◎	通俗三國志(中) 同
			◎	トルストイ全集(二) 大坪徳二
			◎	新經濟全集(軍需工業論) 車田千春
			◎	基礎經濟學全集(二) 不破葉一郎
			◎	世界教育文庫(四) 入澤宗壽
			◎	改造文庫(部一五) 人類文化史物語(下)
			◎	有朋堂西鶴文集(下) 塚本哲三
			◎	弘法大師傳全集(八) 長谷實秀
			◎	ドストイェフスキ全集(五) 米川正夫
			◎	古今夷曲集・萬載狂歌集・徳和歌後萬載集 同
			◎	古事記・祝詞風土記 同
			◎	骨董集・燕石雜志・用拾節 同
			◎	繪本大閣記(下) 同
			◎	通俗三國志(中) 同
			◎	トルストイ全集(二) 大坪徳二
			◎	新經濟全集(軍需工業論) 車田千春
			◎	基礎經濟學全集(二) 不破葉一郎
			◎	世界教育文庫(四) 入澤宗壽
			◎	改造文庫(部一五) 人類文化史物語(下)

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
ジイド全集(四)	福岡益雄	一・五〇	〇三三	金	星堂	岩波文庫(一〇七四)	中野重治	・三〇	×一四	岩波書店	神田
感激實話 この父全集(三)	同	一・三〇	〇三五	同	同	リキーンの手紙	蜂須賀笛子	・三〇	×一三	同	同
高濱虚子全集(十一)	高濱虚子	二・〇〇	〇五九	改	造社	同	松浦宮物論	・三〇	×一三	同	同
世界音楽全集(五)	門馬直衛	一・〇〇	△二〇〇	松	柏館書店	同(1081-1090)	スダ	・六〇	×三〇	同	同
児童ピアノ曲集	同	一・〇〇	△二〇〇	松	柏館書店	バルムの僧院(上)	前川堅市	・六〇	×三〇	同	同
日本古名録(三)	正宗敦夫	非	〇四三	全	集刊行會	バルザック全集(二)	神部嘉章	・二〇	〇四四	同	同
直木三十五全集(五)	直木三十五	非	〇四六	改	造社	白隠和尚全集(一)	後藤光村	・二〇	〇四四	同	同
新選大衆小説全集(九)	村松梢風	非	〇六四	非	凡閣	物集高見全集(三)	物集高量	・二〇	〇四四	同	同
幕末新聞全集(四)	尾佐竹 猛	二・五〇	〇四七	大	誠堂	日本古名録(三)	正宗敦夫	非	〇四四	同	同
清澤瀨之全集(三)	仰信	非	〇四六	有	光社	同 塵 袋(下)	同	非	〇四八	同	同
聖典清讀全集(二)	宇野圓空	〇	〇四二	小	山書店	ムツソリ 新政治ニ全集(三)	粟田三吾	・三〇	〇四二	同	同
日蓮聖人遺文全集講義(12)	清水龍山	〇	〇四二	平	樂寺書店	維新歴史小説全集(七)	新選組	・二〇	〇四五	改	造社
プルウスト全集(五)	中谷良英	一・五〇	〇三八	三	笠書房	吉屋信子 女の友情全集(一)	吉屋信子	・一〇	〇五六	新	潮社
失はれし時を求めて	五來 達	一・五〇	〇三八	三	笠書房	怪奇ルパン 探偵全集(一・二)	保篠龍緒	・一〇	〇五六	新	潮社
世界名曲文庫(十三)	門馬直衛	非	×	松	柏館書店	芥川龍之介全集(三)	芥川龍之介	・一〇	〇六四	岩	波書店
岩波文庫 日本道德論	吉田茂樹	・三〇	×三二	岩	波書店						

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
日本小説文庫 三五七 櫻の御所	村井弦齋	・三〇	×三三	春	陽堂	直木三十五全集(二)	直木三十五	・三〇	〇五七	改	造社
岩波全集 電氣鐵道	米澤政治郎	・六〇	×三三	岩	波書店	春陽堂文庫 雲	山村暮鳥	・三〇	×一三	春	陽堂
ゴオリ全集(六)	能勢陽三	・三〇	〇五三	ナ	ウカ社	新潮文庫 背徳者	石川 淳	・三〇	×一七	新	潮社
世界音楽 オルガン全集 六	門馬直衛	一・〇〇	△三三	松	柏館書店	伸び支度	島崎藤村	・四〇	×三〇	同	同
清澤瀨之全集(2) (宗教)	原子廣宣	非	〇三七	有	光社	ある女	同	・三〇	×二六	同	同
日本近世大悲劇名作全集(三)	菊池幽芳	一・〇〇	〇七三	中	央公論社	山家日記	吉田絃二郎	・三〇	×二六	同	同
吉田松陰全集(四)	齋藤彦一	・七〇	〇七三	岩	波書店	幽霊犯人	甲賀三郎	・四〇	×三〇	同	同
新修シエークス	坪内逍遙	・七〇	×二四	中	央公論社	岩波全行列表	藤原松三郎	・六〇	×三三	岩	波書店
颯風(テムベラト)	同	・七〇	×二四	中	央公論社	岩波全行列表	藤原松三郎	・六〇	×三三	岩	波書店
詩 篇 其の二	同	・七〇	×二四	中	央公論社	トルストイ全集(三)	大坪徳二	・三〇	〇四三	大	誠堂
岩波文庫 一〇六五 玉くしげ	村岡典嗣	・三〇	×一六	岩	波書店	世界大思想全集(九)	大坪徳二	・三〇	〇四三	大	誠堂
岩波文庫 一〇六六 秘本玉くしげ	同	・三〇	×一六	岩	波書店	基礎經濟學全集九	飯田清三	・一〇	〇三八	東	洋出版社
同 維納の辻音楽師	石川 鍊次	・三〇	×一四	同	同	日本主要産業論	飯田清三	・一〇	〇三八	東	洋出版社
同 花咲ける乙女の蔭に	五來 達	一・五〇	〇三三	三	笠書房	聖典講讀全集 一	宇野圓空	・一〇	〇三八	東	洋出版社
ト全集 四	同	一・五〇	〇三三	三	笠書房	岩波水車	生源寺 順	・六〇	×三三	岩	波書店

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
岩波全集 橋	成瀬勝武	・八〇	× 二九四	岩波書店 神田	新經濟全集 一八	宮田喜代藏	× 二五六	× 二五六	日本評論社 京都
維新歴史小 櫻田事變	吉川英治	一・三〇	〇 四八三	改造社 芝	現代政治學全集(一五)	河村又介	非 〇 四〇〇	〇 四〇〇	同
一人三人丹下左膳下	林 不忘	一・五〇	〇 六五	新潮社 牛込	大日本文庫 武士道	和田利彦	非 〇 五五六	〇 五五六	同
高濱虚子全集(三)	高濱虚子	二・〇〇	〇 五二	改造社 芝	弘法大師眞蹟全集(四)	下中彌三郎	非 〇 六四	〇 六四	同
世界音楽 交響曲集(三)	門馬直衛	二・〇〇	△ 一七六	松柏館書店 日本	新選大衆小 川口松	川口松太郎	非 〇 六四	〇 六四	同
春秋文 曙覽と愚庵	相馬昌治	一・〇〇	× 三四	同	説全集(三) 太郎篇	長谷實秀	〇 二六六	〇 二六六	同
日本古 塵 袋(上)	正宗敦夫	非 〇 三八	〇 三〇	日本古典全集刊行會 豊島	弘法大師傳全集(七)	花田七五三	〇 四九九	〇 四九九	同
ドストイェフ スキイ全集(四)	熊澤復六	二・五〇	〇 七九	三笠書房 神田	會計學全 官廳會計	中村白葉	二・五〇	〇 四四五	同
實錄維新 西郷南州中	伊藤仁太郎	〇 五〇	〇 七四	凡社 日本	チエーホフ全集 六草原	福岡益雄	一・五〇	〇 三三五	同
大谷光瑞全集(一) 經典篇	大谷光瑞	一・五〇	〇 五九	大乗社 麹町	ジイド全集(一四)	白石正邦	二・〇〇	× 一六	同
改造文庫第二部 空 樋口一葉選集二	樋口一葉	五〇	× 三六	改造社 芝	岩波文庫(一四) 手島堵庵心學集	林 達夫	〇 四〇	× 一九	同
新經濟全集一 統制經濟論	長 守善	× 三三	〇 三三	日本評論社 京都	同 フアール昆蟲記	山田 吉彦	〇 四〇	× 一九	同
					同 慣習と權利	青山道夫	〇 三三	× 一九	同
					同 日本小説文庫三六五	味津 三木	〇 三五	× 二六	同
					同 双影走馬短 前篇	味津 三木	〇 三五	× 二六	同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
日本小説文庫(三六) 双影走馬短 後篇	佐々木 味津三	・三五	× 二九三	春陽堂 日本	週刊朝日 女職業裏表	大道弘雄	・三〇	× 三〇三	朝日新聞社 大阪
ブルウエスト 若き娘	五 來 達	一・三〇	〇 四二	三笠書房 神田	有朋堂 繪本太閤記(中)	塚本哲三	非 〇 六四	〇 六四	有朋堂書店 神田
武道全 劍道及劍道史	高野弘正	〇 四六	〇 四六	凡社 日本	同 うけらが花	同	非 〇 七八	〇 七八	同
日本小説文庫(三六) 庫三六四 ない女	甲賀三郎	・四〇	× 三六	春陽堂 同	同 西鶴文集(上)	同	非 〇 三三	〇 三三	同
柏井全集續四 時事評論及び史論	柏井光藏	非 〇 五七	〇 五七	長崎書店 牛込	白隠和尚全集(三)	後藤光村	〇 三三	〇 三三	同
アンドレジイド 全集(五)	生島遼一	二・五〇	〇 五九	建設社 同	世界大思想全集(六)	本間立也	〇 三三	〇 三三	同
日本警 悲壯警察官 察全集 殉職秘録及 功勞記書物語	小泉香風	一・〇〇	△ 七五	日本警察全集刊行會 神田	世界音楽全集(五) 兒童ウアイ	門馬直衛	一・〇〇	△ 二四	同
改造文庫第二部(二五) 人類文化物語 上	ルグリアン	・五〇	× 二九四	改造社 芝	佐々木味津三 ぼろ	味津 三木	〇 六三	〇 六三	同
バルザック 神秘の書	河盛好藏	二・五〇	〇 四〇	河出書房 日本	新修シエーク	坪内逍遙	特 〇 七〇	〇 七〇	同
モリエール全集(三)	吉江喬松	二・五〇	〇 七〇	中央公論社 麹町	末よければ總てよし	同	特 〇 七〇	〇 七〇	同
有朋堂 通俗三國志(上)	同	非 〇 七四	〇 七四	有朋堂書店 神田	アントニオ	同	特 〇 七〇	〇 七〇	同
同 平安朝日記集(全)	同	非 〇 六八	〇 六八	同	とクレオパトラ	同	特 〇 七〇	〇 七〇	同
有朋堂 雨田耕筆	同	非 〇 六八	〇 六八	同	日本近世大悲 小猫	村井弦齋	一・〇〇	〇 五七	同
文庫 年々隨筆・遊 京漫録・花月草紙	塚本哲三	非 〇 六三	〇 六三	同	全集(一) 創作集	佐々木 味津三	〇 五七	〇 五七	同

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
世界音樂少年ヴァイオリン曲集全集(一〇)オリオン曲集	門馬直衛	二〇〇	〇一九二	松柏館書店	大谷光瑞全集(七)	大谷光瑞	一・五〇	〇五八	大乗社
トルストイ全集(六)	大坪徳二	二・八〇	〇七六六	トルストイ全集刊行會	岩波文庫(一〇八)	祝詞・壽詞	三・三〇	〇三	岩波書店
土田杏村全集(五)	土田千代	非	〇五三	第一書房	都鄙問答	石田梅巖	三・三〇	〇三	岩波書店
一人三人全浴槽の嫁集(十六)	谷讓次	一・五〇	〇六九	新潮社	新編一茶俳句集	荻原井泉水	三・三〇	〇三	岩波書店
吉田松陰全集(七)	齋藤彦一	特・七〇	〇五四	岩波書店	ローザブルク資本論	長谷部文雄	三・三〇	〇三	岩波書店
新修シエークスコクピヤ全集(一九)ベス	坪内逍遙	特・七〇	〇三三	中央公論社	同(一〇八)	コフスキ	三・三〇	〇三	岩波書店
同(一八)むだ騒ぎ	同	特・七〇	〇三三	同	同(一〇九)	著米	三・三〇	〇三	岩波書店
芥川龍之介全集(二)	芥川龍之介	特・七〇	〇五七	岩波書店	同(一一〇)	石川謙	三・三〇	〇三	岩波書店
岩波社會衛生學全書	暉峻義等	〇・八〇	△二六	同	同(一一一)	門馬直衛	三・三〇	〇三	岩波書店
岩波全書 畜産學汎論(四四)	岩住良治	〇・八〇	△三九	同	同(一一二)	堀口義一	三・三〇	〇三	岩波書店
同(四五) 植物病學論	逸見武雄	〇・八〇	〇四三	同	同(一一三)	福岡益雄	三・三〇	〇三	岩波書店
柏井全集續(二)	柏井光藏	非	〇五九	長崎書店	同(一一四)	原子廣宣	三・三〇	〇三	岩波書店
耶蘇及び福音書研究	門馬直衛	非	〇四三	松柏館書店	同(一一五)	長谷寶秀	三・三〇	〇三	岩波書店
世界名曲文庫(十四)	伊藤正一	非	〇四三	東洋出版社	同(一一六)	本山桂川	三・三〇	〇三	岩波書店
會計學全集(一五) 運送業會計	同	非	〇四三	同	同(一一七)	同	三・三〇	〇三	岩波書店

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
現代日本工 日本工業全集(三) 業政策	吉野信次	〇・四六	〇四六	日本評論社	アンドレヂ	小林秀雄	二・五〇	〇五〇	建設社
ドラトイニエフ スキイ全集(一五)	關口彌平	二・五〇	〇八九	三笠書房	明治佛敎全集八(護法篇)	常盤大定	非	〇五三	春陽堂
高濱虛子全集(十二)	高濱虛子	二・〇〇	〇五九	改造社	日本小説文庫(三六〇)	子母澤寛	三・五〇	〇五五	同
直木三十五全集(四)	直木三十五	〇・三九	〇三八	同	彌太郎笠	野村胡堂	四・〇〇	〇四六	同
新選大衆小説 濱本浩全集(二二)	濱本浩	非	〇三八	凡閣	身代り紋三(前篇)	同	四・〇〇	〇四六	同
聖典講讀全集(三)	宇野圓空	〇・三九	〇三八	凡閣	同(中篇)	同	四・〇〇	〇四六	同
華道全集(一)	角谷線三	二・〇〇	〇三四	凡閣	同(後篇)	同	四・〇〇	〇四六	同
基本之卷上	同	二・〇〇	〇三四	凡閣	生命の家聖典全集	谷口雅春	二・〇〇	〇四五	光明思想
バルザック全集(七)	和田顯太郎	二・五〇	〇四六	河出書房	生命の實相(二)	尾佐竹猛	二・五〇	〇四〇	大誠堂
現代史の裏面	外三名	二・五〇	〇四六	河出書房	幕末新聞全集(五)	吉田絃二郎	一・五〇	〇五三	新潮社
世界大思想全集(一〇九)	堀秀彦	一・三〇	〇二七	松柏館書店	吉田絃二郎全集(六)	同	一・五〇	〇五三	新潮社
怪奇探偵ルバ怪人對シ全集(三) 巨人	モリス	× 三九	× 三九	凡社	世界名作文庫(三四九)	ハムレットとドン・キホーテ	二・〇〇	〇三三	春陽堂
同 眞紅の肩掛	同	× 二九	× 二九	同	同(一一三)	宮原晃	二・〇〇	〇三三	春陽堂
日本古 醫心方二	正宗敦夫	非	〇三二	日本古典全集刊行會	同(一一四)	北村義男	二・〇〇	〇三三	春陽堂
典全集	同	非	〇三二	同	同(一一五)	小原國芳	二・〇〇	〇三三	春陽堂
エーホフ全集(五)	中村白葉	二・五〇	〇四八	金星堂	同(一一六)	同	二・〇〇	〇三三	春陽堂
世界音楽全集(七)	門馬直衛	一・〇〇	〇二五	松柏館書店	同(一一七)	同	二・〇〇	〇三三	春陽堂
少年ピアノ曲集	同	一・〇〇	〇二五	同	同(一一八)	同	二・〇〇	〇三三	春陽堂

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
岩波文庫(八五)一〇八五 神々の復活(二)	メレヅユ フスキイ作 米川正夫譯	・四〇	× 三〇	岩波書店
同 エレホ 山本政喜譯	サミュエル パトラ作	・四〇	× 三〇	同
同 弘法大師三教指歸	加藤精神	・三〇	× 四〇	同
書道全集(一)	下中彌三郎	・三〇	○	同
同 少年少 繪のない繪本	廣谷千代造	・三〇	○	同
同 女文庫 〔三月〕	同	・三〇	○	同
トルストイ全集(八)	大坪徳二	・三〇	○	同
世界音楽全集(五)	門馬直衛	・三〇	○	同
世界民謡曲集(二)	原子廣宣	・三〇	○	同
清澤滿之全集一哲學	正分敦夫	・三〇	○	同
日本古 典全集 樂家録(一)	福岡益雄	・三〇	○	同
感激實話 友情はか 全集(五) くも美し	大谷光瑞	・三〇	○	同
大谷光瑞全集二 (經典編)	福岡益雄	・三〇	○	同
現代隨筆全集(一)	福岡益雄	・三〇	○	同
岩波文庫(八五)一〇八五 神々の復活(二)	メレヅユ フスキイ作 米川正夫譯	・四〇	× 三〇	岩波書店
同 エレホ 山本政喜譯	サミュエル パトラ作	・四〇	× 三〇	同
同 弘法大師三教指歸	加藤精神	・三〇	× 四〇	同
書道全集(一)	下中彌三郎	・三〇	○	同
同 少年少 繪のない繪本	廣谷千代造	・三〇	○	同
同 女文庫 〔三月〕	同	・三〇	○	同
トルストイ全集(八)	大坪徳二	・三〇	○	同
世界音楽全集(五)	門馬直衛	・三〇	○	同
世界民謡曲集(二)	原子廣宣	・三〇	○	同
清澤滿之全集一哲學	正分敦夫	・三〇	○	同
日本古 典全集 樂家録(一)	福岡益雄	・三〇	○	同
感激實話 友情はか 全集(五) くも美し	大谷光瑞	・三〇	○	同
大谷光瑞全集二 (經典編)	福岡益雄	・三〇	○	同
現代隨筆全集(一)	福岡益雄	・三〇	○	同
現代金融經濟 金融統 濟全集(八)	高橋龜吉	・八〇	○	改 造 社
怪奇探偵ルバ 妖魔 ン全集(五) の呪	保篠龍緒	・三〇	× 三〇	同
怪奇探偵ルバ ン全集(六) ゼリコ	同	・三〇	× 三〇	同
世界大思想全集(六)	鈴木 晃	・三〇	○	同
統計學 人口統計論 全集(三)	森 數樹	・三〇	○	同
ドストイエフ スキイ全集(一八)	中山省三郎 外二名	・三〇	○	同
柳田民藏 農業問題 全集(三)	大内兵衛	・三〇	○	同
聖典講讀全集(四)	宇野圓空	・三〇	○	同
一人三人全 巷説享 集(十二) 保圖繪	林 不忘	・三〇	○	同
現代金融經濟 金融論 全集(一)	橋爪明男	・三〇	○	同
高濱虚子全集(六)	高濱虚子	・三〇	○	同
直木三十五全集(二)	直木三十五	・三〇	○	同
維新歴史小 禁門の變 説全集(五)	土師清二	・三〇	○	同
世界音楽全 集(八) 序曲集	門馬直衛	・三〇	○	同
大日本文 垂加神道 庫神道篇(上卷)	和田利彦	・三〇	○	同
大日本文 平家物語 庫文學篇	同	・三〇	○	同
日本小説 益滿休之助 文庫(三)	直木三十五	・三〇	○	同
新潮文庫 光の中に 歩め	阿部次郎	・三〇	○	同
新潮文庫 カルメン	布施延雄	・三〇	○	同
新潮文庫 痴人の告白 (上卷)	三井光彌	・三〇	○	同
新潮文庫 サアニン (上卷)	中島 清	・三〇	○	同
新潮文庫 ワアツラス 詩集	幡谷正雄	・三〇	○	同
新潮文庫 文庫 世界名曲文庫	門馬直衛	・三〇	○	同
日本小説 朱 啓 文庫(三)	田中實太郎	・三〇	○	同
春陽堂文 愛の詩集 庫(二) 三	室生犀星	・三〇	○	同
世界名作文庫(一) 兵 ウウジエニイ・ グランディ	バルザック 新城和一譯	・三〇	○	同

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
實演佛敎童佛敎童話 話全集(一)の研究	若谷重常	・三〇	○	同
基礎經濟學 貿易及貿 全集(六) 易統制	竹内謙二	・三〇	○	同
會計學全集(十六)	渡部寅二 外三名	・三〇	○	同
吉田絃二郎全集(二)	吉田絃二郎	・三〇	○	同
ジイド全集(五)	福岡益雄	・三〇	○	同
柏井全集 説様及び (續) 神學論文	柏井光藏	・三〇	○	同
牧野植物 植物隨筆集 學全集	牧野富太郎	・三〇	○	同
我が子の育て方全集 と短所(二)	大伴 茂	・三〇	○	同
日本古 典全集 醫心方(三)	正宗敦夫	・三〇	○	同
書道全集(二)	下中彌三郎	・三〇	○	同
書道全集(十二)	同	・三〇	○	同
吉田松陰全集第三卷	山口 縣	・三〇	○	同
小林多喜二全集 第一卷	小林三吾	・三〇	○	同
バルザック全集 爺さん	大幸施門 外	・三〇	○	同
現代金融經濟 金融統 濟全集(八)	高橋龜吉	・八〇	○	改 造 社
怪奇探偵ルバ 妖魔 ン全集(五) の呪	保篠龍緒	・三〇	× 三〇	同
怪奇探偵ルバ ン全集(六) ゼリコ	同	・三〇	× 三〇	同
世界大思想全集(六)	鈴木 晃	・三〇	○	同
統計學 人口統計論 全集(三)	森 數樹	・三〇	○	同
ドストイエフ スキイ全集(一八)	中山省三郎 外二名	・三〇	○	同
柳田民藏 農業問題 全集(三)	大内兵衛	・三〇	○	同
聖典講讀全集(四)	宇野圓空	・三〇	○	同
一人三人全 巷説享 集(十二) 保圖繪	林 不忘	・三〇	○	同
現代金融經濟 金融論 全集(一)	橋爪明男	・三〇	○	同
高濱虚子全集(六)	高濱虚子	・三〇	○	同
直木三十五全集(二)	直木三十五	・三〇	○	同
維新歴史小 禁門の變 説全集(五)	土師清二	・三〇	○	同
世界音楽全 集(八) 序曲集	門馬直衛	・三〇	○	同
大日本文 垂加神道 庫神道篇(上卷)	和田利彦	・三〇	○	同
大日本文 平家物語 庫文學篇	同	・三〇	○	同
日本小説 益滿休之助 文庫(三)	直木三十五	・三〇	○	同
新潮文庫 光の中に 歩め	阿部次郎	・三〇	○	同
新潮文庫 カルメン	布施延雄	・三〇	○	同
新潮文庫 痴人の告白 (上卷)	三井光彌	・三〇	○	同
新潮文庫 サアニン (上卷)	中島 清	・三〇	○	同
新潮文庫 ワアツラス 詩集	幡谷正雄	・三〇	○	同
新潮文庫 文庫 世界名曲文庫	門馬直衛	・三〇	○	同
日本小説 朱 啓 文庫(三)	田中實太郎	・三〇	○	同
春陽堂文 愛の詩集 庫(二) 三	室生犀星	・三〇	○	同
世界名作文庫(一) 兵 ウウジエニイ・ グランディ	バルザック 新城和一譯	・三〇	○	同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
基礎經濟 貿易及貿易學全集七 易統制	竹内謙二	一・八〇	◎	東洋出版社	新修シエークシムベスピヤ全集	坪内逍遙	・七	× 二九〇	中央公論社
統計學 人口統計論	森 數樹	二・八〇	△	同	同	同	・七	× 二九〇	同
會計學全集(一五) 倉庫會計・引	渡部寅二	外二・〇〇	◎	同	經濟學 經濟心理學全集三	藤林敬三	二・〇〇	◎ 四三	東洋出版社
トルストイ全集十二 藝術論集教育論集	大坪徳二	二・八〇	◎	トルストイ全集刊行會	土田杏村全集(九)	土田千代	非	◎ 四三	第一書房
世界音現 ヴァイオリン集	門馬直衛	△ 一・六	△	松柏館書店	ニイチェ全集(七) 經營學	生田長江	◎ 五八	◎ 四三	日本評論社
芥川龍之介全集五卷	芥川龍之介	〇 五九	〇	岩波書店	感實集 皇國に身を	福岡敬太郎	二・〇〇	◎ 三三	東洋出版社
象山全集卷四	信濃教育會	◎ 七三	◎	信濃毎日	大谷光瑞全集(八)	大谷光瑞	一・五〇	◎ 四八	大乗社
怪奇探偵三十種	保篠龍緒	× 三九	×	平凡社	バルザック全集	堀口大學	二・五〇	◎ 四九	河出書房
ルパン全集 桶島	同	× 三九	×	同	商業工業會計全集	吉田良三	一・五〇	◎ 四六	千倉書房
同 下	同	× 三九	×	同	清澤滿之全集(六)	清澤即應	非	◎ 四四	有光社
名碑 虛世南全集	石川寅吉	一・二〇	◎	興文社	櫛田民藏全集	大内兵衛	二・五〇	◎ 三九	改造社
山崎延吉全集(五) 農民道篇	山崎延吉	非	◎ 四三	山崎延吉全集刊行會	ドストイエフ全集	中山省三郎	二・五〇	◎ 三九	三笠書房
竹田詩詞全集	朝倉每人	非	◎ 四三	帝國學地會	人物評傳 桂太郎と全集	原久一郎	二・五〇	◎ 三九	大誠堂
吉屋信子愛情の價值全集(二) 失樂の人々	吉屋信子	一・五〇	◎	新潮社	同	同	同	同	同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
日本古倭訓類林(上) 典全集	正宗敦夫	非	〇 三六	日本古倭訓類林發行會	有朋堂 百人一首	塚本哲三	非	×	有朋堂書店
ジイド全集(六)	福岡益雄	一・五〇	〇 三二	金星堂	民衆大楠公の遺訓	育協會	二・〇〇	〇	社會教育協會
チエーホフ全集(九)	中村白葉	二・五〇	〇 四八	同	岩波 枕草子(下卷)	池田龜鑑	四・〇〇	〇 三三	岩波書店
我が子の育て方全集	大伴 茂	〇 三三	〇	平凡社	岩波 ジャン・クリスト	豊島與志雄	・六	× 三九	同
生長の家 生命の實相	谷口雅春	二・〇〇	〇 四二	光明思想會	同	同	同	同	同
岩波 榮養化學	鈴木梅太郎	・八	× 二四	岩波書店	同	同	同	同	同
岩波 發電水力	高橋三郎	・八	× 二七	岩波書店	同	同	同	同	同
全書 發電水力	高橋三郎	・八	× 二七	岩波書店	同	同	同	同	同
出口王仁三郎全集	出口 王仁三郎	非	〇 六八	高木鐵男	同	同	同	同	同
ニイチェ全集	生田長江	〇 五八	〇	日本評論社	同	同	同	同	同
現代戰術 血の飛沫	水野廣徳	一・三〇	〇 三三	香風閣	同	同	同	同	同
文學全集	塚本哲三	非	×	有朋堂書店	同	同	同	同	同
有朋堂文庫 東西遊記北窓瑣談	同	非	×	同	同	同	同	同	同
同 八文字舎本五種	同	非	×	同	同	同	同	同	同
同 益軒十訓	同	非	×	同	同	同	同	同	同
同 通俗三國志(下)	同	非	×	同	同	同	同	同	同
同 平家物語	同	非	×	同	同	同	同	同	同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
岩波天才と遺傳	ゴールトン 甘粕石介譯	・四〇	× 三六	岩波書店 神田	ムツソリ農業のニ全集 七 諸問題	岩崎純孝	◎ 二七	〇 三七	日本評論社 京橋
同 子 思 子	藤原 正	・四〇	× 二五	同	感激實話 七ころび	福岡益雄	・三〇	〇 三七	金星堂 神田
同 ジャン・クリストフ	ロマンロ 鳥與志雄譯	・四〇	× 二五	同	統計學 國勢調査論	岡崎文規	二・八〇	◎ 四三	東洋出版社 京橋
同 燕村俳句集	穎原退藏	・四〇	× 二七	同	ジイド全集	正宗敦夫	一・五〇	〇 三三	金星堂 神田
【五月】					日本古 醫 心 方	大伴 茂	非	〇 三九	日本古 全集刊行會 豊島
會計學全集 公益企業	竹中龍雄	二・〇〇	◎ 三六	東洋出版社 京橋	我が子の我が子	齊藤彦一	◎ 六四	◎ 六三	岩波書店 神田
トルストイ全集(七)	神田龍一	二・八〇	〇 八七	全集刊行會 神田	育て方全集 の身體	長田 新	◎ 六三	◎ 六三	岩波書店 神田
山崎延吉全集	山崎延吉	非	◎ 六四	全集刊行會 神田	ベスタロツチー全集	草間平作譯	〇 〇〇	× 二九	岩波書店 神田
岩波人體寄生蟲通説	小泉 丹	・六〇	× 三九	岩波書店 同	文庫 幸 福 論	トルストイ	〇 〇〇	× 二九	同
吉屋信子全集(三)	吉屋信子	一・五〇	〇 五〇	新潮社 牛込	アンナ・カレリーニナ	中村白葉譯	・四〇	× 二九	同
名碑 唐太宗全集	石川寅吉	一・三〇	〇 三三	變形與文社 橋本	同 賃銀價格 および利潤	ルマルクス	・二〇	× 二三	同
土田杏村全集	土田千代	非	〇 三六	第一書房 麹町	同 アミエルの日記	長谷部文雄	・四〇	× 二九	同
世界大思想全集	河村又介	一・〇〇	〇 三三	春秋社 橋本	【六月】	河野興一	・四〇	× 二九	同
藏田民 唯物史觀	大内兵衛	二・五〇	◎ 三五	改造社 芝	山崎延吉全集	山崎延吉	非	◎ 六一	山崎延吉全集刊行會 神田

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
吉屋信子全集	吉屋信子	一・五〇	〇 五二	新潮社 牛込	感激實話全集 善の人・情の人	大谷光瑞	一・五〇	〇 五七	金星堂 神田
華道全集(五)	角谷綠三	二・〇〇	◎ 三二	非凡閣 小石	大谷光瑞全集(六)	大谷光瑞	一・五〇	〇 五七	大乗社 麹町
吉田絃二郎全集	吉田絃二郎	一・五〇	〇 五二	新潮社 牛込	象山全集(五)	清水曉昇	八・〇〇	◎ 七〇	信濃毎日新聞株式會社 長野
現代金融經濟全集 中小工業	井關孝雄	・六〇	〇 二三	改造社 芝	カロツサー全集 ドクトルピユルゲルの運命	高橋健二	一・〇〇	〇 一四	建設社 牛込
大谷光瑞全集(九)	大谷光瑞	一・五〇	〇 五七	大乗社 麹町	山崎延吉全集(一)	山崎延吉	非	◎ 六一	山崎延吉全集刊行會 神田
感激實話 母なればこそ	福岡益雄	一・三〇	〇 三九	金星堂 神田	吉屋信子全集(四)	吉屋信子	一・五〇	〇 四九	新潮社 牛込
ドストエフイ スキイ全集	中山省三郎	二・五〇	◎ 八七	三笠書房 同	宮澤賢治全集(一)	宮澤賢治	二・五〇	◎ 五二	文圃堂書店 本郷
ニイチエ全集	生田長江	〇	〇 四六	日本評論社 京橋	吉田松陰全集(五)	齋藤彦一	◎ 四七	◎ 四七	岩波書店 神田
世界大思想全集 國法學の主要問題	巖山芳郎	一・〇〇	〇 一四	松柏館書店 橋本	岩波文庫二六九(二七) アンナ・カレリーニナ	トルストイ	・四〇	× 三五	同
出口王仁三郎全集(五)	仁三郎	非	〇 六〇	高木鐵男 四谷	岩波文庫二六九(二七) 初版人口の原理	マルサス	・四〇	× 二三	同
【七月】					岩波文庫二六九(二七) 第一部 八篇	高野岩三郎	・四〇	× 二三	同
乳井貢全集(一)	中道 等	非	◎ 四二	乳牛貢顯彰會 赤坂	改造文庫第一〇八篇 唯物論史入門	ハルノフ	・五〇	× 三三	改造社 芝
土田杏村全集 四	土田千代	同	〇 五四	第一書房 麹町	岩波文庫二九八(二九) 神樂歌・催馬樂	武田祐吉	・四〇	× 二三	岩波書店 神田
トルストイ全集(上) 戦争と平和(上)	神田龍一	二・八〇	〇 二六	全集刊行會 橋本	岩波文庫二九八(二九) トオマス・マン短編三	實吉捷郎	・四〇	× 二三	同

書名	著譯者	定價	頁數	形體	發行所
岩波文庫二四一・二四二 天才と遺傳・下 岩波文庫二五二・二五三 トルストイ日記抄 岩波文庫一七一 改訂版 花傳書	ゴールトン 甘粕石介譯 除村吉太郎 世河彌作	・四〇 ×二七 ・四〇 ×二六 ・三〇 ×二〇	同 同	同 同	岩波書店 同 同
防犯科學 強力犯篇 全集(四) 現代ユーモア 小説全集	長谷川瀧 外二名	・一〇〇 〇 〇 〇	・五二 〇 〇 〇	中央公論社 アトリエ社 日本評論社	同 同 同
ニイチエ全集(八)	生田長江	・一〇〇 〇	・五〇 〇	第一書房	同
土田杏村全集(一四)	土田千代	・一〇〇 〇	・五二 〇	日本評論社	同
日本古 典全集 樂家録(二)	正宗敦夫	・一〇〇 〇	・五二 〇	第一書房	同
大谷光瑞全集(一〇) 論策篇	大谷光瑞	・一〇〇 〇	・五二 〇	大乗社	同
芥川龍之介全集(一〇)	芥川龍之介	・一〇〇 〇	・五二 〇	岩波書店	同
ゲーテ全集(五)	内田貢 伊藤武雄	・一〇〇 〇	・五二 〇	全集刊行會	同
ジイド全集(一六)	金星堂	・一〇〇 〇	・五二 〇	全集刊行會	同
ドストイエフ スキイ全集 別卷	中山省三郎 宮原克己	・一〇〇 〇	・五二 〇	三笠書房	同

書名	著譯者	定價	頁數	形體	發行所
出口王仁三郎 歌集 全集(七)	出口王仁三郎	・一〇〇 〇	・五二 〇	高木鐵男 刊行會	同
瓊音全集(五)	沼波瀧子	・一〇〇 〇	・五二 〇	瓊音全集 刊行會	同
ジイド全集(一七)	中島清	・一〇〇 〇	・五二 〇	金星堂	同
ゲーテ全集(七)	神田龍一	・一〇〇 〇	・五二 〇	全集刊行會	同
トルストイ全集(九)	高須芳次郎	・一〇〇 〇	・五二 〇	全集刊行會	同
藤田東湖全集(三)	土田千代	・一〇〇 〇	・五二 〇	第一書房	同
土田杏村全集(八)	武林無想庵 外五名	・一〇〇 〇	・五二 〇	河出書房	同
バルザック全集(一五)	公田連太郎 大場彌平	・一〇〇 〇	・五二 〇	中央公論社	同
兵法全集 吳子の兵法 集(二)	山崎延吉	・一〇〇 〇	・五二 〇	山崎延吉 全集刊行會	同
山崎延吉全集(二)	山崎延吉	・一〇〇 〇	・五二 〇	全集刊行會	同
世界大思想全集(二六) アルルウディエン上	齋藤彦一	・一〇〇 〇	・五二 〇	春秋社	同
吉田松陰全集(六)	生田長江	・一〇〇 〇	・五二 〇	岩波書店	同
ニイチエ全集(五)	小西重直	・一〇〇 〇	・五二 〇	日本評論社	同
小西博士全集(三)	小西重直	・一〇〇 〇	・五二 〇	玉川學園 出版部	同
日本古 典全集 醫心方(七)	正宗敦夫	・一〇〇 〇	・五二 〇	全集刊行會	同

書名	著譯者	定價	頁數	形體	發行所
世界大思想全集(九)	鬼頭英一	・一〇〇 〇	・五二 〇	松柏館書店	同
山崎延吉全集(四)	山崎延吉	・一〇〇 〇	・五二 〇	山崎延吉 全集刊行會	同
小西博士全集(一)	小西重直	・一〇〇 〇	・五二 〇	玉川學園 出版部	同
アンソロジー 全集(一二)	河上徹太郎 外六名	・一〇〇 〇	・五二 〇	建設社	同
小西博士全集(二)	小西重直	・一〇〇 〇	・五二 〇	玉川學園 出版部	同
日本古 典全集 醫心方(六)	正宗敦夫	・一〇〇 〇	・五二 〇	全集刊行會	同
バルザック全集(一六)	鈴木信太郎 外四名	・一〇〇 〇	・五二 〇	河出書房	同
華道全集(一〇)	角谷綠三	・一〇〇 〇	・五二 〇	非凡閣	同
意匠花之卷	角谷綠三	・一〇〇 〇	・五二 〇	非凡閣	同
聖典講讀全集(九)	宇野圓空	・一〇〇 〇	・五二 〇	小山書店	同
感激實話 この忍耐 全集(九) この努力	金星堂	・一〇〇 〇	・五二 〇	金星堂	同
マルクスメング ルス全集(補卷一)	向坂逸郎	・一〇〇 〇	・五二 〇	改造社	同
春陽堂文庫(三四) 愚庵和尚その他	相馬御風	・一〇〇 〇	・五二 〇	春陽堂	同
【九月】 子供の問題全集三 青春期の問題	尾高豊作	・一〇〇 〇	・五二 〇	刀江書院	同

書名	著譯者	定價	頁數	形體	發行所
宮澤賢治全集(二) 華道全集(八) 草木之卷	宮澤賢治	・一〇〇 〇	・五二 〇	文圃堂書店	同
大谷光瑞全集(五)	大谷光瑞	・一〇〇 〇	・五二 〇	大乗社	同
富田木歩全集 現代ソヴェト 文學全集(八)	新井義武	・一〇〇 〇	・五二 〇	素人社書屋	同
文壇出世作全集	熊澤復六	・一〇〇 〇	・五二 〇	三笠書房	同
土田杏村全集(一二)	島崎藤村	・一〇〇 〇	・五二 〇	中央公論社	同
防犯科學全集(二) 犯罪鑑識篇	土田千代	・一〇〇 〇	・五二 〇	中央公論社	同
トルストイ全集(一五) 現代ソヴェト 文學全集(八)	淺田甚一	・一〇〇 〇	・五二 〇	中央公論社	同
ドストイエフ スキイ全集(六)	神田龍一	・一〇〇 〇	・五二 〇	全集刊行會	同
藤田東湖全集(四)	熊澤復六	・一〇〇 〇	・五二 〇	三笠書房	同
華道全集(十一) 儀禮花之卷	米川正夫	・一〇〇 〇	・五二 〇	同	同
近世社會經 大宰春 濟說大系 臺集	高須芳次郎	・一〇〇 〇	・五二 〇	華章社	同
華道全集(十一) 儀禮花之卷	角谷綠三	・一〇〇 〇	・五二 〇	非凡閣	同
中村孝也	中村孝也	・一〇〇 〇	・五二 〇	誠文堂新光社	同

書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所	書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所
世界大思想全集(三) エルサレム法 律社會學原理	内山慶之進	一・〇〇	〇一七三	日本橋	安田文庫叢刊(一) かながきろんご	川瀬一馬	非	△一册	安田文庫 神田
直木三十五全集(六)	直木三十五	〇五五	〇五五	芝	岩波文庫三五―三六 胡麻と百合	石田憲 外一名	〇四	×三三	岩波書店 神田
西山全書(別卷一)	廣瀬親友	五・〇〇	〇七三	京都	同 二四―二四 反時代的考察(下)	井上政次 外一名	〇四	×三三	同
三上於菟吉全集(四)	三上於菟吉	〇七三	〇七三	日本橋	世界名曲文庫二二 ベートーヴェン ピアノ曲	神田龍一	〇四	△二三	春秋社 日本橋
大谷光瑞全集 (二經典篇)	大谷光瑞	一・五〇	〇四七	麹町	藤田東湖全集(一)	高須秀次郎	一・五〇	〇四八	華社 目黒
長谷川昭道全集(上)	清水曉昇	三・五〇	〇六二	長野	土田杏村全集(三)	土田千代	非	〇四一	第一書房 麹町
グーテ全集(一〇)	山本三生	〇四九	〇四九	芝	兵法全尉 繚子	公田運太郎 大場彌平	一・五〇	〇五〇	中央公論社 同
日本古樂家録(三)	正宗敦夫	非	〇四〇	豊島	吉田松陰全集(九)	齋藤彦一	〇六九	〇七九	岩波書店 神田
小西博士全集(四)	小西重直	二・〇〇	〇五三	府京	フロオベール全集三	山田九朗	二・五〇	〇四七	改造社 芝
現代隨筆全集(五)	中村白葉	二・五〇	〇五五	同	吉屋信子全集(九)	吉屋信子	一・五〇	〇五〇	新潮社 牛込
チエーホフ全集(三)	出口王仁三郎	非	〇六二	四谷	乳井貢全集(二)	中道等	非	〇三五	乳井貢顯彰會 赤坂
漱石全集(四)	漱石全集	〇八三	〇八三	神田	ドストイェフ スキイ全集(一)	外村史郎 外四名	一・五〇	〇六九	三笠書房 神田
岩波文庫(九)―(二) ユリシイズ(五)	森田草平 外五名	〇六	×三六〇	同					

書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所	書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所
現代ソヴェト 文學全集(三)	中村白葉	一・五〇	〇四二	神田	岩波一二四八 孫子	山田俊介	〇四	×二八	岩波書店 神田
世界大思想 社會上 全集一六(業論上)	ケイユル 山崎早市譯	一・〇〇	〇二〇	日本橋	一九八 アミエ ル日記三	河野與一	〇四	×三〇	同
大谷光瑞全集(二) (隨筆篇)	大谷光瑞	一・五〇	〇五六	麹町	一一二五 〇銀の匙	中 勘助	〇四	×三三	同
現代法令全集一四 經濟篇上	末廣嚴太郎	〇二七	〇二七	京橋	一一二五 三哲學の本質	デイルタイ 戸田三郎譯	〇三	×三五	同
華道全集九 草木之卷下	角谷緑三	二・〇〇	〇三四	小石	同 二四―二四五 牡猫ムルの人生觀上	ホフマン 秋山六衛	〇四	×三〇	同
グーテ全集(一五)	山本三生	〇六三	〇六三	芝	同 二二七 七 楚辭	橋本 循	〇六	×三七	同
グーテ全集(一二)	黒坂積次 小野澤百八	一・五〇	〇五九	淀橋	同 二四〇―二四一 フランツシュ ウベル	辻 壯一譯	〇四	×三五	同
岩波全書六五 浮遊選鑛法	山口吉郎	〇八〇	×三三	神田	同 二四二―二四五 校訂 道二翁道話	石川 謙	〇三	×三五	同
トルストイ全集(二)	神田龍一	二・八〇	〇九〇	日本橋	同 二四三 イタ・セグスアリス	森 鷗外	〇三	×三三	同
民衆貨幣の話	田中啓文	〇二〇	〇三三	小石	同 二四四 形而上學敘說	高桑純夫	〇三	×二八	同
有朋堂文庫 總索引總解題書	塚本哲三	非	×五〇	神田	同 二四六 千鳥 他四篇	鈴木三重吉	〇三	×二九	同
岩波文庫五二―五三 家族私有財産 及國家の起源	エンゲルス 西 雅雄	〇四〇	×二六	同	岡倉天心全集(六)	岡倉一雄	二・〇〇	〇三五	文閣 同
大思想 アウグスチ ヌス神の國	岩下壯一	〇一八	〇一八	同					
同 文庫六 ルツン一民約論	木村龜二	〇一八	〇一八	同					

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
石川千代松全集(一)	宮島幹之助	非	〇三三	興文社 日本橋
バルザック全集(四)	太宰施門 外二名	二・五〇	〇五三	河出書房 同
子供の問題全集五	尾高豊作	一・五〇	〇四五	刀江書院 神田
子供と學校の問題	土田千代	非	〇五五	第一書房 龜町
土田杏村全集(一一)	土田千代	非	〇七五	岩波書店 神田
漱石全集(八)	刊行會	〇・六	〇三二	同
岩波全書(六九) 音	小幡重一	〇・六	〇三二	同
小西博士全集(五)	小西重直	二・〇〇	〇六四	玉川學園 澁橋
ゲョエテフアウスト	茅野蕭々	〇・八	〇八四	岩波書店 神田

太田道灌の墳墓

大東京の始祖太田道灌の四百五十年祭を七月二十一日に迎へ、市ではこの日を中心として全市に大々的な『道灌祭』を催さうと計畫してゐる折柄、この程突然その墓前祭執行の豫定になつてゐる神奈川縣中郡高部屋村上粕屋にある道灌の墳墓に對し、地元足柄史蹟研究會から異議を申出た、同氏の説によると上粕屋洞昌院裏山にある墳墓は大正七年史蹟に指定されて以來年々大祭が管まれて來てゐるがこれは胴塚であつて同郡成瀬村下榊屋大慈寺内にある道灌塚こそ眞の墳墓百塚である、洞昌院裏山の墓は江戸時代の寶篋院塔であり大慈寺の道灌塚は足利時代で、年代的にも食違ひがあり、且この寺は道灌の中興したものであつて附近には道灌坂、道灌橋等もあり、太田攝津守資須筆の『太田道灌畫像』もここに奉納されてあつて史實に據るも太田家は代々この寺の方を重視して禮奠を篤くしてゐるといふのである。

(三二) 年鑑・要覽

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
新潟縣年鑑 昭和十年版	星 一朗	一・三〇	〇	新潟毎日社 新潟
海外紡績文獻總覽 (紡績篇一)	宇野米吉	二・〇〇	△二七	紡績雜誌社 大阪
日本紡績業大觀	同	五・〇〇	△	同
東亞商工發展錄	佐藤純吉	非	△	同
帝國大學出身名鑑	勝田 一	三〇・〇〇	〇	東亞實業調查會出版部 同
日滿南工會議所 議員要錄	間尾直繁	一・五〇	〇一四	校友調查會 京橋
四日市市立圖書館 和漢圖書目錄	立圖書館	非	△三三	人事興信部 龜町
日本纖維工業總覽 スキ一年鑑 一九四一—一九五	宮田義廣	一・五〇	△二七	四日市市立圖書館 三重
	小川勝次	一・〇〇	〇二七	財政經濟社 日本橋

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
服裝雜貨年鑑(昭和十年)	片桐祐七郎	一・〇〇	〇	アラモード社 大阪
小石川區勢總覽	藤原 清	一〇・〇〇	〇七七	東京輿論社 小石川
帝國博物館年報	帝國博物館	・八〇	〇	新開野 下谷
日本道德統計要覽	賀川豊彦	四・五〇	〇三三	改造社 芝
官廳刊行圖書目錄 31	内閣印刷局	一・〇〇	△三六	内閣印刷局 龜町
織維加工ニ關スル 外國特許要覽 4	加藤鉞郎	・九〇	△一三	日本學術會 同
電氣ニ關スル 外國特許要覽 2	原田 肇	・六〇	△六七	同
精密機械ニ關スル 外國特許要覽 3	青木 保	一・八〇	△二三	同
ボケツト會社要覽	石山皆男	・八〇	×三五	同
昭和十年自動車年鑑	白井 實	一・〇〇	〇	ダイヤモ 同
全國方面委員名簿	原 恭一	一・七〇	〇三三	同
年報(昭和九年版)	日本テレビジョン學會	一・五〇	△一四	同
大日本銅像鑑(一)	栗田清美	・五〇	△五九	大日本史蹟研究會出版部 下谷
古今災害寫眞大觀	玉井清文堂出版部	二・〇〇	△	玉井清文堂 神田

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
長崎縣人事興信錄	貴田忠衛	三・五〇	〇五九	長崎日新	三菱電機總型錄(一)	鈴木貢一	非	△四三	三菱電機株式會社
昭和十年廣告年鑑	大橋和夫	一・八〇	〇〇〇	萬年社	明治大正詩書綜覽(本文篇)	山宮允	九・〇〇	〇四九	株式會社
昭和十年化學工業年鑑	本松憲相	一・三〇	〇六六	化學工業社	同(圖像篇)	同	〇〇〇	〇四九	株式會社
日本農業年報(五)	東浦庄治	一・七〇	〇五五	改造社	貴族院要覽內	事務院	〇〇〇	×三二	貴族院事務局
大東京文具商工名鑑	森井熊太郎	五・〇〇	〇〇〇	新日本文具社	昭和九年日本ラゲオ銘鑑	宮原仙一郎	五・〇〇	〇〇〇	無
昭和十年佛敎年鑑	熊崎閑田	二・〇〇	〇七〇	佛敎年鑑社	外國研究所要覽(一)	野田信夫	一・五〇	〇〇〇	振興會
福岡縣鐵山大觀	楠武夫	非	〇五〇	福岡縣鐵山會	同(二)	同	〇〇〇	〇二二	同
日本社會事業年鑑	中央社會事業協會	一・〇〇	〇三三	中央社會事業協會	市町別日本國勢總覽(上)	澤本孟彦	〇〇〇	〇〇〇	市町村別
關西模範產業大鑑	橋本忠治	〇〇	〇〇〇	關西產業協會	同(中)	同	〇〇〇	〇〇〇	同
圍棋年鑑	編輯局	一・八〇	〇四六	平凡社	同(下)	同	〇〇〇	〇〇〇	同
東方學報東京第五册	多田寅松	四・〇〇	〇四〇	東方文化學院	檢索市町村實務便覽	中西壽太郎	三・五〇	〇四八	自治刊行社
貴族院要覽(甲)	貴族院事務局	〇〇	〇五二	貴族院事務局	第三十回日本帝國統計年鑑	內閣統計局	二・三〇	〇四八	東京統計協會
同(乙)	同	〇〇	〇六七	同	昭和三十九年下半期版	堀末藏	一・五〇	〇〇〇	日本協業會
昭和九年版勞働年鑑	大島辰次郎	二・〇〇	〇四四	協同會	昭和三十九年下半期版	落合久次	五・〇〇	〇三九	經濟情報社

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
日本帝國國勢一斑(第五十一回)	內務大臣官房文書課	一・七〇	×六六	一成社	昭和八年商工省統計表	商工省	一・〇〇	△三六	東京統計協會
昭和十年日本新聞年鑑	永代靜雄	三・〇〇	〇〇〇	新聞研究所	駿河年鑑(昭和十年)	室伏一	一・五〇	〇二八	清水日新
株式社債年鑑	不破兼一郎	五・〇〇	〇六九	株式會社	三菱金物要覽(三五)	三友會	〇〇〇	〇〇〇	清水日新
昭和八年版國債統計年報	大藏省理財局	△一五九	〇〇〇	大藏省理財局	ボケツト用地方債起債便覽	地方事務會	〇〇〇	〇〇〇	清水日新
第十(昭和八年)七回(十二月調)管内電氣事業要覽	熊本遞信局	△四二	〇〇〇	九州支會	國防總覽	博覽會	非	〇〇〇	國防大博覽會
福岡縣武道家銘鑑	松本巖	一・五〇	〇三〇	福岡縣體育會	國際勞働年鑑第二輯	伊達宗雄	一・〇〇	〇三〇	國際勞働局
大阪市財政要覽九年度	大阪市	〇〇	〇三七	大阪市	圖說日本庭園大鑑	吉村巖	三・八〇	〇一七	文書堂
北見大觀	三浦慶吾	非	〇〇〇	北見新聞社	日滿信用錄	高橋重治	二・五〇	〇二八	東亞交信會
理科年表	東京天文臺	一・五〇	〇四五	丸善株式會社	增訂日英文號日本全國商人名錄	室田惣三郎	〇〇〇	〇〇〇	商工社
第二十一回橫濱商工會議所年報	橫濱商工會	二・〇〇	〇三三	橫濱商工會	日本佛敎教學協會	朽木廣覺	〇〇〇	〇〇〇	日本佛敎協會
天文年鑑一九三五	文協會	一・三〇	×一五二	恒星社	昭和十年支那經濟年報	支那經濟事情研究會	二・五〇	〇五〇	改造社
珍瓦斯事業要覽(1935)	技術協會	一・〇〇	×一五一	瓦斯の世界社	女性寶鑑	前波伸子	二・〇〇	〇八三	愛之事業社
昭和十年株式寶鑑	北浦萬次郎	〇・八〇	×三五〇	大阪經濟社	日本耳鼻咽喉科學會年報(八)	久保猪之吉	〇〇〇	〇二六	耳鼻咽喉科聯合會
北海道鐵道銘鑑	土井勝	非	〇〇〇	土井勝	電氣職制年鑑	片山德次	五・〇〇	〇三九	通氣社

書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所	書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所
日本紳士錄	淺野松次良	三五・〇	〇	交詢社 東京	第五十九年報 昭和八年	司法省 刑務局	△九七	△九七	司法省刑務局 麹町
機械工學便覽	加藤正雄	二五・〇	×六三	大日本信託 東京	拓務要覽 (昭和九年版)	拓務省	〇八四	〇八四	拓務省 麹町
帝國銅像鑑(上)	栗田清美	一五・〇	〇三三	國史蹟 下谷	新日本同盟會報	關口一郎	非	〇二五	新日本同盟會 同
日本養鶏要覽	山口保隆	五・〇	〇二四	中央家畜 愛知	昭和十年運動年鑑別 各種運動競技規則全集	朝日新聞社	一〇〇	〇二冊	朝日新聞社 同
渥美郡勢要覽	岡本隆三	五・〇〇	△	産業經濟社 同	検査報告集(第一輯)	會計検査院	〇	〇	會計検査院 同
福井商工人名錄 昭和九年	福井商工 會議所	〇二九	〇二九	福井商工 所	工場防護團の主義、 網領、宣言、總同盟 大阪合同労働年次大 會情況	芳陵龍夫	非	〇三	大月社會問 題調查所 大阪
昭和九年統計書一 八年編ヨリ七編マデ	金澤市	〇七冊	〇七冊	金澤市 石川	昭和九年中に於ける 社會運動關係消息概 要(その二)	井出潔	非	〇四五	信用交換所 東京
日本經濟年報(十九)	神原周平	一〇〇	〇三三	新報 東京	織物商要覽	井出潔	一〇〇	〇四五	全國都市問題 會議事務局 麹町
昭和十年版 經濟年鑑	喜多壯一郎	二〇〇	〇四三	日本評論社 東京	第四回全國都市議事 問題會議總會要覽	堀内敬三	非	〇三六	音樂世界社 神田
東京・横濱職業別 濱近縣電話名簿	長田源	六〇〇	〇三八一	日本商工 社	昭和十年版 音樂年鑑	堀内敬三	一〇〇	〇三六	音樂世界社 神田
昭和十年版 (昭和十年版)	藤本敏文	二〇〇	〇八三	蜂須賀幾次郎 大阪	昭和十年版 出版年鑑	東京書籍商 組合	〇〇	〇二四	東京書籍商 組合 同
昭和五年版 四卷 勢調査報告 新潟縣	内閣統計局	一四〇	△一八三	帝國興信所 東京	昭和十年版 出版年鑑	東京書籍商 組合	〇〇	〇二四	東京書籍商 組合 同
帝國信用錄 (二十八版)	後藤勇夫	非	△	帝國興信所 同					

書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所	書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所
金屬材料に關する 外國特許要覽(一)	吉澤英雄	〇六	△六	日本學術 會	第二次國寶重要美術 品展覽會圖錄	青木武雄	一〇〇	△	報知新聞社 麹町
電氣に關する 外國特許要覽(B)	原田肇	〇四	△三	同	昭和八年 大日本帝國 港灣統計	内務省 土木局	二〇〇	△三三	港灣協會 同
主稅局第六十回 統計年報書	大藏省 主稅局	四・五	△八九	内閣印刷局 同	昭和十年版 商工年鑑	東京商工 會議所	〇〇	〇二九	改造社 芝
昭和十年版 業年鑑	安東長義	一〇〇	〇	藥石日報社 大阪	第十回全國大會議案書	朝田善之助	〇〇	〇三	水平新聞社 大阪
昭和十年版 帝國大學年鑑	野澤隆一	一〇〇	〇六八	帝國大學 本郷	昭和十年版 國勢調査報告	内閣統計局	一〇〇	△二七	東京統計協會 東京
昭和十年版 事業及人物 年記念	山川茂雄	五〇	△八五	東京電報 社	昭和十年版 府縣編、高知縣	同	一〇〇	△二三	同
調查彙報	西岡實太	〇〇	〇二二	日本勸業 課	第一次滿蒙學術 調查研究團報告	德永重康	一〇〇	△二三	第一次滿蒙學 術調查研究團 同
昭和七年(五十八回) 合農第十四回 大會詳報	海軍大臣 官房	非	△三三	海軍大臣官房 同	金屬材料に關する 外國特許要覽	吉澤英雄	〇六	△六	日本學術 會
日本鑛業名鑑	芳陵龍夫	非	〇三	問題調査 所	日本鐵道史料要覽	青木清一	二・五	〇三三	鐵道書院 日本
精密機械に關する 外國特許要覽	高橋美章	五・〇〇	〇	鑛山懇話會 同	天然記念物調査報告 植物之部(一五)	文部省	△二三	△二三	文部省 同
昭和五年版 國勢調査報告	青木保	二・〇〇	△二二	振興會 同	名勝調査報告	同	△二三	△二三	同
昭和五年版 府縣編、石川縣	内閣統計局	一〇〇	△一四	東京統計協會 東京	第六十七回帝國議會 倉庫業法審議經過	伊地知重義	〇	〇二五	日本倉庫協會 日本
農村經濟事情	樋山光四郎	〇	〇	借行社 同	鹿兒島高等農林學校 開校廿五周年紀念 論文集	鹿兒島高等 農林學校	非	△二三	鹿兒島高等 農林學校 同
日蘇年鑑	笠原直造	一〇〇	〇三三	日蘇通信社 同					

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
鹿兒島高等農林校開校廿五年後紀念論文集	鹿兒島高等農林學校	非	△七八	鹿兒島高等農林學校	銀行第四十一回昭	大藏省	二・五〇	◎	内閣印刷局
日本國際年鑑	日本國際問題調査會	一・〇〇	◎一四三	河出書房	竹軒藏品展覧圖録	伊藤一郎	非	△	竹軒藏品圖録刊行會
統計餘談	郡 菊之助	一・三〇	◎一三三	叢文閣	愛國運動年鑑	三武鏡史	一・〇〇	〇	櫻花俱樂部
新北千島漁業の經濟調査	大野純一	非	◎一〇四	北海道經濟研究所	昭和九年日本外國貿易	大藏省	二・八〇	△	内閣印刷局
第四回労働統計	東京市役所	△	◎一三三	東京市役所	大日本司法省第五十九民事統	司法部	非	△	司法部
東京市實地調査	東京市役所	△	◎一三三	東京市役所	計年報昭和八年	高野與三郎	〇	◎	滋賀土木建築労働組合
昭和ラヂオ年鑑	小森七郎	・五〇	〇一四一	出版協送會	結成大會報告並議案	安達常助	二・〇〇	〇	東海通信社
東方學報 第五册	伊津野直	四・〇〇	△四〇〇	東方文化學院	滿洲及日本外地會社要覽	芳陵龍夫	非	◎	問題調査會
第五帝國織物大鑑	佐藤純吉	一〇・〇〇	△	博信社	總同大阪聯合會	佐藤富治	一・五〇	◎	日本學術會
日宗年表	富谷日震	三・〇〇	〇三九	平樂寺書店	全國試驗研究調查機關要覽	衆議院事務局	〇	◎	衆議院事務局
商工信用録七〇版	安藤仁隆	非	〇	東京興信所	第六十七回衆議院帝國議會報告	德永重康	〇	△	學術調査團
昭和十年報	放送電氣普及會	三・〇〇	△三七	電氣普及會	第一次滿蒙學術調査研究團報告(熱河省産昆蟲類八)	飯田清三	四・〇〇	◎	野村證券會社
海員組合年次大會から	芳陵龍夫	非	◎	問題調査會	印刷美術年鑑	鳥屋政一	△	△	大阪出版社
第一回産業組問題研究會報告書	高須虎六	一・三〇	◎二四六	高陽書院	第二回電氣年鑑	加藤木重教	五・〇〇	◎	電氣之友社

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
新聞總覽 (一九三五年)	光永眞三	一・五〇	◎	日本電信社	印刷美術年鑑	鳥屋政一	△	△	大阪出版社
第二十二回商工省工藝展覽會受賞品圖録	商工省	五・六〇	△	古今堂	長崎市主觀國際産業觀光博覽會協賛會誌	竹下廣人	非	◎	國際産業觀光博覽會協賛會
一九三五年國際労働局年報	伊達宗雄	・五〇	◎一〇	國際労働局	昭和十年版教育年鑑	産業編輯部	二・〇〇	〇	産業編輯部
昭和十年度株式年鑑	佐野忠司	五・〇〇	◎三五	大同書院	電氣に關する外國特許要覽	古澤音次	・五〇	△	日本學術會
東京市産業統計年鑑	東京市役所	◎	△六八	東京市役所	世界景氣年報	東京商工會議所	一・三〇	〇	改造社
第三十回東京市統計年表	同	△	△九八	同	校友會創立議事錄	高橋峯吉	非	◎	勞働組合友會
外國特許要覽(三)	吉澤英雄	・六〇	△	日本學術會	念號自大正十二年至昭和九年	平田慶吉	〇	◎	帝國農會
外國特許要覽(四)	同	・七〇	△	同	東京市農業に關する調査東京市域内農家の生活様式	石山皆男	一・二〇	×	ダイヤモンド出版株式會社
纖維加工に關する外國特許要覽	加藤鉞郎	・六〇	△	同	ホケット會社職員錄	東亞司文會	五・〇〇	〇	東亞司文會
鮮米協會十年誌	佐々木勝藏	非	△六五	鮮米協會	最新支那年鑑	正宗敦夫	非	〇	日本古典全集刊行會
電氣に關する外國特許要覽	波多野貞夫	・五〇	△	日本學術會	日本古名錄	原田肇	一・〇〇	△	日本學術會
全國無盡會社業績大鑑(下)	中川靜人	七・五〇	◎	無盡之研究社	電氣に關する外國特許要覽	林守雄	一・二〇	△	同
日本經濟年報	神原周平	一・〇〇	〇	東洋經濟社	航空機に關する外國特許要覽	同	△	△	同
昭和十年第十四半期	東浦庄治	一・七〇	〇	改造社	同	同	△	△	同

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
全勞大阪金屬 勞働組合年次大會 第二十三回 大會報告書	芳陵龍夫 兒玉漳一	非	◎ 二 ◎ 三	大月社 問題調査所 大阪	第十一回管内 電氣事業要覽	東京通信局	八〇〇	△ 二四九	電氣協會 關東支部 麹町
昭和十年塗料年鑑	井上義雄	五〇〇	◎ 二七	日本新聞協會 京橋	砂糖年鑑(昭和)	山下久四郎	三〇〇	◎ 二七四	日本砂糖協會 日本橋
昭和十年銀行會社要覽 附役員錄	安部仁隆	二〇〇	△	東京興信所 日本橋	日本治療師團體運動 年鑑(昭和十年版)	小川平五郎	一〇〇	◎ 八五	日本醫藥界社 本郷
昭和十年日本全國諸會 社役員錄	阿部直躬	一八〇	△	商業興信所 大阪	ポケット會社要覽 (昭和十年七月版)	石山皆男	非	× 三五	ダイヤモンド 出版株式會社 麹町
昭和十年小學校年鑑	高田忠吉	三〇〇	◎ 九三	小學校年鑑 編纂部 芝	出版年鑑(昭和)	東京堂年鑑 編輯部	一〇〇	◎ 二六	東京堂 同
全百貨店有名取 引業者總覽	小川鏡一	非	◎ 八三	百貨店新聞社 京橋	昭和十年全國電氣事業 年鑑 供給規程集	細田寛一	一〇〇	◎ 三二	日本電氣 社 豊島
山叶會社便覽 (昭和十年七月版)	石山皆男	同	× 三五	ダイヤモンド 出版株式會社 麹町	コンサイス銀行會社 要覽(昭和十年版)	石山皆男	非	× 三五	ダイヤモンド 出版株式會社 麹町
電氣年報 (昭和十年版)	堤亦三	四〇〇	◎	電氣新報社 同	要覽(昭和十年版)	石山皆男	非	× 三五	ダイヤモンド 出版株式會社 麹町
昭和十年帝國歲入 歳出豫算	大藏省 主計局	三〇〇	◎ 二六	內閣印刷局 同	東方學報 續 第五册	多田寅松	四〇〇	△ 三五	東方文化學 院 同
建設學徒研究團報告	久保勘三郎	非	◎ 四七	學徒至誠會 同	活動寫眞 檢閲年報	警務省 內務省 武石光三郎	一〇〇	◎ 一三〇	警務廳 下谷
健康保險組合 事務取扱例規集	社會保險部	八〇	◎ 六三	產業福利協會 同	茨城縣紳士錄	警務廳	一〇〇	◎ 一六	警務廳 麹町

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
現代出版業大鑑	帆刈芳之助 外三名	八〇〇	◎ 九三	現代出版業 大鑑刊行會 神田	電氣ニ關スル 外國特許要覽Bノ部	原田 肇	一〇五	△ 一五五	日本學術 會 麹町
昭和十年航空年鑑	北尾龜男	三〇〇	◎ 五九	帝國飛行協會 芝	電氣事業年鑑 昭和 十年版	渡久山朝康	四〇〇	◎ 四四	電氣經濟 社 京橋
井上翁賀壽記念會誌	木村秀吉	非	◎ 二二	井上翁賀壽像 碑建設會 麹町	昭和十年寫眞世界 航空年鑑	橫關愛造	六〇〇	△ 四六	海と空社 麹町
近世名士寫眞(九)	井口雄三	△ 〇枚		寫眞頒布會 大阪	第一次滿蒙學術 調查研究團報告 第五部第一區第二編	德永重康	△		第一次滿蒙 學術調查 團 淀橋
通信必携最新調査 全國市町村地圖便覽	駁々堂旅行 案内部	二〇〇	◎	駁々堂書店 同	玉工滿洲支部名鑑	玉工同窓會	五〇〇	◎ 二九	大正商工社 同
倉敷勞働科學研究所 所長年報昭和九年度	暉峻義等	非	◎ 五	倉敷勞働 科學研究所 岡山	昭和十年大會議案 並報告書	東京交通 勞働組合	〇	◎ 五	東京交通 勞働組合 京橋
第一次滿蒙學術調查 研究團報告(六)	德永重康	△		調查研究團 淀橋	昭和十年全國縮關係 業者便覽	後藤與志雄	五〇〇	◎	日本綿業 社 本郷
個人職業別調査錄(六)	佐久間 晃	二〇〇	◎	國際探偵社 日本橋	昭和十年商工資產 改正信用錄	阿部直躬	非	△	商業興信所 大阪
公債年鑑 (昭和十年版)	不破棄一郎	三〇〇	◎ 七六	山一證券 株式會社 同	第六十六回帝國議會 貴族院事務局報告	貴族院 事務局	〇	◎ 四二	貴族院事務局 麹町
昭和十年東奧年鑑	川崎文男	一〇〇	◎ 七〇	東奧日報社 青森	昭和十一年版 大東京年鑑	中村舜二	二〇〇	◎ 八二	大東京社 神田
帝國博物館年報 (昭和九年)	帝國博物館	〇	◎	帝國博物館 下谷	世界經濟年報(二九)	ウアルガ 經濟批評會	〇	◎ 八〇	叢文閣 同
全國無盡會社 (一九三五年版)	吉澤新作	二〇〇	◎ 三五	全國無盡 會社 神田	昭和十年東洋經濟 株式會社年鑑	神原周平	二〇〇	△ 六九	東洋經濟 社 日本橋

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
一九三五年第四半期 世界景氣年報(二) 文藝年鑑 (一九三五年版)	東京商工 會議所 文藝家協會	一・五〇 三・〇〇	〇三六 五五七	改造社 同
昭和十一年航空年表	水路部	二・〇〇	二六六	水路部
材料文獻集 (昭和九年版)	永井彰一郎	一・五〇	八五	常磐書房
航空機ニ關スル 外特許要覽其ノ九	林守雄	一・〇〇	九	日本學術會
紡織問屋要鑑	大澤毅榮	非	六四	東京信託會
電氣ニ關スルAノ部 外國特許要覽十一號	古澤音次	七・〇〇	三	振興會
陸軍現役將實役序 校同相當官年名簿	陸軍省	〇・五〇	三三	借行社
近世刀劍年表	川口 陟	六・〇〇	五五	南人社
【十一月】 グーテ年鑑(四) 蠶絲年鑑 (昭和十年版)	雪山俊夫 長岡哲三	三・〇〇 一・〇〇	一七九 三四	南江堂 大日本蠶絲會
調查彙報(八)	西岡實太	〇・二五	一五	銀行調查課

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
昭和十一年 北海道樺太年鑑	櫻井治作	一・〇〇	〇六〇	小樽新聞社
國際勞働年鑑三 昭和十年版	鮎澤 巖	一・〇〇	〇三三	株式會社 東京支局
【十二月】 日露年鑑 (一九三六)	上田森治	一・〇〇	〇八二	日露通信社
日本農業年報(七)	日本農業 研究會	一・八〇	〇四九	改造社
大藏省第六十回年報	大藏大臣官 房文書課	〇・三六	〇三六	大藏大臣 官房文書課
第十一版大衆人事錄	猪野三郎	五・〇〇	〇〇〇	帝國圖書 社
日本寫眞年鑑	星野辰男	二・〇〇	〇一七	東京朝日 新聞社
國債絶計年報 (昭和九年度)	大藏省 理財局	△一・五七	〇一七	大藏省理財 局
日本勞働年鑑(昭和 十年)	大藏省 理財局	〇・七〇	〇七六	大藏省理財 局
第五四回 日本帝國統計年鑑	內閣統計 局	二・三〇	〇四七	東京統計協 會
融和事業年鑑 (昭和十年版)	中央融和 事業協會	一・〇〇	〇三〇	中央融和 事業協會
スキ一年鑑(一九三五) (一九三六)	小川勝次	一・〇〇	〇三〇	全日本 スキ聯盟
昭和十年上期 本邦事業成績分析	長岡徳治	一・二〇	△	三菱 研究所

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
第三回年次大會 長崎年表(一)	松村春繁 小澤敏夫	非 非	〇三 三三九	社會大衆 聯合會
昭和十一年 勞働組合及 勞働爭議統計	河原田稼吉	五・〇〇	〇一三	聯合會
昭和十一年 神道年鑑	神道研究會	一・八〇	〇三六	弘道會
昭和十一年 日本農業年鑑	西村健吉	〇・八〇	〇三六	富民協會
昭和十一年 帝國人事大鑑	關根吉次郎	五・〇〇	〇〇〇	帝國信託 會
昭和十一年 日本船名錄	山本源太	〇・五〇	〇八	帝國海軍協 會
第一回年次 大會報告書	氏原一郎	〇・八〇	〇八	日本勞働 同盟
第四回大會報告書	同	〇・八〇	〇八	高知縣聯 合會
第十四回警 視廳統計書 昭和九年	警視廳 統計課	〇・三〇	〇四一	統計係
人事調查錄	太田俊太郎	〇・三〇	〇四一	人事調查 會

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
日本經濟年鑑(二二)	不破棄一郎	一・〇〇	△三二	東洋經濟 新報社
株式社債年鑑 (昭和十一年版)	內閣統計局	三・三〇	〇五五	株式會社 東京支局
昭和十一年 化學工業年鑑	本松憲相	一・五〇	〇七六	化學工業 時報社
昭和十一年 河北年鑑	門間正順	一・五〇	〇九三	河北新報 社
昭和十一年 產業組合年鑑	千石與太郎	一・〇〇	〇四〇	產業組合 會
昭和十一年 テレビジョン年報	日本テレビ ジョン學會	一・五〇	〇四六	工業調查協 會
昭和十一年 日滿商工錄	中澤宇三郎	〇・〇〇	〇〇〇	國際興信 所
昭和十一年 帝國產業興信錄	平山陽三	二・〇〇	〇六六	帝國產業 興信所
昭和十一年 內外綿業年鑑	松原 肇	四・五〇	〇〇〇	日本綿業 俱樂部

エスペラントの流行

水上制覇の日章旗

府立某高女では昨年からの校長の大英断で英語のほか、エスペラントを正科として採用し、生徒の自由選擇にまかしたが、同校では本年の入學志願者全部に對し『入學後英語とエスペラントの何れを選ぶか』と希望を質したところ、七百卅名のうち英語を希望するもの六百十三名、エスペラント語を希望するもの百二名、エスペラントを希望するものが百二名もあつたことは學校當局としてはむしろ豫想外の多數で、新しい女生徒の傾向として注目されて居る

本年四月の新學期からお目見得する改正尋常小學修身書卷三には小林向後兩勇士の忠君愛國物語や、明治節などの新しい材料が目につくが特に『十七國旗』の中にあるオリムピックの記事は新時代精神を反映する初めての教材で、第十二回オリムピック大會がわが日本で開かれようとしてゐる折柄、各方面から興味をもたれてゐる。國々のうんどうせんしゅが集まつてきやうぎをする時にも、日本のせんしゅが勝つと「君が代」の奏樂とともに日の丸の旗が高

くあげられます。かういふ時に勇ましい日の丸の旗を見上げると日本人の胸は國を愛する心で一ぱいになり思はず涙が出ます」といふので、この一節は第十回オリムピック大會がロサンゼルスで開かれた時、わが男子水上選手が競技六種目中五種目まで優勝し、世界水上競技の覇權を握つた壯觀を暗に描寫したもので、挿繪の寫眞版は三本の勇ましい日の丸の旗が屋上高く掲げられてあり、當時の感激にみちた光景を撮つたものである。

(三三三) 雜書

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
滿洲國名士錄	内尾直昌	◎ 二八	〇 八六	人事興信所 麹町
相當なもの	佐藤周平	〇 八六	〇 八六	秀文閣書房 芝
大藏省 第五十九回年報	大藏大臣 官房文書課	△ 三四	△ 三四	大藏大臣 官房文書課 麹町
昭和十年 化粧品年鑑	廣田嘉一	二〇〇	△ 五四	東京小間物 化粧品商報社 日本橋
大阪市統計書 (三三三)	大阪市役所	◎	◎	大阪市役所 大阪
新更論集 (三)	神崎照惠	一〇五	◎	新更會刊行部 千葉
昭和八年 鐵道省年報	鐵道省	△ 三三	△ 三三	鐵道省 麹町
寫眞近江と 畫帖 人物刈穂の卷	駒井喜一	非	△	近江人協會 大阪
日韓 紀念塔寫眞帖	鈴木一郎	非	△	黒龍會本部 赤坂
慧星的人物	伊藤銀月	一〇三	〇 二五	日本橋 凡社
現代展望郷土誌	池澤養谷	△	△	帝國聯合社 小石川
大東京食品市場綜覽	宮本一良	五〇〇	◎ 一五三	中央市場 文獻刊行會 神田
愛國心と猫	杉山平助	一〇五	〇 四〇	白揚社 同
人間の歴史	石川千代松 中目尙義	一〇八	〇 四〇	千倉書房 京橋
昭和十年版 海運年鑑	津端修	四〇〇	〇 四三	海商社 中野
滿鮮遊記	西原雄次郎	非	◎ 一七	千倉書房 京橋
分類葉隠の神髓	栗原荒野	三〇〇	〇 六九	葉隠精神會 佐賀
昭和十年 四國年鑑	木村皓一	一〇〇	◎	四國教育圖書株式會社 香川
昭和十年 農林省統計表	農林大臣 官房文書課	一〇五	△ 四六	東京統計協會 京橋
昭和八年 農林省統計表	農林大臣 官房文書課	一〇五	△ 四六	東京統計協會 京橋
熾仁親王日記 (一)	高松宮藏版	◎ 六三	◎ 六三	高松宮 赤坂
大日本國號の研究	奥間徳一	二〇〇	〇 三八	大同館書店 神田
解釋學概論	山崎謙	一〇〇	〇 二九	東宛書房 麹町
橫濱紳士錄	帝國人事 興信所	一〇〇	◎ 一六	帝國人事 興信所 神奈川
昭和九年 秋季競馬成績書	三宅隆人	◎ 五〇	◎ 五〇	帝國競馬協會 芝

書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所	書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所
第二回汎太平洋佛教青年會大會記念活版開拓者の苦心	辻村英三	三・五〇	△	佛敎寫眞社	滿洲踏査記念寫眞帖	久保勘三郎	非	△	至誠會本部
さすらひ十五年(前編)	津田伊三郎	非	〇三〇	津田三省堂	Annual Report of the Walk No. 10	淺野研眞	二・〇〇	〇三〇	凡人社
江戶獵奇犯罪考	稻村青圃	三・二〇	〇三九	更生社出版部	カクテ1 石語	小倉博	×七〇	×七〇	齊藤報恩會
京阪神職業別電話名簿	富岡直方	非	〇八	古今稀書會	東洋英和女學校五十年史	田村敬男	一・三〇	〇四八	政經書院
維新前東北地方刊行物解題	井村雅宥	六・〇〇	△	井村雅宥會	群師紀要	東洋英和女學院	二・〇〇	〇三〇	東洋英和學院
覺王錄(全)	小倉博	非	×三	齊藤報恩會	群師紀要	馬縣師範學校	〇三〇	〇三〇	東洋英和學院
保福秘範	高木仙藏	非	×六	高木仙藏會	新しい記憶法の秘訣と頭の働かせ方	範馬學	二・〇〇	〇一八	則天社
書類に執務能率よる増進法	中尾藏之助	非	〇	中尾足軒書屋	松竹スウベニール	清水狂風	二・〇〇	〇一八	則天社
奉仕大正の赤子	松本俊藏	一・五〇	〇三三	新經營社	電氣協會東京試驗所電氣計器復興十年史	三林亮太郎	一・八〇	〇一八	岡倉書房
桑田熊藏遺稿集	鷺見剛亮	非	〇四四	日本赤子會	電氣計器復興十年史	東京試驗所	非	〇一三	電氣計器所
一九三三年市俄古進歩出品協會	桑田一夫	非	〇八三	桑田一夫本郷	靖國神社忠魂史	曾松松太郎	非	〇三九	文化書房
博覽會	河原茂太郎	非	〇四六	出品協會	靖國神社忠魂史	賀茂百樹	非	〇	靖國神社
受驗	小澤光旨	三・五〇	〇七五	大日本活動同	朝敵に頼づくフランス國民性の研究	館澤繁次郎	五・〇〇	〇八七	太田村役場
標準	山崎鋈一郎	非	△	大滿洲國建國會	人	内館忠藏	一・三〇	〇二三	立命館出版部
大滿洲國建國記念寫眞帖	紀元觀念社	赤坂	〇二六	日本講演社	力	山口達郎	一・五〇	〇三九	日本公論社

八聖殿講演集(二)	岡野龍一	・五〇	〇二六	日本講演社	八聖殿講演集(二)	岡野龍一	・五〇	〇二六	日本講演社
萬世一系之日本	馬場良雄	△四〇	△四〇	紀元觀念社	萬世一系之日本	馬場良雄	△四〇	△四〇	紀元觀念社
新開集	中山泰昌	〇五七	〇五七	財政經濟學會	新開集	中山泰昌	〇五七	〇五七	財政經濟學會
岩手縣昭和震災誌	岩手縣知事官房	非	〇三三	岩手縣知事官房	岩手縣昭和震災誌	岩手縣知事官房	非	〇三三	岩手縣知事官房
文求堂書目	田中慶太郎	〇二五	〇二五	文求堂	文求堂書目	田中慶太郎	〇二五	〇二五	文求堂
最も要領を得た模範式辭甲辭と其の挨拶	雄辯學會	・六〇	×三三	宮本書房	最も要領を得た模範式辭甲辭と其の挨拶	雄辯學會	・六〇	×三三	宮本書房
世界結婚初夜の秘話	澤田順次郎	・六〇	〇一六	新興社	世界結婚初夜の秘話	澤田順次郎	・六〇	〇一六	新興社
躍進寫眞界總覽	松本福太郎	一・〇〇	△一五	日本寫眞通信社	躍進寫眞界總覽	松本福太郎	一・〇〇	△一五	日本寫眞通信社
近世名士寫眞(一〇)	井口雄三	△一〇枚	△一〇枚	近世名士寫眞頒布會	近世名士寫眞(一〇)	井口雄三	△一〇枚	△一〇枚	近世名士寫眞頒布會

出版年鑑輯錄圖書統計表

皇	室	法	律	美	術	三九
神書·宗教	政治·外交	音樂·歌舞	運動	三	三	三
哲	學	經	濟	運	會	四〇
教	育	社	會	娛樂·趣味·遊藝	學	四六
少年少女讀物	數	理	學	家政婦人讀物	學	一〇三
文	學	醫	學	叢書·講座	學	二八二
小	說	商	生	全集·文庫	學	二〇六
國	語	業	通	年鑑·要覽	書	二八〇
辭	典	交	通	雜	書	六
外	國	工	藝	計	九、八五一	
國	語	學	藝			
歷史·傳記	七三	農	藝			
地誌·紀行·地圖	一六〇	軍	事			

定價五拾錢

昭和十一年三月廿五日印刷
昭和十一年三月廿九日發行

東京市神田區駿河臺一丁目二番地
東京書籍商組合

編輯者 山崎信興
發行所 川崎活版印刷所

東京市京橋區築地二丁目五番地
印刷所 川崎活版印刷所

代表者 川崎佐一

東京市神田區駿河臺一丁目二番地
發行所

東京書籍商組合事務所
電話神田八五四番

振替東京三一〇〇三番

東京市神田區神保町一丁目廿三番地
發賣所

東都書籍株式會社
電話東京九三九〇番

振替東京九三九〇番
電話神田(25) 二二二
九八七番

一般圖書大取次

三宅莊藏書店

大阪市東區橫堀四丁目三番地
振替口座 大阪六九番

小學校教科用圖書翻刻發行

日本書籍株式會社

社長 大橋 光吉

東京市小石川區久堅町百八番地
電話水石川 (85) 二一〇三七八番番

東京書籍株式會社

社長 石川 正作

東京市王子區堀船町一丁目八百五十七番地
電話 水石川九四〇番 園九四一番
王子三二四〇番

三菱製紙株式會社代理店



株式會社

柏原洋紙店

本店 東京市京橋區京橋一丁目四番地五

電話京橋(五六) 六六一三二番 六六一三三番 六六一三四番 六一三五番

電信略號 (カ 三) 振替貯金口座東京 一七一二〇番

支店 大阪市東區博勞町一丁目五番地

電話船場 二、五八〇番 二、五八一番



株式會社

大倉洋紙店

東京市日本橋區通一丁目二番地五

電話日本橋(24) 1131 1132 1133 1134 1135 1136 1137 1138 1139 1130 0518 0694 4313

大阪支店 大阪市東區安土町二丁目六四

電話長六九〇番 六九二番 六九四番 六九七番 七〇〇番 七〇三番 七〇五番 七〇七番 七〇九番 七一〇番 七一三番 七一五番 七一七番 七一九番 七二〇番 七二二番 七二四番 七二六番 七二八番 七三〇番 七三二番 七三四番 七三六番 七三八番 七四〇番 七四二番 七四四番 七四六番 七四八番 七五〇番 七五二番 七五四番 七五六番 七五八番 七六〇番 七六二番 七六四番 七六六番 七六八番 七七〇番 七七二番 七七四番 七七六番 七七八番 七八〇番 七八二番 七八四番 七八六番 七八八番 七九〇番 七九二番 七九四番 七九六番 七九八番 八〇〇番 八〇二番 八〇四番 八〇六番 八〇八番 八一〇番 八一二番 八一四番 八一六番 八一八番 八二〇番 八二二番 八二四番 八二六番 八二八番 八三〇番 八三二番 八三四番 八三六番 八三八番 八四〇番 八四二番 八四四番 八四六番 八四八番 八五〇番 八五二番 八五四番 八五六番 八五八番 八六〇番 八六二番 八六四番 八六六番 八六八番 八七〇番 八七二番 八七四番 八七六番 八七八番 八八〇番 八八二番 八八四番 八八六番 八八八番 八九〇番 八九二番 八九四番 八九六番 八九八番 九〇〇番 九〇二番 九〇四番 九〇六番 九〇八番 九一〇番 九一二番 九一四番 九一六番 九一八番 九二〇番 九二二番 九二四番 九二六番 九二八番 九三〇番 九三二番 九三四番 九三六番 九三八番 九四〇番 九四二番 九四四番 九四六番 九四八番 九五〇番 九五二番 九五四番 九五六番 九五八番 九六〇番 九六二番 九六四番 九六六番 九六八番 九七〇番 九七二番 九七四番 九七六番 九七八番 九八〇番 九八二番 九八四番 九八六番 九八八番 九九〇番 九九二番 九九四番 九九六番 九九八番 一〇〇〇番



株式會社

愛知洋紙店

名古屋支店 名古屋市東區七間町四丁目 電話(4) 代六七二五番 六七三番 六七四番 六七五番 六七六番 六七七番 六七八番 六七九番 七八〇番 七八一番 七八二番 七八三番 七八四番 七八五番 七八六番 七八七番 七八八番 七八九番 七九〇番 七九一番 七九二番 七九三番 七九四番 七九五番 七九六番 七九七番 七九八番 七九九番 八〇〇番 八〇一番 八〇二番 八〇三番 八〇四番 八〇五番 八〇六番 八〇七番 八〇八番 八〇九番 八一〇番 八一一番 八一二番 八一三番 八一四番 八一五番 八一六番 八一七番 八一八番 八一九番 八二〇番 八二一番 八二二番 八二三番 八二四番 八二五番 八二六番 八二七番 八二八番 八二九番 八三〇番 八三一番 八三二番 八三三番 八三四番 八三五番 八三六番 八三七番 八三八番 八三九番 八四〇番 八四一番 八四二番 八四三番 八四四番 八四五番 八四六番 八四七番 八四八番 八四九番 八五〇番 八五一番 八五二番 八五三番 八五四番 八五五番 八五六番 八五七番 八五八番 八五九番 八六〇番 八六一番 八六二番 八六三番 八六四番 八六五番 八六六番 八六七番 八六八番 八六九番 八七〇番 八七一番 八七二番 八七三番 八七四番 八七五番 八七六番 八七七番 八七八番 八七九番 八八〇番 八八一番 八八二番 八八三番 八八四番 八八五番 八八六番 八八七番 八八八番 八八九番 八九〇番 八九一番 八九二番 八九三番 八九四番 八九五番 八九六番 八九七番 八九八番 八九九番 九〇〇番 九〇一番 九〇二番 九〇三番 九〇四番 九〇五番 九〇六番 九〇七番 九〇八番 九〇九番 九一〇番 九一一番 九一二番 九一三番 九一四番 九一五番 九一六番 九一七番 九一八番 九一九番 九二〇番 九二一番 九二二番 九二三番 九二四番 九二五番 九二六番 九二七番 九二八番 九二九番 九三〇番 九三一番 九三二番 九三三番 九三四番 九三五番 九三六番 九三七番 九三八番 九三九番 九四〇番 九四一番 九四二番 九四三番 九四四番 九四五番 九四六番 九四七番 九四八番 九四九番 九五〇番 九五一番 九五二番 九五三番 九五四番 九五五番 九五六番 九五七番 九五八番 九五九番 九六〇番 九六一番 九六二番 九六三番 九六四番 九六五番 九六六番 九六七番 九六八番 九六九番 九七〇番 九七一番 九七二番 九七三番 九七四番 九七五番 九七六番 九七七番 九七八番 九七九番 九八〇番 九八一番 九八二番 九八三番 九八四番 九八五番 九八六番 九八七番 九八八番 九八九番 九九〇番 九九一番 九九二番 九九三番 九九四番 九九五番 九九六番 九九七番 九九八番 九九九番 一〇〇〇番

洋紙商

尖

株式會社

岡本商店

本店

東京市日本橋區通二丁目五番地
電話日本橋(24) 代表 四二四一、四二四二、四二四三、四二四四、四二四五、四二四六、四二四七、四二四八

倉庫

本所 區東兩國二ノ八

札幌出張所

電話本所(73) 三二七三番五八五九番
札幌市南一條西四丁目五番地
電話 國三五五四・四八七六番

王子製紙株式會社販賣店

大阪支店

大阪市東區唐物町二丁目

電話船場

二〇二七番・二〇二八番
三八五四番・三八五五番
四六八七番

大連出張所

大連市山縣通り一〇六
電話 四〇八七番



株式會社

大同洋紙店東京支店

東京市京橋區銀座三丁目四番地一

電話京橋(56)

自 四一四四番
至 四一四九番

振替口座東京六〇〇六六番

本店

大阪市東區安土町二丁目三七

支店

京都市綾小路通り東洞院西入ル
名古屋市下園町三丁目一四
福岡市博多西町十八

出張所

上海 香港 天津 青島 門司 熊本

紙洋

目

株式
會社

中井商店

本店 東京市日本橋區室町三丁目

電話日本橋(24) 自代表番號一三〇三

至 特長一二〇九(七)

振替貯金口座東京三六四九番

支店

大阪市東區瓦町二丁目

京都市中京區三條通東洞院西入

名古屋市西區小島町一一五

出張所 門司市本町二丁目

特許

大平紙、クロース、和洋表紙、
教科書表紙、各種高級カバー、
大平カバー、ペーパー、高紙小間紙

製造販賣



株式
會社

大平洋紙店

本店及工場

販賣部

小間紙卸部

支店

東京市向島區吾嬬町東四丁目一二五番地
電話墨田(74)〇五八九番四三三二番

東京市神田區鍛冶町二丁目十番地ノ一
電話神田(25)一八二九番三四一〇番

東京市下谷區御徒町一丁目十番地
電話下谷(83)二四三三二番

大阪市西區阿波座上通三ノ廿一
電話新町四四九九番

新築落成
最新の設備を
御利用願ひすま



東京市小石川區久堅町
共同印刷株式會社
社長 大橋光吉

◎ 大日本印刷株式會社

本社營業所 東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地 電話牛込(34) 自一五〇番 至一五五番(6)
〇七六五番 一六二七番
〇七八一 〇八五二番
〇八九八番 〇九八〇番 至一〇〇三番(4)
三五〇二番 三八七一番
〇〇七四番 〇〇七五番

櫻町營業所 東京市牛込區櫻町七番地 電話牛込(34) 自一〇〇番 至一〇三番(4)
三五〇二番 三八七一番
〇〇七四番 〇〇七五番

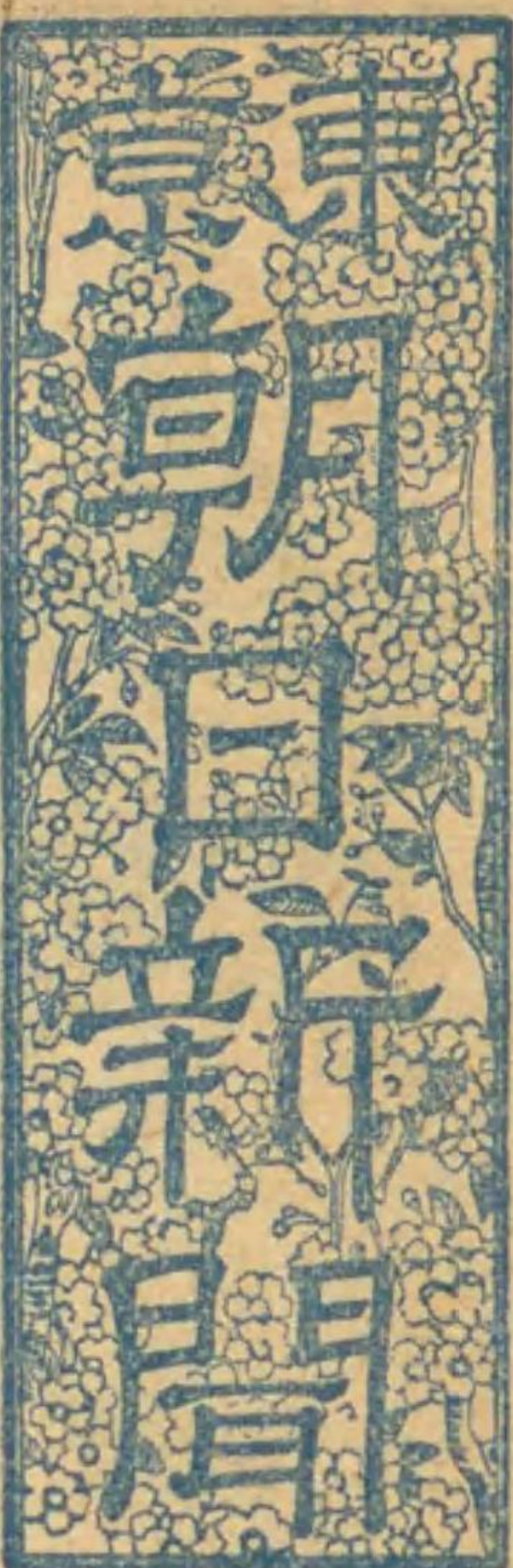
銀座活字店 東京市京橋區銀座七丁目四番地 電話銀座(57) 〇〇七四番 〇〇七五番

一〇四八

大阪出張所 大阪府北區西堀川町三四 電話北(36) 一六三三番 八二七五番
神戸代理店 神戸市神戶區美町四丁目五六 電話三宮(3) 二八一八番 三四五三番
満州國代理店 奉天市工業區四馬路 電話 日 四七〇〇番 滿 二二九三番

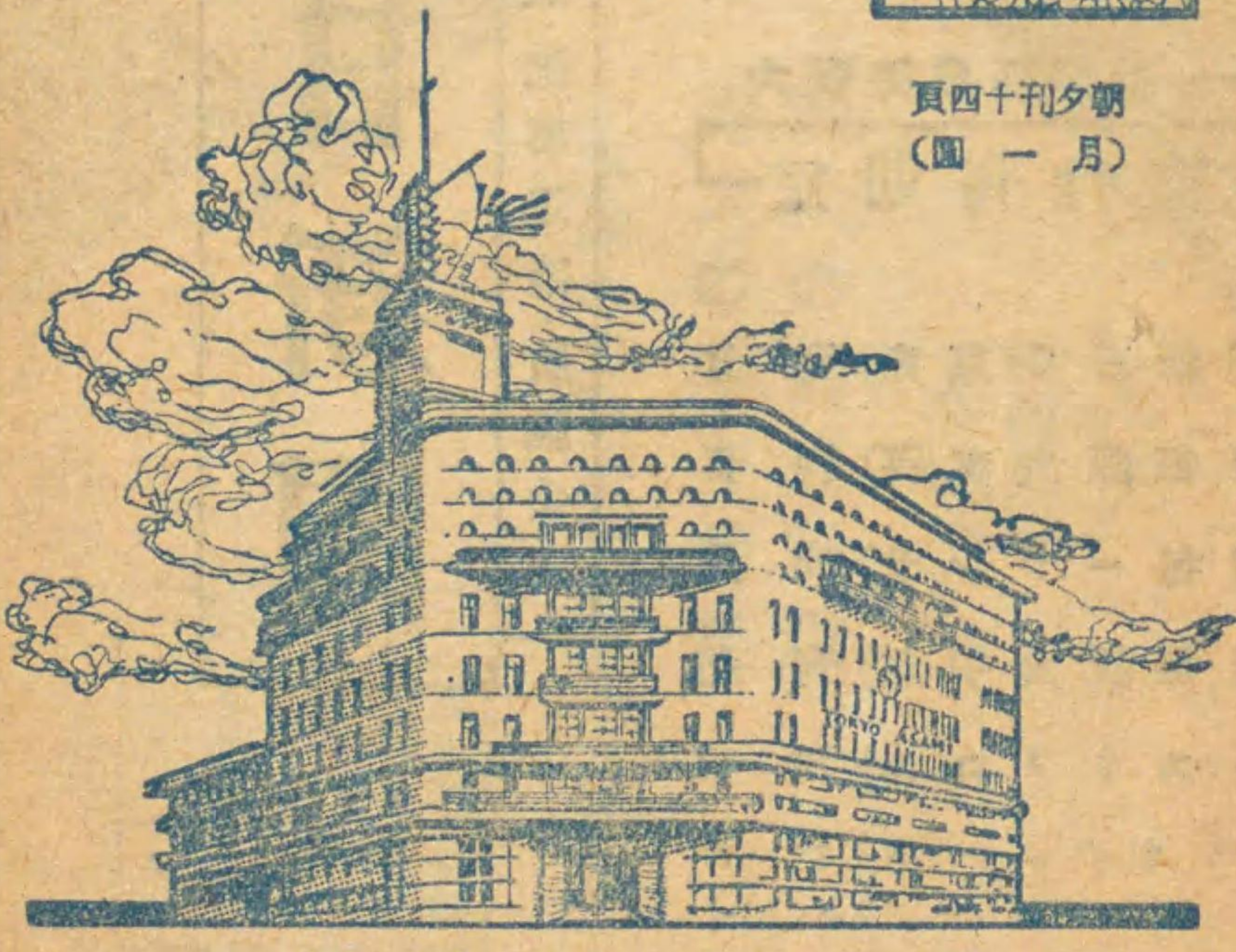
アサヒカメラ叢書

第一卷・寫眞の知識と選び方	第二卷・整色と赤外線寫眞	第三卷・人物寫眞の研究	第四卷・廣告寫眞術	第五卷・最新寫眞術入門	第六卷・小型映畫の構成	第七卷・新聞寫眞の理論と實際	第八卷・ツクリ寫眞の作り方	第九卷・夜間撮影の實際	第十卷・ライカの新技法
唐澤純正著 本圖一四七頁	鎌田彌壽治著 本文一七四頁	安河内治一郎著 本文一三三頁	松野志氣雄著 本文一六八頁	森芳太郎著 本文一八九頁	星野辰男著 本文一七一頁	成瀬外二氏共著 本文一三五頁	大久保壽山共著 本文一八〇頁	吉川速男著 本文一三〇頁	畑宗一著 本文一五〇頁
數圓のカメラから最高級機に至る數百種の寫眞機の性能と基礎知識、選擇法、寫眞機購入の心得及び愛機の保健康要等	整色、濾光、フィルター、最新赤外線板、増感、び利用方面最近の感光板、ラゴリオの色表等	カメラと感光材料、ボーズ、背景、探光、焦、點、レンズの口径、露出と撮影、添景人物、現像、修整、トリミング、引伸等	(基礎知識)商業美術、廣告寫眞、廣告寫眞の發達(立案)商品の知識、販賣基點、消費層、地文的問題、媒體(表現法)及製作の實際等	原理、レンズ、シャッター、どんなカメラが、いいか、ベストとライカの扱方、露出、撮影、注意、減光、正色撮影、赤外線寫眞、現像、補力、減力、焼付、引伸、調色等	小型映畫の構成、小型映畫の取材、映畫の用、語、その意義と使ひ途、撮影の心構へ、小、型映畫の編輯、シナリオ習作十篇	(理論)讀者の要求、複々製の寫眞、なじみ顔、記事と寫眞(歴史)明治から大正へ、アンゴ、組織、ニームス寫眞、新聞寫眞の分野	(普通寫眞)應用レンズ、デフォーメーション、鏡の利用、重複露出、重ね鏡、張合せ、マチ、ラック(活動)廻轉利用、ダブル・ロールオーバ、ラック等	人造光、夜景、人物、靜物、集會、家庭生活、街景、ネオン、天體、月夜、天候、三脚、手持、陳列窓、二重寫眞、ライト、夜間撮影法細記等	絞と焦點、測距、テッサアとエルマー、標準レ、ンズ、スマールとヘクタール、フライングダイ用、法、機關銃の撮影、露出計の研究、細粒子現像、ブレの研究等
既刊十卷	以下刊	東京丸の内大坂中島	朝日新聞社發行	東京丸の内大坂中島	東京丸の内大坂中島	東京丸の内大坂中島	東京丸の内大坂中島	東京丸の内大坂中島	東京丸の内大坂中島



朝日新聞夕刊四十頁 (一月一圖)

信用のある新聞に
 廣告を掲載される事はその商品の
 社會的聲價を高める所以です。
 然もその新聞の發行部數が帝都隨
 一て讀者の購買力が無比と來れば
 三拍子揃つて完璧です。
 廣告掲載の機關として東京朝日新
 聞を選定せらるゝ事は此の意味に
 於て貴下の事業の發展を決定的に
 確保せらるゝ所以です。



東京朝日新聞社

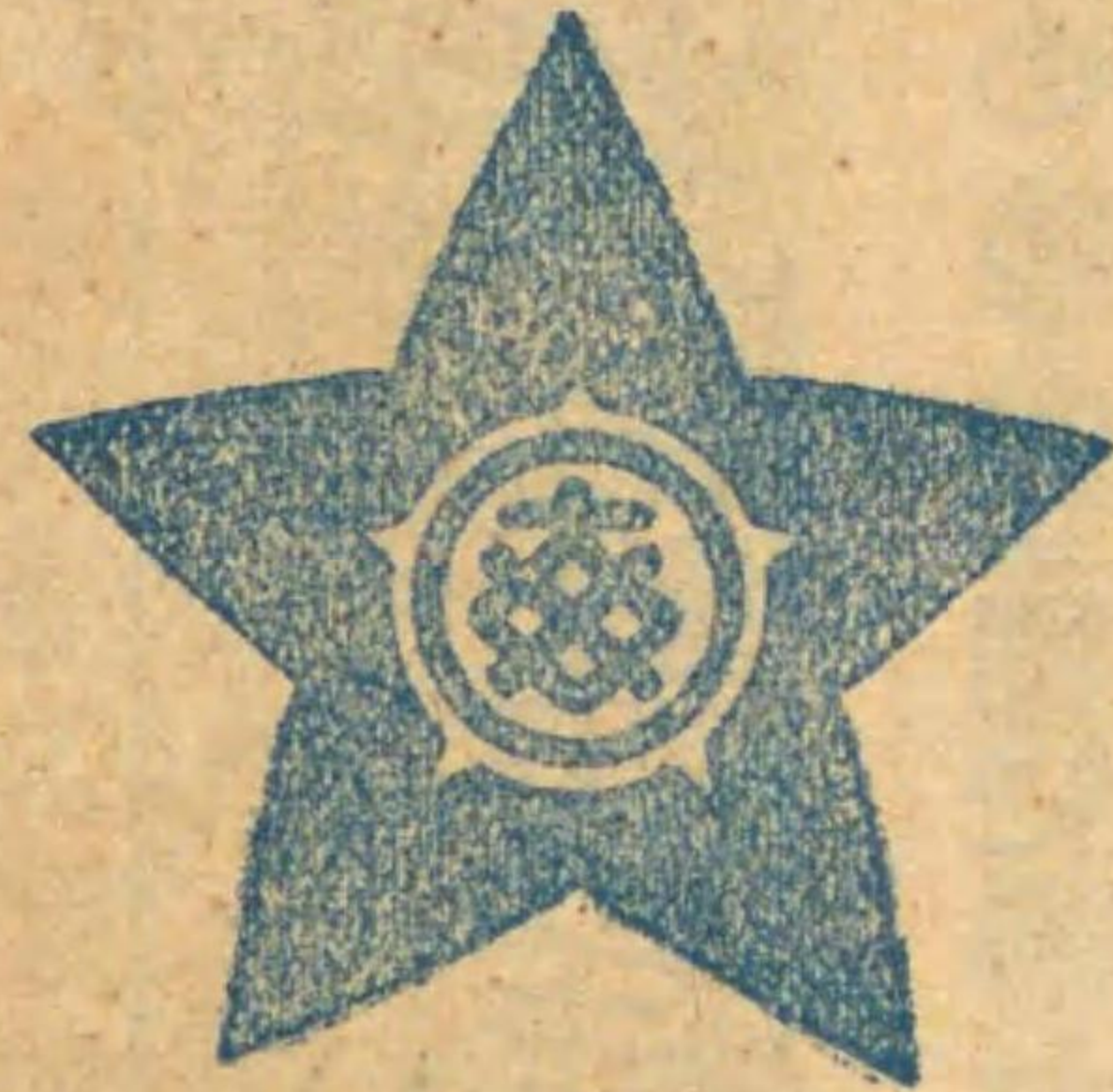
THE
TOKYO
NICHU-NICHU

東京日日新聞

最大の發行部數
絶大の廣告効果
本紙の御利用——商戰の勝利



物行刊期定				
大阪毎日新聞	英文東京日日	サンデー毎日	點字大阪毎日	エコノミスト



文化の明星
大阪毎日新聞

報道迅速・記事正確・所論公正

大阪毎日新聞社
定期刊行物

- 日刊 (東京日日新聞)
- 日刊 (英文大阪毎日)
- 週刊 (サンデー毎日)
- 週刊 (點字大阪毎日)
- 旬刊 (エヌエヌ)
- 月刊 (ホムラフ)

明治五年創刊
新報

定價

一月一圓

廣告効果

100パーセント

100パーセント

日曜報知
月二回無代添附

婦人子供報知
月二回無代添附

社會の
指針

東京・丸の内

東京出版協會
指定新聞

廣範圍に亘る購買力豊かな愛讀者を多數に有すること既に斯界の定評であります。従つて出版廣告の効果は必然的に大なるものと信じます。何卒充分に御活用下さい。

日本一の

時事新報

1055

讀賣新聞

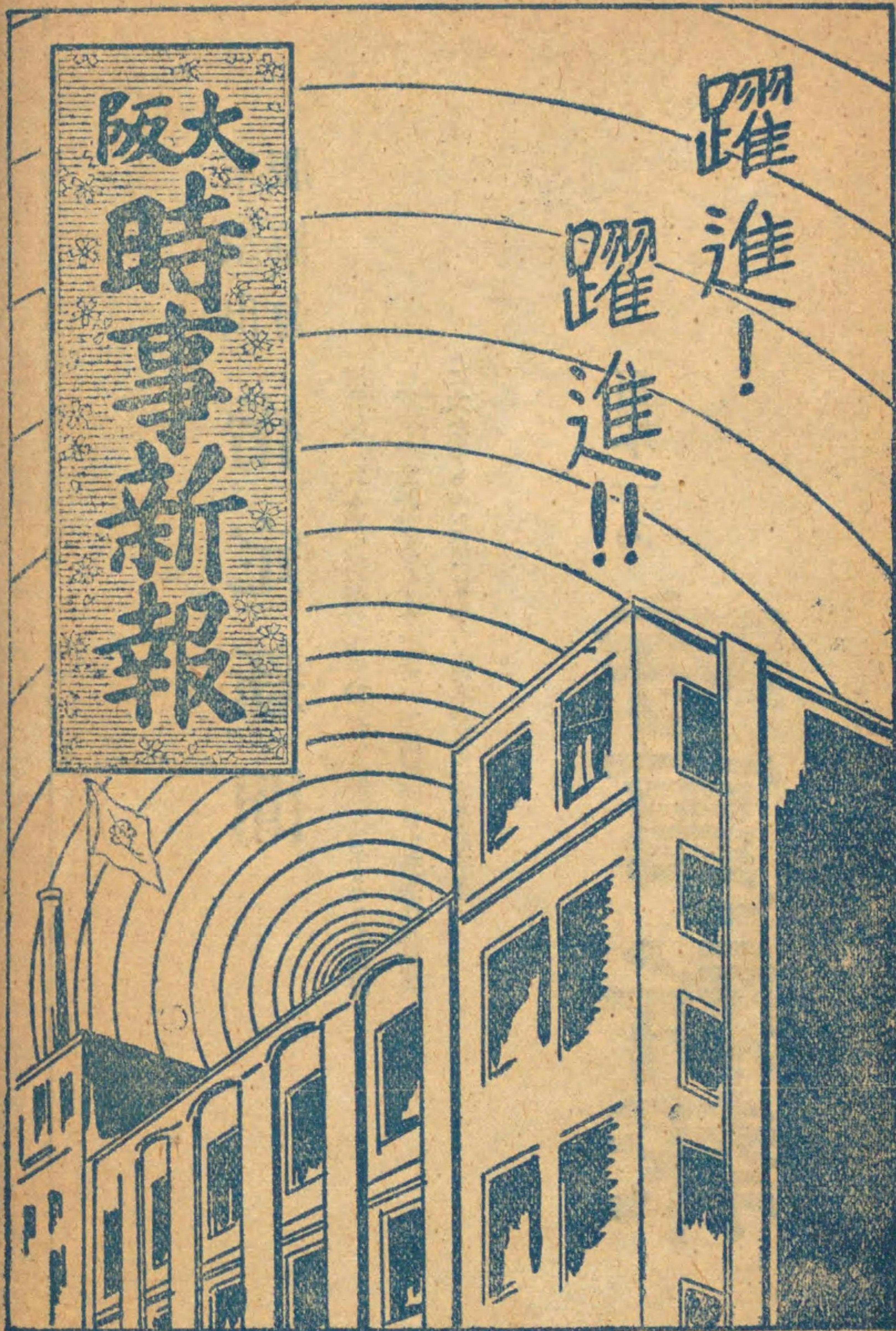
讀賣新聞社

朝刊二十頁

夕刊四頁

(但水曜土曜は八頁)

東京市内で一番よく賣れる



104K

業創
年九治明

新報新聞

一〇五九

中外商業新報

社本
市京東
區橋本日

局支
濱屋阪戶
橫名大神

名古屋新聞

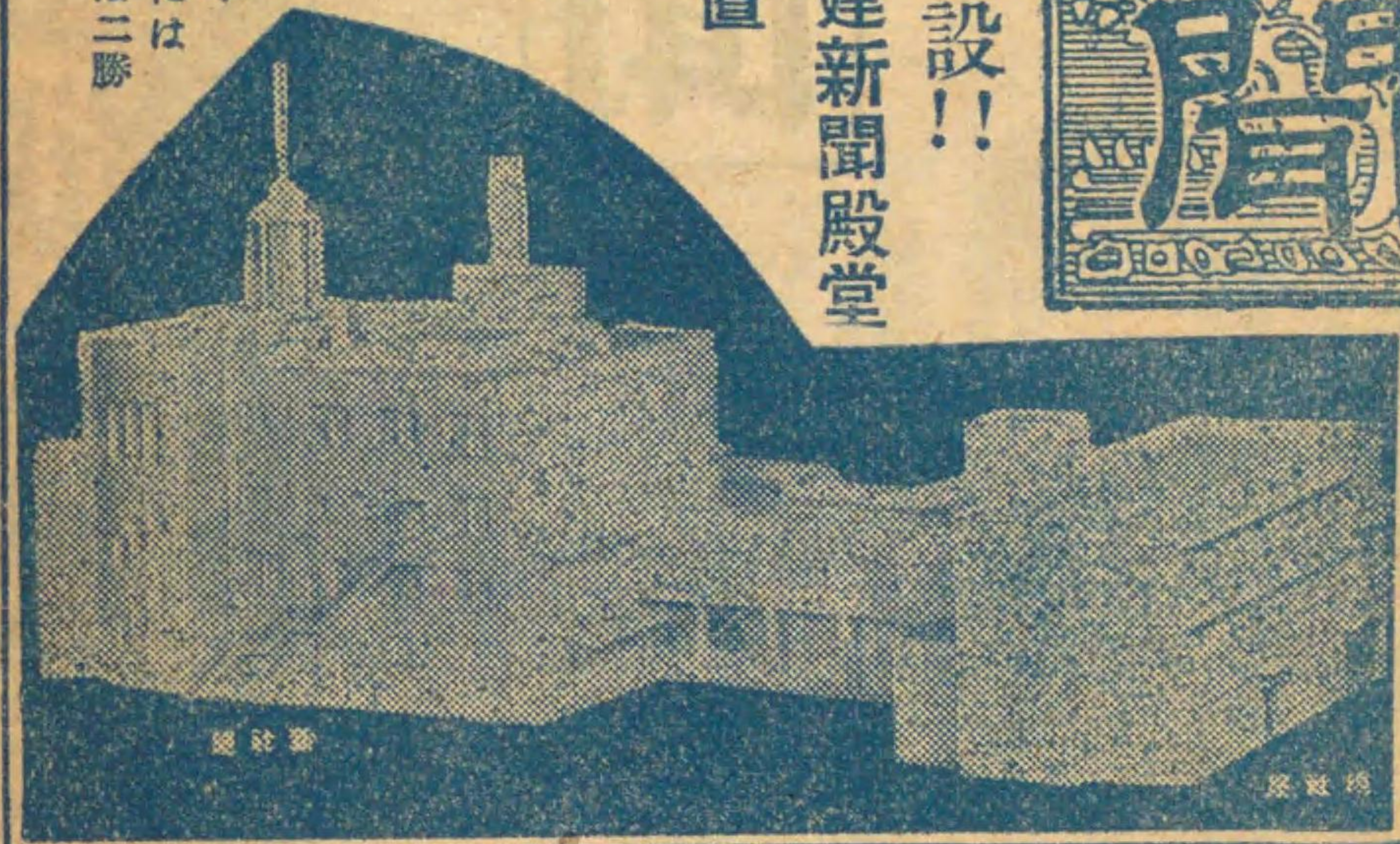
精銳無比¹⁵高速度輪轉機臺³増設!!

1. 近代建築の粹を蒐めた六階建新聞殿堂
2. 豪華をきはめた大樂堂の設置
3. 屋上には回轉式
三色光柱の航空燈臺

無敵職業野球團

名古屋「金鯨軍」の設立!!

總監督に岡田前明大監督、監督に二田川前東京巨人軍助監督、主將に島前法政主將を迎へ、結成披露試合には早くも東京巨人軍とは一勝二敗、東京セネターズとは二勝一敗の赫々たる戦績を礎して洋々たる前途に輝く



朝刊十二頁
夕刊四頁
(購読料一月八十五圓)

地方附録六十版
市内版、尾張版、三河版
静岡縣版(A) 静岡縣版(B)
三重縣版(A) 三重縣版(B)
岐阜縣版 東海毎日
長野縣版(A) 長野縣版(B)
石川縣版
滋賀縣版 京都版

本社
名古屋市中區西川端一丁目
電話(代) 二一五〇番

東京支社
東京市橋區銀座四丁目
電話(代) 一〇七七番

大阪支局
大阪市東區伏見四丁目
電話(代) 三五六〇番

一〇五八



朝刊 四頁
晝刊 四頁
夕刊 四頁

1000

主宰 永井柳太郎 副社長 櫻井兵五郎 朝刊六頁 夕刊四頁



本社

東京支社 金澤市南町四十一番地
東京京橋銀座西五ノ貳

本社 廣島市上流川町



朝夕刊
十二頁

紙妹姉



本社 山口縣德山町



本社 吳市今通

東京支局

東京市京橋區銀座五丁目四

電話銀座四五五〇

大阪支局

大阪市北區堂島船大工町五〇

電話北六六〇七

一〇六一

本日新聞聯盟



一〇六四

臺灣日日新報

臺北市榮町四丁目三十二番地
 株式會社臺灣日日新報社
 電話代表三八〇〇番
 東京市京橋區銀座三丁目三番地(豐玉館三階)
 支局
 電話(長)京橋一四九番
 振替口座東京二六〇二番

滿洲日日新聞

本社
 東京支社
 大連市東公園町三十一番地
 東京市京橋區銀座西六ノ五
 瀧山ビル電話銀座三四七〇

京城日報

本社
 朝鮮京城
 東京支社
 東京市丸之內仲道三邊三號館
 電話丸ノ内(23)一八〇九番

一〇六五



本社

小樽市港町十六
小樽新聞株式會社

東京支局

芝區櫻川町廿一
電話芝三〇二四番



兵庫縣下で一番古い歴史を有し
最も信用ある新聞

本社

神戸市神戸區榮町

東京支社

東京芝區田村町二ノ三

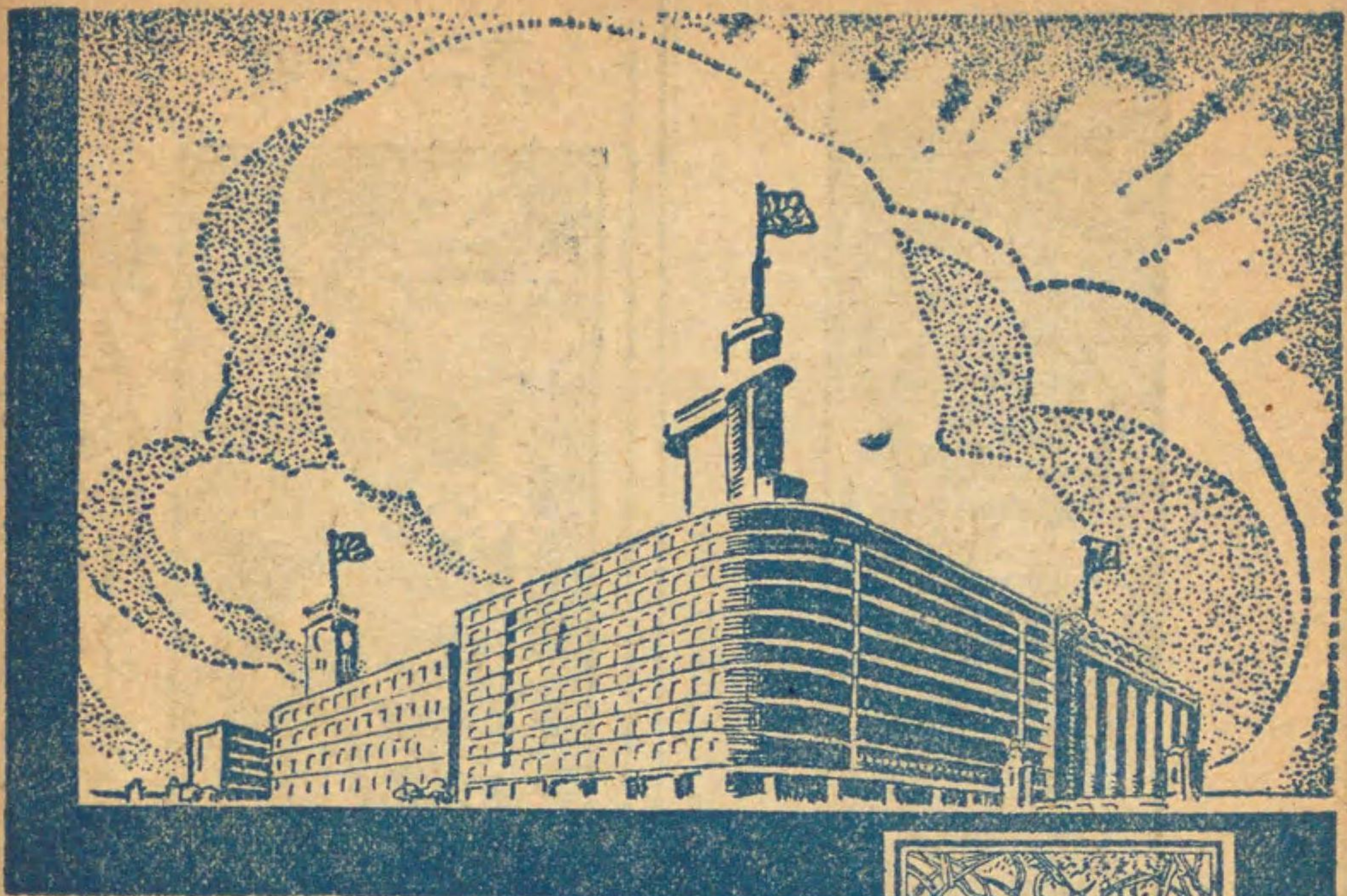
朝夕十頁

本社 金澤市南町

北國新聞社

支局 東京、大阪、名古屋、富山、高岡、七尾、小松、福井





廣告は大朝へ!!

最大の發行部數と最良の
讀者層は常に最高の
廣告効果をもたらし
不斷の誠意と萬全の
サービスは常に安心して
廣告をお任せ願へませう

美術各種製本

高崎製本所

代表者

渡邊 洪一
木村 秀雄

第一製本工場

東京市京橋區入舟町一丁目八番地ノ二

第二製本工場

東京市京橋區湊町三丁目四番地ノ四

電話 京橋(56) 三三五六番

印刷の御相談と御用命は先づ弊所へ

三十年の歴史と最新の設備を有し且つその間雑誌單行本の整版印刷を根幹とせる弊所の營業方針は總ての點に於て必ず皆様方の御満足を得ることを確信致します

合資
會社

川崎活版印刷所

東京・京橋・築地二ノ五・電話・京橋(56)五二二九番

1070

東京書籍商組合史

菊判布装
全一册
實價貳圓
送料十二錢

全國書籍商組合員名簿

昭和十年三月調
全一册
實價五拾錢
送料六錢

圖書月報

毎月五日回發行
一ヶ年
送料共壹圓

發行所

東京市神田區駿河臺一丁目二番地

東京書籍商組合事務所

振替東京三〇〇番

1071

書考參と書科教校學年青るあ評定

●編部輯編社版出海北●

綜合子女青年教本

普通科用 自一卷至二卷 各卷五錢
 本科(農村用) 自一卷至二卷 各卷五錢
 本科(都市用) 自一卷至二卷 各卷五錢

綜合青年教本

呈贈
 實物見本
 勅語別刷多敷
 六度刷別丁地圖
 三色版銅凸版多敷
 菊判美麗洋裝
 金四拾五錢

☆四年制用
 ☆五年制用
 昭和十一年の巻

新青年學校教本

北海出版社編輯部編

本見容内・書意趣纂編
 呈贈一表當配材教

實踐青年學校

月刊誌

菊判一四四頁
 誌代一ヶ月
 金四十錢

東三九三七七番
 京三九三七七番
 振替小一七〇七番

實踐青年學校編輯部編

青年學校講話資料大成

菊判四六二頁クローネ特裝・二圓五十錢

北海道 應編
 青年學校施設經營の實際

菊判三五一頁布特裝・二圓八十錢

菅原 龜五郎 著
 青年學校の新經營

四六判四一四頁布特裝・二圓三十錢

渡部 政盛 著
 農村青年學校の教育

菊判三五〇頁クローネ特裝・二圓五十錢

渡部 政盛 著
 青年學校の理想と經營

(七版) 菊判三〇四頁クローネ特裝・二圓三十錢

北海出版社

東市京東市京東市京東市京東市
 札幌市南二條西二十丁目一七番
 合會社

釋註 大芭蕉全集

纂編・釋註・修監

河東碧梧 萩原井泉水 穎原退藏
 山田三子 岩田九郎 萩野清
 中村俊一 松本義一

葉言の薦推

文學博士 藤井 紫影
 芭蕉は日本がもつ最大の詩人である。此人の全集をもたぬ事は日本人の恥辱である。本全集こそ、日本最高最大の詩人の全集として内外に示して誇るべきものであらう。
 相馬 御風
 これこそ吾々日本國民の第一位を占めるべき寶典であり、やがて世界の心ある人々の渴望を充たすべき世界的大寶典であると信ずる。

所行發

店書堂觀大

東一ノ四八 橋・戸塚
 電話六六六三番
 振替東京四六八番

○第一卷	俳句篇上
○第二卷	俳句篇下
○第三卷	連句篇上
○第四卷	連句篇中
○第五卷	連句篇下
○第六卷	俳文篇
○第七卷	紀行篇
○第八卷	評語篇
○第九卷	俳論篇
○第十卷	書簡篇
○第十一卷	補遺篇
○第十二卷	索引語彙篇

各冊定價二圓 ○印配本濟

好評嘖々たる本社の法律書

西辯 本護 士寬 一	田判 中事 正雄	八立 木大 清信	野關 村大 次夫	瀧川 幸辰	末法 川學 博	京大 退官 以下 十二 氏執 筆	田同 畑大 忍助 教授
株 金 拂 込 論	破 産 和 議 手 續 記 録	勞 働 契 約 の 研 究	關 稅 法 大 意	刑 法 史 の 或 る 斷 層 面	法 學 餘 錄	京大 別記 念 法律 論文 集	帝 國 憲 法 逐 條 要 義
菊版 二二 一〇 四〇〇	菊版 三三 一〇 八〇〇	菊版 三三 一五 〇〇〇	菊版 三三 一三 五〇〇	菊版 二二 一〇 四〇〇	四判 二二 一五 〇〇〇	菊版 六三 二〇 二〇〇	菊版 五二 二〇 二〇〇
専攻 得る その 人得 るも の云 ふ事 が出 る	破産 和議 の多 年の 経験 から 複雑 多岐 なる 実務 家	労働 契約 の研 究は 最近 の著 者	關稅 法に ついて は、 著者 の著 書が 著者 の著 書	刑法 史に ついて は、 著者 の著 書が 著者 の著 書	法學 餘錄 は、 著者 の著 書が 著者 の著 書	京大 別記 念 法律 論文 集は 著者 の著 書が 著者 の著 書	帝 國 憲 法 逐 條 要 義は 著者 の著 書が 著者 の著 書

一町代土美田神京東
番一七九五六京東替振
院書經政 式株
社會 番
下路小廣町原河區京上都
番四五七五一阪大替振

一〇七五

早稲田大學 教授 永井一孝 著

江戸文學史

明治文學史

本書は著者多年の講義経験に基き、意
法文の解釋を最も手際よく纏めたもので、意
高文の文檢受驗者の仕上げに最も適切な
ものである。

宮本武蔵、恩師と共に京大を去られた序文
助を授けられた恩師の遺著である。

生活の時に集られた最高権威末川博士が實
門書として世に問はれたのが本書である。

つて世に問はる。刑法、輝かしく、歴史的文獻の
史的に問はる。刑法、輝かしく、歴史的文獻の
つて世に問はる。刑法、輝かしく、歴史的文獻の

平安文學史

早稲田高等學院教授 佐藤仁之助 著

菊判三三〇頁 クロース箱入
定價金貳圓・送料十四錢

平安朝文學の代表作を哲學心理學社會學等の方面より考定し特に源氏物語に就ては確實なる考證のもとに著者が數十
年の蘊蓄を公表せられたもの也。

今この綱欄たる我が文化の淵源を世界に曉らしめる機關は恐らくは此文學史であらうか本書は思想感情を中心とし、著者が數十
年の蘊蓄を公表せられたもの也。

著者永井一孝先生は學界稀に見る篤學の士にし
て、早稲田大學に在ること三十年、文學に關する
研究に傾倒せられたる多年の蘊蓄を披瀝して本書を完
成公刊せられたる事實に即して總體的文學史的
本書を目的とした著作に即して總體的文學史的
考察を目的とした著作に即して總體的文學史的
文學史は、著者永井一孝先生は學界稀に見る篤學の士にし
て、早稲田大學に在ること三十年、文學に關する
研究に傾倒せられたる多年の蘊蓄を披瀝して本書を完
成公刊せられたる事實に即して總體的文學史的
本書を目的とした著作に即して總體的文學史的
考察を目的とした著作に即して總體的文學史的

一〇七四

電話 牛込(34) 五三五七番
番七三三二 京東替振
店書堂文敬 込牛京東
番七三三二 京東替振 所行發

日本工學全書

既刊書目

豫約せず、豫告せず、全日本工學工業界の權威97氏を顧問とし、流學者、技術者總動員で、豫定書目350種に渉る大計畫。先づこの11冊を發賣、引續き毎月3~5冊發賣の計畫。

北 大 教 授 太秦康光博士	分析化學	A 5 判洋裝 440 頁函入	3圓20錢 (送20)
長岡高工助教授 内田宗義氏	無機容量分析の基礎	A 5 判洋裝 252 頁函入	2圓20錢 (送14)
明治専門教授 岡山義雄博士	化學平衡論(瓦斯反應編)	A 5 判洋裝 400 頁函入	3圓20錢 (送14)
南滿工專教授 淺野好學士	運 河	A 5 判洋裝 314 頁函入	2圓20錢 (送14)
故海軍技術師 城谷正氏	機械設計製圖	A 5 判洋裝 472 頁函入	3圓20錢 (送20)
九 大 助 教 授 森 周六博士	農業用原動機	附農業用牽引機 A 5 判洋裝 298 頁函入	2圓60錢 (送14錢)
大阪工業試驗所 杉本俊三博士	合成樹脂	A 5 判洋裝 408 頁函入	3圓50錢 (送20錢)
旭硝子會社技師 上田清學士 太田廣太郎學士	硝 子	A 5 判洋裝 62 頁函入	4圓80錢 (送22錢)
醸造試驗所 深井冬史學士	醬油釀造法	A 5 判洋裝 340 頁函入	3 圓 (送14錢)
上田真系教授 金子英雄博士	絹糸化學	A 5 判洋裝 246 頁函入	2圓20錢 (送14錢)
絹業試驗所 小岩隆道氏	最新絹糸紡績學	上卷 A 5 判洋裝 550 頁函入	4圓50錢 (送22錢)

近 刊 ・水理學(本間 仁學士)・銀 (渡邊萬次郎博士)
・製糸化學(金子英雄博士)・絹絲紡績學(下)・以下續刊

讀まぬと損する

書店 必備の營業武器!!



「讀まぬと損をする」とは全國讀者各書店からの感謝の籠ったお言葉です
「日本古書通信」は「新本・古本・特價本」の正確迅速な唯一の内報機關誌です
「日本古書通信」の繼續御活用こそ貴店の營業成績に新しい光明と利益をもたらす
ものです、御申込が一日早ければ早いだけお徳です(見本誌進呈)

誌代前金 送料共

一ヶ月 三拾錢
六ヶ月 壹圓七拾錢
一ケ年 參圓貳拾錢
一ケ年前金者には美裝保存カバー進呈

掲載要目

- ◆全國古本市場相場速報——各都市別
- ◆科目別分類
- ◆新本特價見切本・スレ本特價・新本
- ◆發行所特賣一覽
- ◆絶版書の再販・改版速報・特殊出版
- ◆介紹
- ◆全國各書店の注文書買入案内・全集
- ◆叢書絶版書賣物案内
- ◆業界ニュース・學界ニュース
- ◆業界諸氏の興味ある時事評論・書肆
- ◆學界諸話
- ◎讀者サービス……
- ◎注文書代理買入、東京市場代理賣捌
- ◎「日本古書通信」を購読すれば「讀者サービス」が利用出来るだけども「營業能率が上り、お客の満足が擱める」と感謝されてゐます

近刊發售
全國古本名簿 乞御照會

發行發賣
全國古本屋 古本販賣目錄 一部十四錢
聯合綜合 明治大正新體詩稀本番附 一部三十錢 共

發行所 日本古書通信社

東京市神田區小川町三丁目二番
電話二二五四番・振替東京三八〇〇七番

日本文學講座

日本文學

體系

全十卷

二卷

日本文學の研究は眞に科學的なる意志の發動に基く整序が期待されてゐる今、在來の叢書講座の上に立ちて最高水準を示し、日本及日本文學の全姿を統一ある組織下に顯現するの意圖を以て本講座は生まれた。

自由分賣 菊版洋布裝釘函入
九が組三百頁以上五百頁
申込金不要 定價二・八〇 五・〇〇

- | | | |
|-----|---------|-------|
| 第一部 | 日本文學形象論 | 藤村 |
| | 日本文學思潮論 | 堀内三 |
| | 日本文學系統論 | 堀内三 |
| | 日本文學原論 | 堀内三 |
| 第二部 | 日本抒情文學 | 岡崎義惠 |
| | 日本叙事文學 | 山岸徳平 |
| | 日本思惟文學 | 池田龜鑑 |
| | 日本劇文學 | 石割松太郎 |
| | 能勢野朝 | 能勢野朝 |
| | 守隨憲 | 守隨憲 |
| 第三部 | 上代日本文學 | 久松潜一 |
| | 中世日本文學 | 齋藤清衛 |
| | 近世日本文學 | 鈴木敏也 |
| | 現代日本文學 | 片岡良一 |

- | | | |
|---|----------|----------|
| 1 | 教育音聲學 | 大西雅雄著 |
| 2 | 新興國語學序說 | 菊澤季生著 |
| 3 | 國文學と國語教育 | 石井庄司著 |
| 4 | 教育語言學 | 波多野完治著 |
| 5 | 教育的文章學 | 近藤忠義著 |
| 6 | 國文學概論 | 東條操著 |
| 7 | 現代の國語學 | 佐伯梅友著 |
| 8 | 萬葉學 | 京都府立醫大教授 |
- 定價 一・五〇—一・八〇
四六版三〇〇—四〇〇頁洋布裝函入

東京 東美 神代 田町 株式會社 振替 三八 東京 八

實用農藝全書

兵庫 庫縣 西田悅夫著
地方農林技師

果樹園藝
四六判洋布函入 三〇〇頁 圖版四五
定價 一圓二十錢
送料 十錢

實用書在り！ 選書活用・農業に信念を持て！！

四六判洋布・各冊三〇〇頁内外
圖版豊富 定價各冊一圓二十錢

★本全書は連年に亘る農業者の惡戰闘と、應用科學の諸陣營に於ける研究の廣汎なる實際化を背景として生れた。

★本全書は農業經濟並に農業技術の兩面から究めて經營を最もよく運用すべき實際知識を、農業各部門について、判り易く且つ組織的に編述したもので、讀者は本全書によつて更に農業への信念を強めることが出来る。

★執筆者は當代各方面に活躍せられる第一人者。

★定價至廉。紙質・裝幀頗る高級・携行に適する寶典。

- | | |
|------|-------------|
| 食用作物 | 長崎縣技師 田尻矩次郎 |
| 果樹園藝 | 福岡縣技師 高橋道太郎 |
| 肥料 | 福岡縣技師 嵐嘉一 |
| 土壤 | 福岡縣技師 西田悦夫 |
| 害虫 | 福岡縣技師 高石五樓 |
| 病害 | 福岡縣技師 松本晴夫 |
| 農用機 | 福岡縣技師 織田富士夫 |
| 畜産 | 滋賀畜場長 森周六 |
| 養蠶 | 滋賀畜場長 美川重夫 |
| 測土 | 同 野中幸兵衛 |
| 農業土木 | 同 坂種虎一 |

「果樹園藝」は西田悦夫氏が島根・廣島兩縣立農事試驗場園藝主任として十有六年間、試驗研究に従事し具に體験を積み、更に最近兵庫縣に於ける數年間の蘊蓄を基礎として編まれた研究體験の結晶である。即ち學理と體験を経緯として、斯道の急所要領を衝き、因果を質し幾多の事例に徴して當代の果樹園藝を説いたもの、誠に之れ本邦園藝の實利的指針として普ねく世の實際家・青年學徒・指導者に自信を以て推し得る好著である。

東京 神代 田町 錦 一町 堂 文明
○九一三一 東京 替振
九四五〇・〇六八二(25) 田神話電

工藝作物 蔬菜園藝 高等園藝 花樹栽培 蠶桑生理 蠶及病理 遺傳 獸村副傳 造獸林醫 水産 農業政策 農業法組規

外ト-157

國語教育 科學

獨立講

東京高等師範學校
教授

垣内松三著

〔全十二卷・全卷完成〕

本講座は國語教育に於てわが國最大の權威として仰がる、著者が畢生の御事業として敢行せられた所、斯學の至寶として不朽の文字であり、寡筆の著者として學界の驚異とせらる。傳統的教學を振り切り、教育科學として教育の現實を直觀せんとする著者の意圖は遺憾なく發揮せられてゐる。而して本講座の發表以來國語教育家諸氏の熱誠なる支持を得て着々刊行を了し、此の

會員募集

菊版洋布裝釘

九ポイント組

每卷三百頁以上

會費

毎月拂 金二圓

申込金(最終會

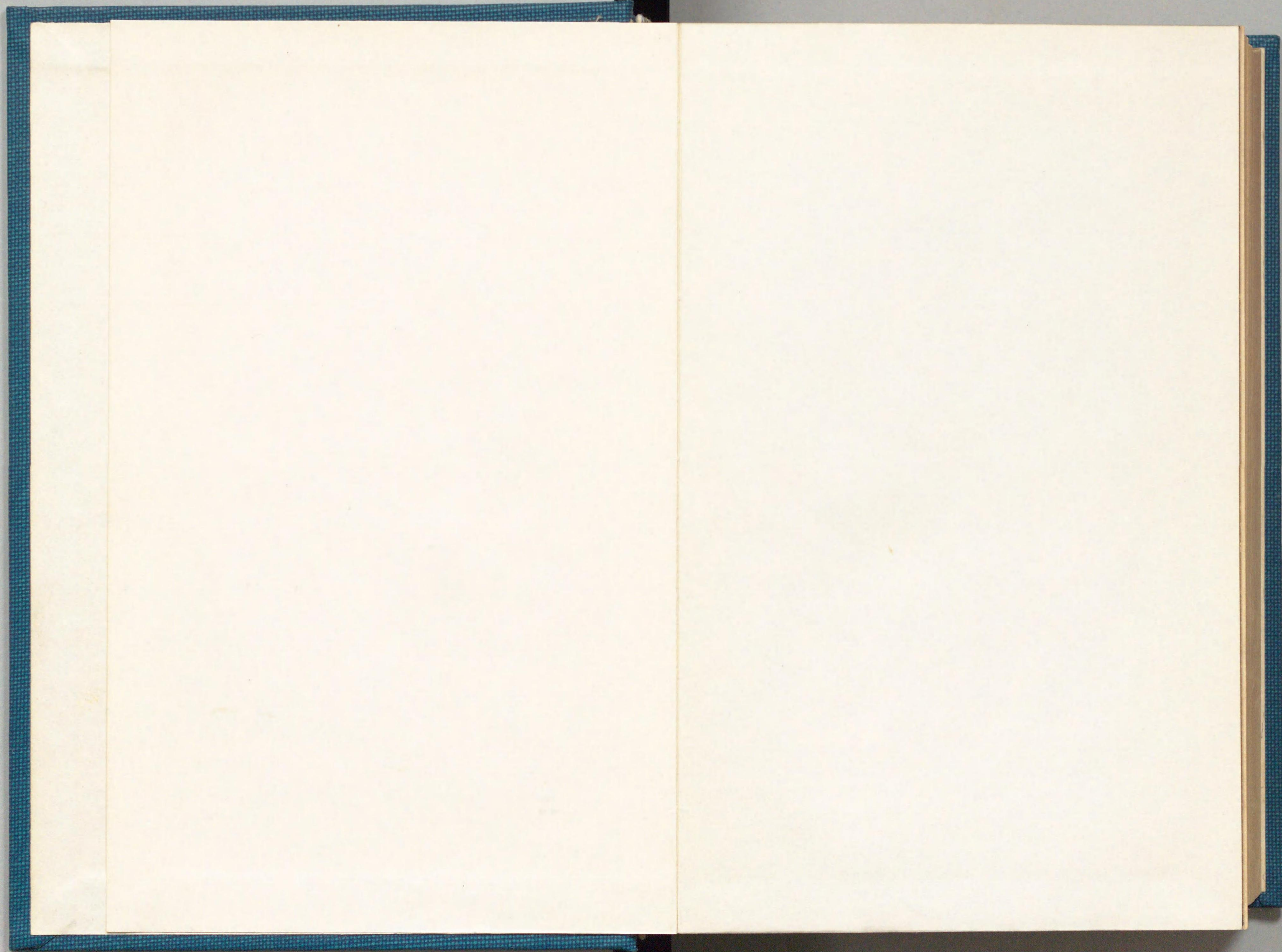
費に充つ)二圓

一時拂二十二圓

(申込金不要)

- 1 國語教育科學概説
- 2 國語指導論
- 3 國語教材論
- 4 國語學習論
- 5 國語教育論
- 6 國語陶治論
- 7 國語解釋學概説
- 8 國語表現學概説
- 9 國語教育史
- 10 國語教育の諸問題上
- 11 國語教育の諸問題下
- 12 國民精神と國語教育

東京市神田區美土町八番 文藝學社株式會社 刊





025.1
Sy 998
T ₂